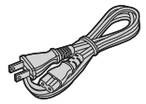
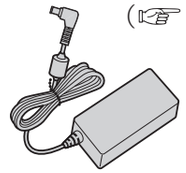
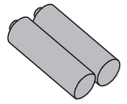
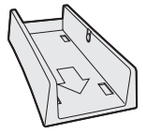
付属品の確認

設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。
- この取扱説明書やかんたん操作ガイドのイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

＜ ＞は個数です。

□リモコン ……〈1〉  （☞ 9ページ）	□電源コード ……〈1〉  （☞ 8ページ）	□ACアダプター……〈1〉  （☞ 8ページ）
□単4形乾電池 ……〈2〉（リモコン用）（☞ 10ページ） 	□縦置きスタンド……〈1〉  （☞ 11ページ）	□取扱説明書 ……〈1〉 □かんたん操作ガイド…〈1〉 
□SDメモリーカード……〈1〉（4 GB）（☞ 112ページ） 		

愛情点検 長年ご使用の Smart TV Box の点検を！

こんな症状はありませんか？
- 映像も音も出ない。
- 映像が時々消える。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。

▶ このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

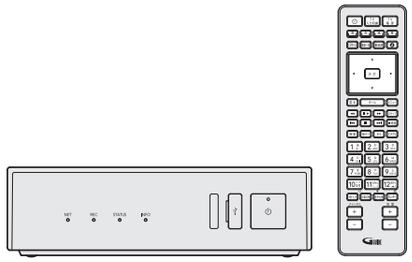
便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。

ご加入（契約）日	年　月　日	品　番	
ケーブルテレビ局およびお客様相談室	（　　）　－		
ID 番号（77 ページの「情報表示」の「IC カード」画面で確認できる「カード ID」と「CATV-ID の STB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。）		ID 番号	C-CAS カード（カード ID）
			B-CAS カード（カード ID）
			CATV-ID（STB-ID）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

提供元　KDDI株式会社
製造元　パナソニック株式会社

Smart TV Box　C01AS シリーズ　取扱説明書



Smart TV Box

取扱説明書

品番　C01AS シリーズ



- このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用の前に「安全上のご注意」（☞ 126 ～ 130 ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 識別表示および電源定格などの情報は、本体および AC アダプターの底面に表示されています。
  ※縦置きスタンドを使って本体を縦置きにする場合は側面の表示になります。

TQBX0396-6
S0712-6034

もくじ

ページ 確認

4 本機の特長と楽しみかた
6 使用上のご注意
7 各部のはたらき
7 本体前面、本体側面（左扉内）
8 本体背面
9 リモコン
10 基本操作のしかた
10 リモコン操作について
11 タッチパッドの使いかた
11 本機の設置方法

ページ アンドロイド

12 ホーム画面の操作
12 ホーム画面
14 本体設定
16 アプリケーションサービス画面の操作
[APPLICATION（アプリ）]、
[MARKET（マーケット）]
17 [BOARD（ボード）]、テーマの変更
18 映像まとめて検索、ヘルプ、通知、サウンド設定
19 カレンダー、インターネット

ページ 番組を見る



20 テレビ放送を見る
20 ホーム画面から番組を選んで見る、
番組の詳細メニューを見る
21 テレビ全画面表示中の番組選局、
3桁チャンネル番号を入力して選局する
22 番組のタイトル表示（選局時）
23 高速チャンネル選択、多重音声放送（二重音声、マルチ音声）のとき、字幕付き番組のとき
24 有料番組を見る（ペイ・パー・ビュー）
25 3D映像の番組を見る、データ放送を見る
26 サブメニューを表示する
28 番組表を使う（EPG）
28 番組表を表示する
29 番組内容を見る/今すぐ番組を見る、
番組表で簡単予約する、注目番組を見る、
番組表の日付を変える、番組表を切り換える、
番組表で録画予約する／視聴予約する、
番組表を放送局別に表示する
30 予約重複を確認する、番組詳細検索
31 サブメニュー
32 お好みの番組を探す
32 番組を探す
33 検索結果
34 マイチャンネル
34 視聴中のチャンネルをマイチャンネルに
登録／解除する、マイチャンネルで選局する、
メニュー操作
35 マイチャンネルの編集
36 文字を入力する
36 文字の入力方法や変換方式を切り換える
37 50音順キーボード入力方法
38 携帯入力方法
39 携帯入力方法での文字入力一覧表

ページ 録画・再生

40 USBハードディスクの接続
40 本機とUSBハードディスクを直接接続する、
本機とUSBハードディスクをUSBハブ経由
で接続する
42 USBハードディスクの設定
42 機器登録する、機器登録を確認する
43 詳細情報を表示する、機器登録を削除する、
表示名を変える、フォーマットする
44 USBハードディスクに即時録画する
44 見ている番組を録画する、2番組を同時に録
画する、録画を停止する
45 録画予約する
（USBハードディスク録画／LAN録画）
45 録画予約の前に、番組表から録画予約する
46 日時を指定して録画予約する
47 録画予約の詳細設定
48 検索して録画予約する、並び替え（タイトル／日付）
49 条件指定して録画予約する（自動予約）
50 「探して毎回予約」機能で録画予約をする
52 録画予約の確認・修正・消去
54 USBハードディスクの番組を再生・操作する
55 録画済一覧画面の操作、ジャンル表示を切り
替える、3D映像の録画番組を再生する
56 グループ表示（グループフォルダ）
57 再生中のリモコン操作
58 メニュー操作
59 編集メニュー操作
60 ネットワーク機器を使う
61 本機で利用できるネットワーク機器や機能
62 本機で受信した番組やUSBハードディスクに録
画した番組を他のテレビなどで見る（DMS機能）
63 パソコンなどからの操作で、他の機器の録画
や動画を再生する（DMR機能）、モバイル連
携（リモコン操作）
64 モバイル連携の操作・設定
64 「操作設定」メニュー画面の出しかた、Q&A集
65 Smart TV Remoteの接続設定、Connect
PlayのON/OFF、連携機器選択時の表示名変更
66 DLNA（ホームネットワーク）
66 ネットワーク接続されたDLNA対応機器の録画
番組や動画（ビデオ）を本機で見る（DMP機能）
67 メニュー操作、編集メニュー操作
68 他の録画機器にダビングする
68 本機と録画機器をブロードバンドルーター
経由で接続する、本機と録画機器を直接接続
する、本機とスマートフォンなどのモバイル
機器を無線LAN接続する
70 ダビングする
71 ダビングを中止する、ダビングの履歴を見る

「安全上のご注意」を必ずお読みください（☞126～130ページ）

ページ 便利に使う

72 使いかたに合わせて設定を変える
72 字幕や文字スーパーを設定する、
順送りできるチャンネルを設定する、
二重音声の設定を変える
73 録画時の設定を変える、番組タイトルなどの
表示を消す、ノイズやちらつきを低減する、
履歴情報をアップロードする
チャンネルの入力方式を設定する、
74 有料番組や視聴年齢制限を設定する
76 いろいろな情報を見る
76 放送メールを見る、購入した有料番組を
確認する、有料番組の購入記録、データ放送
の送信記録などを確認する
77 B-CAS/C-CASカードの番号などを見る、
本機に関する情報を見る、
CATVデジタル放送の情報を見る、
ダビングの履歴を見る

ページ 接続・設定

78 ケーブルテレビ宅内線の接続
78 テレビの接続
80 ネットワーク機器との接続
80 インターネットへの接続、ネットワーク機器
（録画対応機器など）との接続
82 無線LAN（Wi-Fi）についての本機の設定
83 本機と無線LAN機器を接続する
（auの“かんたん接続”機能とWPS機能）
84 B-CAS/C-CASカードの挿入
85 設置設定
85 チャンネル設定
87 チャンネル制限設定、番組表設定
88 地域設定、スタート画面、クイックスタート、
無操作自動オフ
89 接続テレビの設定
90 本機のHDMI端子から出力される映像信号
について
91 テレビのメーカー設定、
リモコンモードの設定
92 緊急警報放送受信設定、録画モード
93 USB ハードディスクの機能待機
94 ネットワーク関連設定
94 LANの設定
96 動作モードの設定、アクセスポイントの設定
100 クライアントの設定
101 ルータの設定を確認する、ネットワーク機能を
初期化する、ネットワーク機能を再起動する、
プロキシを設定する
102 ホームネットワーク（DLNA）設定
104 宅外リモート接続設定
105 ケーブルモデム設定
106 テレビ用ブラウザ設定
107 新しい情報のダウンロード
方法を選ぶ
107 ダウンロード予約する、
ネットワークを利用してソフトウェアを
更新する
108 個人情報リセット
108 個人情報をリセットする

ページ 外部機器の接続

109 オーディオ機器の接続と設定
110 HDMI連携機能を使う
110 本機とテレビを連動させる、本機の設定
111 テレビの電源と連動する、
テレビのリモコンで本機を操作する

ページ 必要なとき



112 SDメモリーカード
112 SDメモリーカードについて、
SDメモリーカードの種類
113 SDメモリーカードの出し入れ
114 本体設定メニュー
116 アイコン一覧
117 インターネット有害サイト閲覧を
制限するには
118 USBハードディスク/ハブ動作
確認一覧（推奨品）
119 同時動作と優先動作について
120 表示ランプ
121 故障かな!?
124 メッセージ表示一覧
131 取り扱いについて
132 仕様
134 商標などについて
135 無線LAN使用上の注意
136 さくいん

本機の特長と楽しみかた

デジタル放送を楽しむ

本機は、地上・BSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。USBハードディスクを接続することで、高画質のまま簡単に録画できます。トリプルチューナーにより、見たい番組が重なったときでも、2つの番組を同時に録画しながら裏番組の視聴もお楽しみいただけます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

地上デジタル

地上波を使って行うデジタル放送で、高画質な映像や多チャンネルの番組以外に地域密着型のデータ放送なども行われています。

BSデジタル

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOWなどの有料放送は、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

CATVデジタル

ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

番組表を使う(☞ 28ページ)

画面上に番組が新聞のテレビ欄のように一覧表示されます。
8日間分※の番組表、および番組情報が表示されます。
(ご加入のケーブルテレビ局により異なります。)

- 番組表から番組の選局、番組情報の表示、番組の録画予約／視聴予約、番組の検索などができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送、BSデジタルの番組情報はBSデジタル放送と一緒に送られています。
- 本機の番組表は、Gガイドを使用しています。

※ネットワークからGガイド情報を取得することで1ヶ月の番組表を表示することができます。

番組を探す(☞ 32ページ)

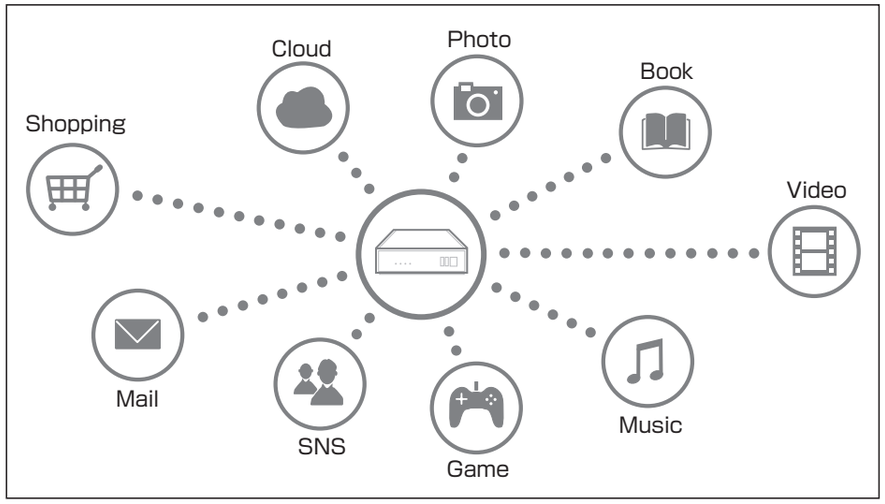
- 「お気に入り」「ジャンル」「フリーワード」「人物」の条件でお好みの番組を探し、視聴や予約ができます。

3D映像の番組を見る(☞ 25ページ)

本機で3D映像の番組をご覧いただくためには、3D対応テレビと3Dグラスが必要です。
※本機とテレビは3D対応HDMIケーブルで接続してください。(☞ 79ページ)
また、3D対応テレビ側で設定が必要な場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

Android™(アンドロイド)／アプリ(アプリケーション)(☞ 12ページ)

本機はアンドロイドを使用することにより、アンドロイド用に作成されたアプリケーションを利用することができます。また、インターネット経由で、auマーケットなどから多彩な無料／有料アプリ、コンテンツのダウンロードが可能です。



番組を録画する(☞ 44、45ページ)

- 次の方法で録画することができます。
  ・USBハードディスク録画(USBハードディスクの登録が必要です。)
  本機とUSBハードディスクをUSBケーブルで接続することで録画・再生ができます。
  ・LAN録画(本機と録画機器※の両方でネットワーク設定が必要です。)
  本機と録画機器をLANケーブルで接続することで録画ができます。
  ※ JLabs SPEC-020(一般社団法人 日本ケーブルラボ が策定した仕様)に準拠した録画機器
- USBハードディスク録画では、録画中の番組を再生することができます。
- 本機は、トリプルチューナーを搭載しており、2番組同時録画をしながら裏番組の視聴も可能です。
- 条件指定(キーワード、ジャンル)による自動予約ができます。

インターネットを使う(☞ 19ページ)

インターネットに接続することができます。

- サービスの内容は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。

※ ブラウザでお楽しみになる場合、プログレッシブテレビやハイビジョンテレビに接続されることをおすすめします。4:3標準テレビに接続すると文字などが見えにくい場合があります。

ダビングする(☞ 68ページ)

USBハードディスクに録画(保存)された番組を、ホームネットワーク接続された録画機器へダビング(ムーブ／コピー)できます。

- ダビング機能を使用するにはLAN録画対応の録画機器※が必要となります。

※JLabs SPEC-020(一般社団法人 日本ケーブルラボ が策定した仕様)に準拠した録画機器

番組単位で購入できる有料番組(ペイ・パー・ビュー)を見る(☞ 24ページ)

画面上で購入操作をすることで、番組の視聴や録画ができます。
ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

使用上のご注意

■本機は放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや外部からの雑音などの影響により、まれにリモコンでの操作ができなくなるなど正常に動作しない場合があります。
この場合は、本体側面（左扉内）のリセットボタンを押していただくか、ACアダプターの電源プラグを一度抜き、しばらくしてから再度電源プラグを差し込んで、動作を確認してください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。
本機の受信周波数帯域（90 MHz～1000 MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

■本機の通風孔をふさがないようにしてください。
本機は放熱のため、表面の温度が高くなることがありますが、品質、性能には異常ありません。
内部温度の上昇をおさえるため、通風孔をふさがないようにして風通しのよい所に設置してください。

■本機の上に他の機器を置いたり、他の機器の上に本機を置かないでください。
他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

■視聴記録の送信について
ICカードに記録されている視聴記録データは、定期的に自動送信されます。

■本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。
ACアダプターの電源プラグをはずしたり、電源を「入」にしているとダウンロードが実行されません。
ダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。本機には、操作しない状態が設定した時間続くと、自動的に電源を切り消費電力を低減する**「無操作自動オフ」機能**があります。
（☞ 88ページ）

■長時間動かない画像を映さないでください。
本機に接続されたテレビやプロジェクターに動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。本機には、アプリケーションを操作しない状態が約10分間以上続くと、自動的にアプリケーションを終了し、テレビ全画面表示に切り換える「焼き付き防止」機能がありますが、特定のアプリケーションでは動作しない場合もありますので、ご注意ください。

■長時間使用しないときはACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
本体およびリモコンで電源を切った場合は約 4 Wの電力を消費します。

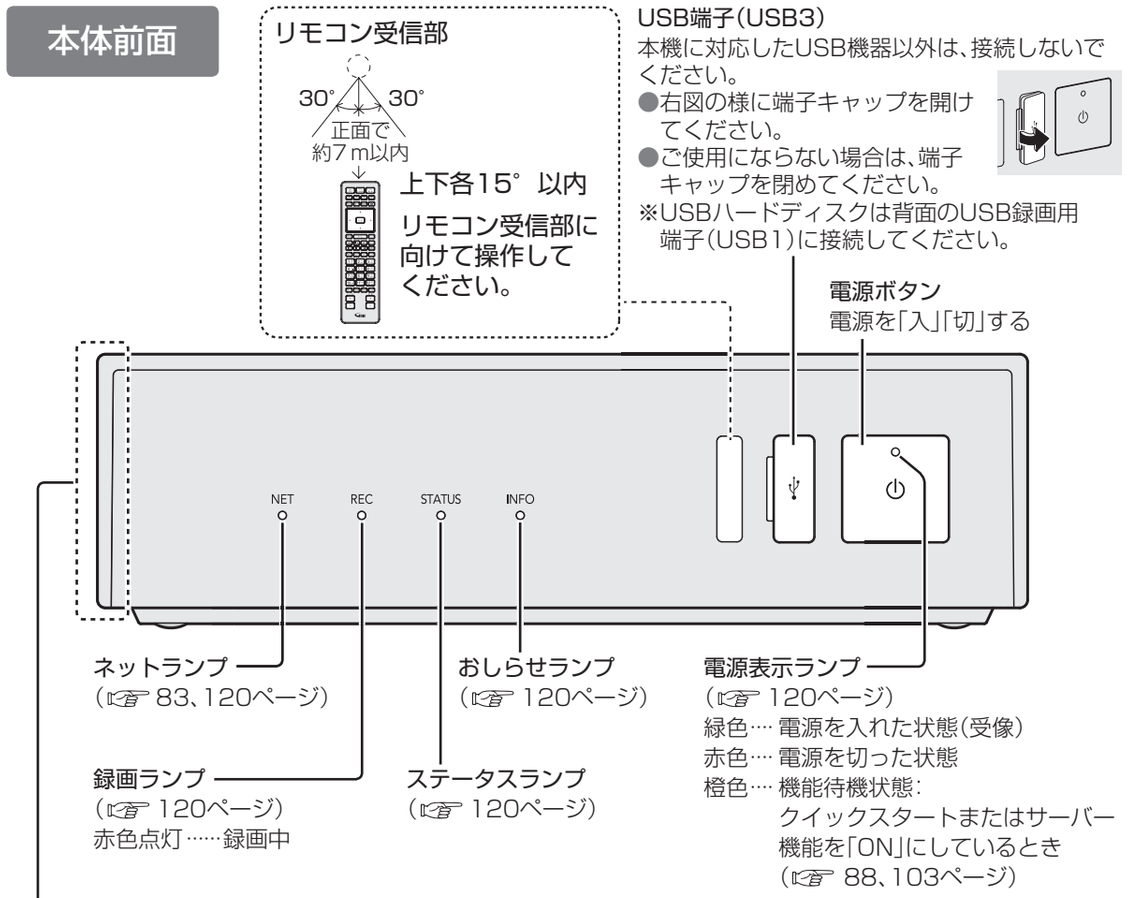
■設置について
- **熱器具から離してください。**
  製品の変色、変形や故障の原因になります。
- **直射日光が当たる所に設置しないでください。**
  製品が変色する恐れがあります。
- **機器相互の干渉に注意してください。**
  本機の影響を受けて、ビデオやラジオなどの映像や音声に雑音が入る場合があります。
  （発生した場合は本体から十分離してご使用ください。）
- テレビ台などに設置した場合、上側が10 cm以上、左右が10 cm以上、後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。

■本体内部から「ブーン」と音が聞こえる場合があります。
本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。通風孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。

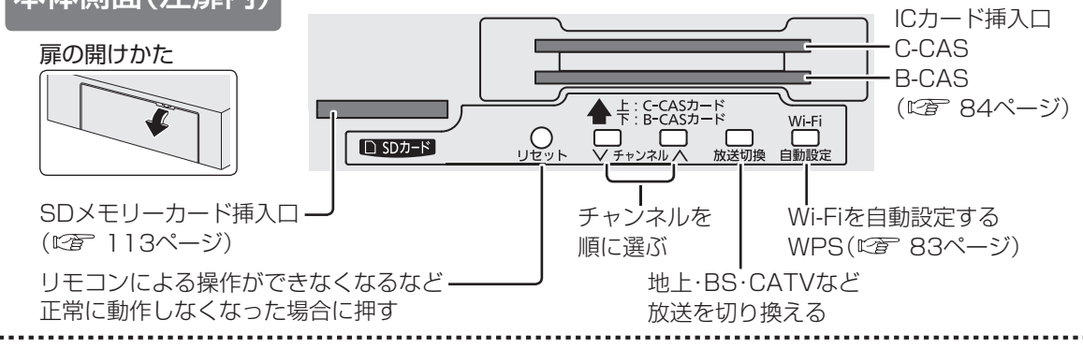
- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- 本機は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格および日本ケーブルラボ規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 国外で本機を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CAS カードおよび C-CAS カードは地上・BS・CATV デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

各部のはたらき

本体前面



本体側面（左扉内）

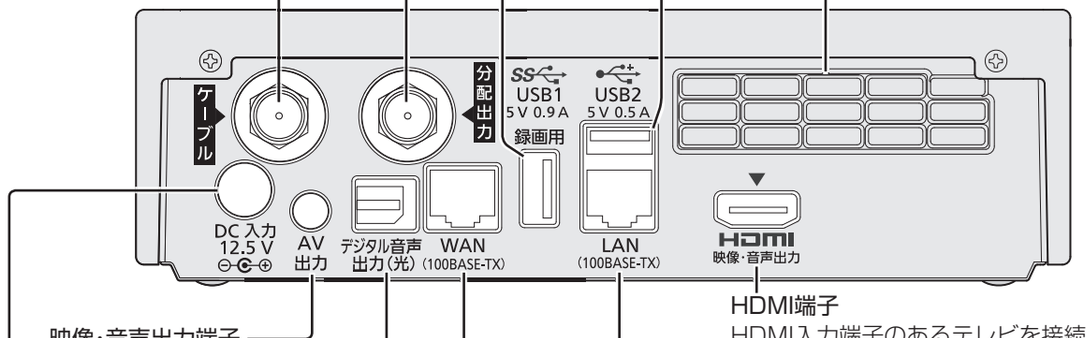


お願い

- 電源「切」時（電源表示ランプが赤色点灯の状態）でも、デジタル放送からの情報受信や有料番組の視聴記録の送信を自動的に行います。
- 最新の番組情報の取得とダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。
- 電源「切」時・電源表示ランプ赤色点灯時・消灯時の場合も、一部の回路は通電しています。

各部のはたらき

本体背面



分配出力端子
テレビを接続
(☞ 78ページ)

ケーブル端子
ケーブルテレビ
宅内線を接続
(☞ 78ページ)

USB録画用端子(USB1)
●録画用のUSBハードディスクを接続(☞ 40ページ)
●推奨品(☞ 118ページ)の機器を接続してください。

USB端子(USB2)
本機に対応したUSB機器以外は、接続しないでください。

通風孔

HDMI端子
HDMI入力端子のあるテレビを接続
(☞ 79ページ)

映像・音声出力端子(AV出力)
映像・音声入力端子のあるテレビまたは録画機器を接続(☞ 79ページ)

デジタル音声出力(光)端子
デジタル音声入力(光)端子のあるオーディオ機器を接続
(☞ 109ページ)

LAN端子
LAN録画対応機器、ネットワーク機器(ブロードバンドルーターなど)を接続
(☞ 68、80ページ)

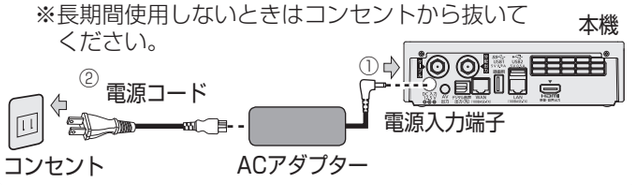
WAN端子
通信端末(光回線終端装置など)を接続
(☞ 80ページ)
●ご契約内容によっては、WAN端子を使用してインターネットに接続することができません。ご契約内容をご確認のうえ接続してください。

電源入力端子
付属のACアダプターを接続
電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていますので、ICカードの抜き差し時や異常時以外は抜かないでください。

ACアダプターおよび電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器のACアダプターおよび電源コードを本機に使用しないでください。

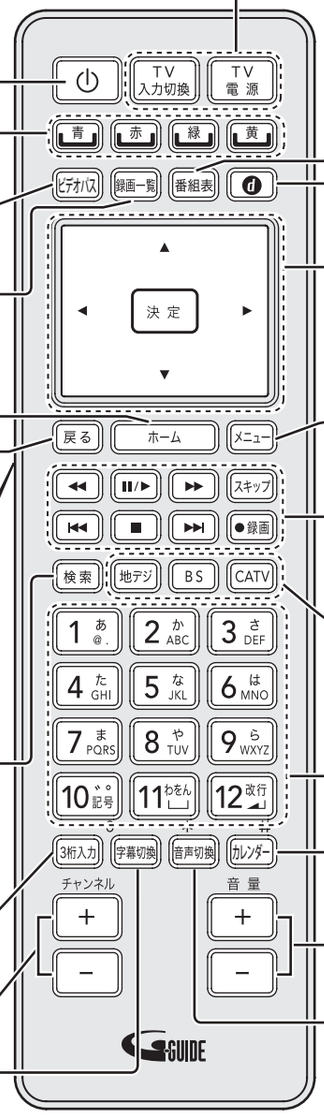
ACアダプターを接続する

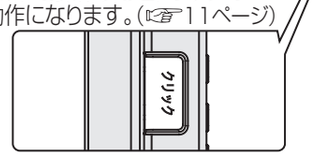
①本機の電源入力端子にACアダプターを接続する
②電源コードをACアダプターに取り付け、電源プラグをコンセントに差し込む
※長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。



お知らせ
●コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

リモコン





テレビの操作をする
●電源を「入」「切」にする
●テレビの入力を切り換える
●テレビのメーカー設定が必要です
(☞ 91 ページ)

電源を「入」「切」にする

カラーボタン
画面上で指示が出たときに使う

番組表を表示(☞28 ページ)

ビデオパスサービスを起動する
●ビデオパスサービスのご利用には契約が必要です。

データ放送の画面を表示
(☞ 25 ページ)

録画済一覧画面を表示
(☞ 54 ページ)
●USBハードディスクの接続・登録が必要です。(☞40、42ページ)

画面上で選択や決定をする
【▲▼◀▶(上下左右)、決定、タッチパッド】
(☞ 11 ページ)

ホーム画面に戻る(☞ 12 ページ)

1つ前の画面や状態に戻る

ホーム(サブ)／詳細メニュー／サブメニューを表示
(☞ 14、20、26 ページ)

クリックボタン(左横)
●カーソルで選択した項目の決定、クリックボタンを押しながらタッチパッドを操作するとドラッグの動作になります。(☞11ページ)

USBハードディスク、DLNA対応機器、ビデオパスやYouTubeなどの再生操作を行う(☞57ページ)

放送を切り換える(☞21 ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局によりサービス内容が異なります。サービスされていない放送には、切り換わりません。

映像まとめて検索をする
(☞18ページ)
●インフォメーションサービスまたはアプリケーションサービス(☞13ページ)ではGoogle検索が起動します。

放送のチャンネルを選ぶ
数字や文字入力を行う

カレンダーアプリを起動する
(☞ 19ページ)

チャンネル番号を入力して選局するとき(☞ 21 ページ)

テレビの音量を調整する

チャンネルを順送りで選ぶ
(☞21、72 ページ)

ステレオ／2ヵ国語など音声を切り換える(☞23ページ)

字幕の表示／非表示を切り換える(☞23 ページ)

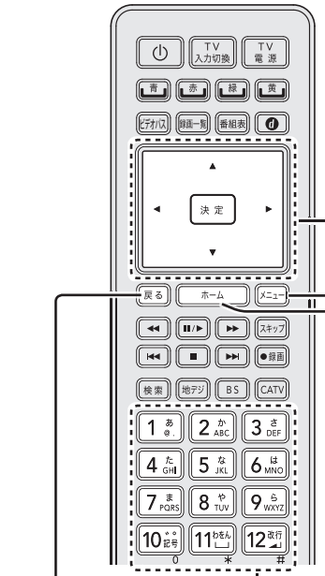
※リモコンの電池の入れかた(☞ 10ページ)

お願い
● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
● 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。
● リモコンを落としたり、液状のものをかけないでください。故障の原因となります。

お知らせ
●本機の近くに別のパナソニック製機器があるとき、本機のリモコン操作で別の機器が反応してしまうことがあります。この場合は、本機とリモコンのリモコンモードの設定を切り換えてください。(☞ 91ページ)

基本操作のしかた

リモコン操作について



設定中や設定後に押すと、ホーム画面に戻る

設定中に押すと、1つ前の画面に戻る

■数字を入力するとき

リモコンボタン	入力文字（表示内容）
1 あ ～ 9 WXYZ	1～9
10 空白 0	0
11 わ ん *	*
12 改行 #	#

●文字入力について
（☞ 36～38ページ）

設定を行うとき

ホーム
押す



メニュー
押す

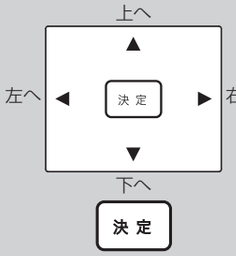


◀または▶を押して「設定/料金」項目を選ぶ

決定
押して決定する

● 詳細の操作は、14ページをご覧ください。メニューの項目については、114ページ「本体設定メニュー」をご覧ください。

画面上で選ぶとき





●▲▼◀▶で、選択部分を移動させ、中央の決定ボタンを押すと次の画面になります。

■本取扱説明書では

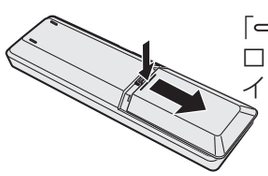


で選択する操作を▲▼で説明しています。

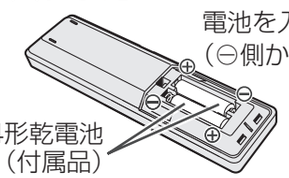


で選択する操作を◀ ▶で説明しています。

リモコンの電池の入れかた



「⟹」部分を押しながらロックが外れるまでスライドさせてふたを外す



電池を入れ、ふたを閉める（⊖側から先に入れます）

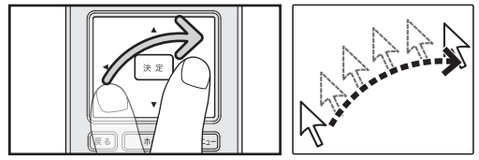
単4形乾電池（付属品）

●電池の交換をすると、テレビのメーカー設定が「パナソニック(新１)」に戻ることがありますので、ご使用のテレビに合わせて再設定をしてください。（☞ 91ページ）
●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

タッチパッドの使いかた

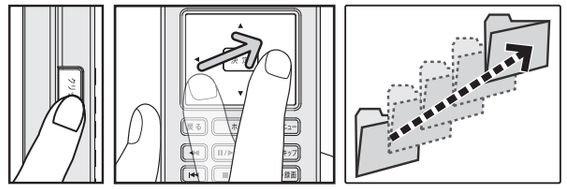
カーソル移動

タッチパッドに触れたまま、指を自由な方向に動かします。
●インターネット画面などでカーソルを移動して、画面に表示される項目を選びます。



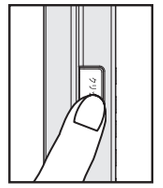
ドラッグ

クリックボタン（左横）を押しながら、タッチパッドに触れた指を自由な方向に動かします。
●選択した項目を移動できます。



クリック

カーソルで選択した項目を決定します。
● 決定 でもカーソルで選択した項目を決定できます。



お願い
●タッチパッドの上にものを置いたり、爪など先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作したりしないでください。破損や誤動作の原因となります。
●油などでタッチパッドを汚さないでください。正常に動作しなくなることがあります。

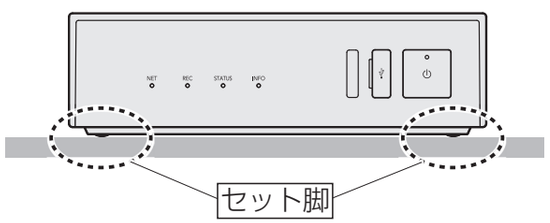
本機の設置方法

本機は、横置きで設置されることをおすすめします。
※お客さまの環境に合わせて縦置きでも設置できます。

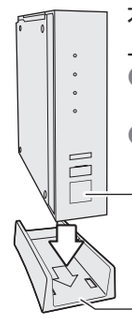
本機の設置方法

セット脚が下になるように置く

※水平で安定した場所に設置してください。



■縦置き（縦置きスタンドの取り付け）



本機を縦置きスタンド（付属）の上方から、ゆっくり差し込む
●縦置きスタンドの矢印（⇩）で正面を確認し、差し込んでください。
●しっかり差し込まれているか確認してください。

電源ボタン

電源ボタン側を下に設置してください。

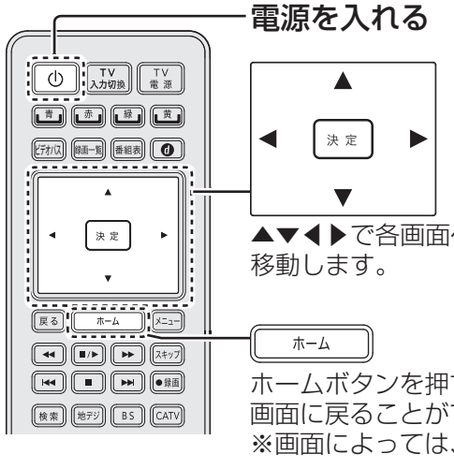
正面

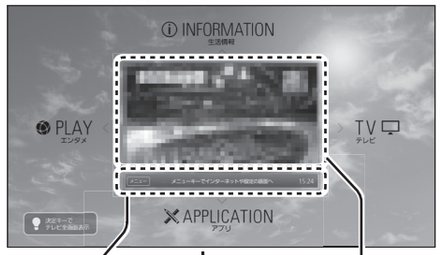
お知らせ
●直射日光が当たる所に設置しないでください。製品が変色する恐れがあります。
●風通しのよい所に設置してください。
●横置きまたは縦置き以外の置きかたはしないでください。
●縦置きにするときは、必ず付属の縦置きスタンドを使用してください。
●周囲に10 cm 以上の間隔をあけて設置してください。

ホーム画面の操作

ホーム画面

電源を入れて、しばらくするとホーム画面が表示されます。



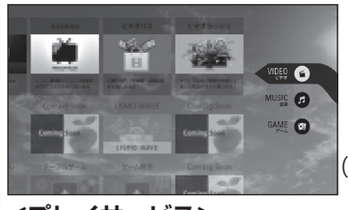


各サービスへの移動のしかた



<インフォメーションサービス>
生活を便利にするアプリケーションや地域情報、ケーブルテレビ局からのおすすめ情報が表示されます。
（☞ 13ページ）

<ホーム画面> （上）



（左）



（右）



（下）



<プレイサービス>
映像、音楽、ゲームのアプリケーションが表示されます。
（☞ 13ページ）

<テレビ・録画番組サービス>
テレビの視聴や録画に関する操作を行う画面が表示されます。
（☞ 20、28、34、52、54、66ページ）

決定を押すと、プレビュー画面の番組を全画面表示します。

<アプリケーションサービス>
お持ちのアプリケーションが表示されます。お好みに合わせてアプリケーションの追加、削除ができます。（☞ 16ページ）

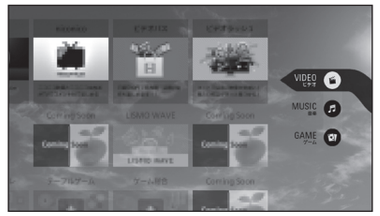
本機には、次のようなアプリケーションがインストールされています。
（下記のサービス内容は2012年10月現在の情報です）
利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。

インフォメーションサービスの表示内容



- **LIFE（くらし）**
  生活を便利にするアプリケーションが表示されます。
- **LIVING（リビング）**
  日常の生活に必要な情報を提供するアプリケーションが表示されます。
- **CATV（おしらせ）**
  地域情報、ケーブルテレビ局からのおすすめ情報が表示されます。

プレイサービスの表示内容



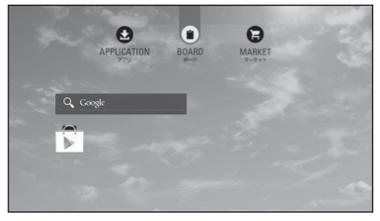
- **VIDEO（ビデオ）**
  映像のアプリケーションが表示されます。
- **MUSIC（音楽）**
  音楽のアプリケーションが表示されます。
- **GAME（ゲーム）**
  ゲームのアプリケーションが表示されます。

テレビ・録画番組サービスの表示内容



- **RESERVE（予約一覧）**（☞ 52ページ）
- **RECORD/DLNA（録画済一覧・ホームネットワーク）**
  （☞ 54、66ページ）
- **ON AIR（現在放送中）**（☞ 20ページ）
- **MY CHANNEL（お気に入り）**（☞ 34ページ）
- **EPG（番組表）**（☞ 28ページ）
- **RECOMMEND（おすすめ番組ナビ）**
  ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示されない場合があります。

アプリケーションサービスの表示内容



- **APPLICATION（アプリ）**
  お持ちのアプリケーションのリストが表示されます。
  （☞ 16ページ）
- **BOARD（ボード）**
  お好みに合わせウィジェット、アプリのショートカットやフォルダの追加・削除ができます。（☞ 17ページ）
- **MARKET（マーケット）**
  お好みのアプリケーションをマーケットからダウンロードできます。（☞ 16ページ）

お知らせ

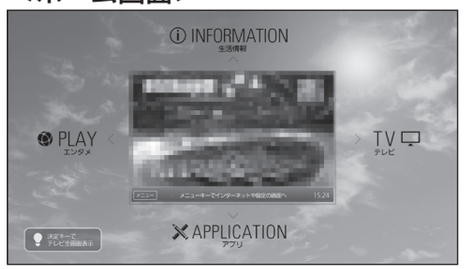
- アプリケーションによっては、インターネットの接続、および利用者登録が必要な場合があります。
- システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
- ホーム画面のテーマを変更できます。（☞ 17ページ）
- ホーム画面や各画面はバージョンアップなどの更新があった場合、自動的に表示内容およびデザインが変更されることがあります。
- 「スタート画面」（☞ 88ページ）の設定で、電源「入」時にテレビ全画面表示にすることもできます。
- プレビュー画面が表示されない画面では、BGMが再生されます。（サウンド設定 ☞ 18ページ）

ホーム画面の操作

本体設定

必要に応じて本機の設定を変更できます。

本体設定メニューの表示

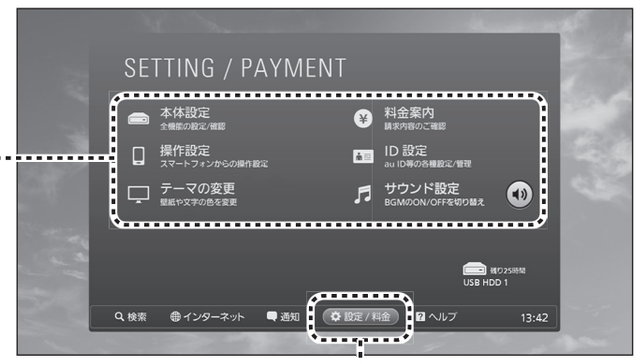


1 ホーム画面で［メニュー］を押す
- ホーム（サブ）画面が表示されます。
- 本機のアップデート、アプリのアップデートや各アプリにより通知画面が表示されます。

2 ◀▶でメニューの「設定／料金」を選び、［決定］を押す

3 ▲▼◀▶で「本体設定」を選び、［決定］を押す
- 本体設定メニュー画面が表示されます。（☞右ページ）

※APPLICATION（アプリ）画面の「設定」からでも表示することができます。（☞16ページ）



本体設定メニュー画面

4 ▲▼で設定項目を選び、［決定］を押す

5 ▲▼で設定内容を選び、［決定］を押す

6 ▲▼◀▶で設定する
- 画面に従って設定してください。





- **操作中、［戻る］で1つ前の画面に戻ります。**
- **操作中、［ホーム］でホーム画面に戻ります。**

本体設定メニューの内容

放送・システム

放送・システム
CATV機器としての基本的な設定をします。（☞115ページ）



「放送・システム」メニュー

無線とネットワーク

ネットワーク
ネットワークを設定します。

端末

メモリー容量管理
SDカード、USB機器の情報を確認し、設定をします。

アプリ
アプリケーションの管理をします。

ユーザー設定

アカウントと同期
アカウントの同期·追加を設定します。

ID設定
ユーザーのIDを設定します。

位置情報サービス（☞下記）
位置情報サービスについて設定します。

セキュリティ
パスワード入力時の表示の有無などを設定します。

言語と入力
文字の入力方法などを設定します。

バックアップとリセット
バックアップの設定をします。

ソフトウェア更新設定
ソフトウェアのダウンロードについて設定します。

システム

日付と時刻
日付と時間の表示形式の設定をします。

アプリの音
アプリの音量、通知音などを設定します。

ディスプレイ
壁紙、フォントサイズなどを設定します。

ユーザー補助
メニューの文字サイズなどを設定します。

開発者向けオプション
開発者用の情報が表示されます。

機器情報
機器の情報などが表示されます。

お知らせ
- 本体設定メニューの詳細な設定項目と設定内容については「本体設定メニュー」（☞114、115ページ）をご参照ください。

位置情報サービスの設定

設定すると、位置情報を必要とするアプリケーションをより正確に利用することができます。

①14ページ「本体設定」手順 4 で「位置情報サービス」を選び、［決定］を押す

②「位置情報サービス」を選び、［決定］を押す
- 項目の右側の☑マークが表示されているのを確認してください。

本機の設置場所や端末などの情報をGoogleへ提供することを許可する場合は、続けて手順③の設定を行ってください。
（許可しない場合は、手順②で終了してください。）

③「位置情報とGoogle検索」を選び、［決定］を押す
- 項目の右側の☑マークが表示されているのを確認してください。

ホーム画面の操作

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

アプリケーションサービス画面の操作［APPLICATION(アプリ)］

お持ちのアプリケーションの一覧を表示し、選択して使うことができます。

APPLICATION(アプリ)

お持ちのアプリケーションのリストが表示されます。

<APPLICATION(アプリ)画面>



1 **ホーム画面で▼を押す**
●アプリケーションサービス画面が表示されます。

2 **◀▶で「APPLICATION(アプリ)」を選ぶ**

3 **▲▼◀▶で起動したいアプリケーションを選び、[決定]を押す**
●アプリケーションが起動します。

APPLICATION(アプリ)の表示設定

APPLICATION(アプリ)の表示を設定します。

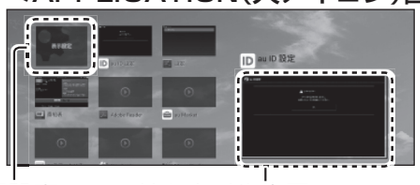
1 **▲▼◀▶で表示設定を選び、[決定]を押す**
●表示設定画面が表示されます。
▲▼◀▶で項目を設定し、▲▼で「決定」を選び[決定]を押す。
「表示方法」:アイコンのサイズが切り換わる／「並び順」:50音順と使用履歴が切り換わる

<APPLICATION(小アイコン)画面>



表示設定

<APPLICATION(大アイコン)画面>



表示設定

サムネイル表示
●一度起動したアプリは、起動時のスクリーンショットが表示されます。

アプリケーションサービス画面の操作［MARKET(マーケット)］

MARKET(マーケット)

お好みのアプリケーションをマーケットからダウンロードできます。

1 **ホーム画面で▼を押す**
●アプリケーションサービス画面が表示されます。

2 **◀▶で「MARKET(マーケット)」を選ぶ**
●マーケットリスト画面が表示されます。

3 **◀▶で起動したいマーケットを選び、[決定]を押す**
●選んだマーケットが起動します。
●Google Play™では、Googleアカウントが必要です。
au Marketでは、au IDが必要です。

<マーケットリスト画面>



※記載の画面は予告なく変更する場合があります。

お知らせ
●ご契約時にauIDを登録されたお客様において、KDDIより郵送された「auID通知のはがき」を紛失してしまった場合は、KDDIお客様センター(auケータイから157、au以外の携帯電話・一般電話からは0077-7-111)までお問い合わせください。

アプリケーションサービス画面の操作［BOARD(ボード)］

BOARD(ボード)

お好みに合わせウィジェット、アプリのショートカットやフォルダの追加･削除ができます。

1 **ホーム画面で▼を押す**
●アプリケーションサービス画面が表示されます。

2 **◀▶で「BOARD(ボード)」を選ぶ**

追加する

3 **◀▶で追加したい位置を選び、[決定]を押す**
●追加可能な位置には「+」が表示されます。

4 **◀▶で「ウィジェット」、「ショートカット」、「フォルダ」を選び、[決定]を押す**
●選択した位置に配置されます。

APPLICATION(アプリ)から追加する

1 16ページ「APPLICATION(アプリ)」手順 3 でアプリケーションを選び、[メニュー]を押す

2 **◀▶で「ボードに追加」を選び、[決定]を押す**

3 **◀で「はい」を選び、[決定]を押す**

削除する

3 **▲▼◀▶で削除する対象を選び、[メニュー]を押す**

4 **▶で「削除」を選び、[決定]を押す**

5 **◀で「はい」を選び、[決定]を押す**

移動する

3 **▲▼◀▶で移動する対象を選び、[メニュー]を押す**

4 **◀で「移動」を選び、[決定]を押す**

5 **▲▼◀▶で移動し、[決定]を押す**
●他の対象やボードの範囲外になる場合などは、移動できないことがあります。

テーマの変更

操作画面の壁紙や文字の色など、お好みで切り換えることができます。

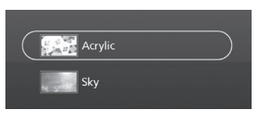
1 **ホーム画面で[メニュー]を押す**
●ホーム(サブ)画面が表示されます。

2 **◀▶でメニューの「設定／料金」を選び、[決定]を押す**

3 **▲▼◀▶で「テーマの変更」を選び、[決定]を押す**
●テーマの変更画面が表示されます。

4 **▲▼でテーマを選び、[決定]を押す**
●選択したテーマの壁紙や文字の色に切り換わります。
●お客様がインストールしたホームアプリの壁紙は、テーマを変更しても切り換わりません。





ホーム画面の操作

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

映像まとめて検索

放送番組、録画番組、ネット動画などをまとめて検索します。検索結果から予約や再生ができます。

1 ホーム画面で[メニュー]を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。

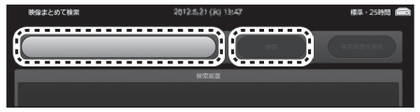
2 ◀▶でメニューの「検索」を選び、[決定]を押す
●映像まとめて検索画面が表示されます。

3 ▼▲で「見たい映像を横断検索」を選び、[決定]を押す

4 検索したい番組名などのキーワードを入力し、▼▲◀▶で「検索」を選び、[決定]を押す
●▼▲◀▶で検索履歴から選び、[決定]を押すことでも入力できます。
●文字入力について(☞ 36ページ)



＜映像まとめて検索画面＞



ヘルプ

各種機能・操作方法のご案内が表示されます。

1 ホーム画面で[メニュー]を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。

2 ◀▶でメニューの「ヘルプ」を選び、[決定]を押す
●ヘルプ画面が表示されます。

3 ▲▼で「マニュアル」を選び、[決定]を押す
●以降は画面の表示に従って操作してください。



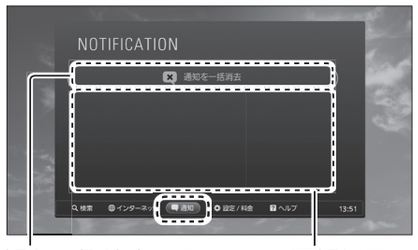
通知

本機のアップデート、アプリのアップデートや各アプリによる通知などをお知らせします。
●通知があるか確認する方法は、以下の通りです。
・おしらせランプ(INFO)が点灯時(☞ 7、120ページ)
・番組のタイトル表示時(☞ 22ページ)
・プレビュー画面下の通知バー(☞ 12ページ)

1 ホーム画面で[メニュー]を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。

2 ◀▶でメニューの「通知」を選び、[決定]を押す
●通知画面が表示されます。

3 ▲▼で項目を選び、[決定]を押す



通知を一括消去する　　通知リスト

サウンド設定

プレビュー画面が表示されない画面のBGMを「ON」「OFF」できます。

1 ホーム画面で[メニュー]を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。

2 ◀▶でメニューの「設定／料金」を選び、[決定]を押す

3 ▲▼◀▶で「サウンド設定」を選び、[決定]を押す
●BGMが「ON」⇔「OFF」に切り換わります。



カレンダー

カレンダーは、家族みんなで共有できるスケジューラーです。日々の暮らしに必要で、楽しい生活情報を得られる機能を搭載した家族だんらんのための共有カレンダーサービスです。
カレンダーを表示するには以下の操作を行ってください。

視聴中など

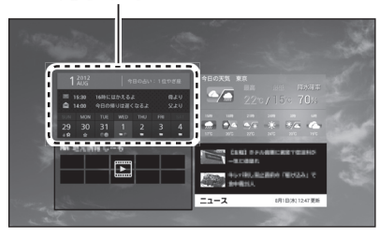
1 [カレンダー]を押す

ホーム画面から

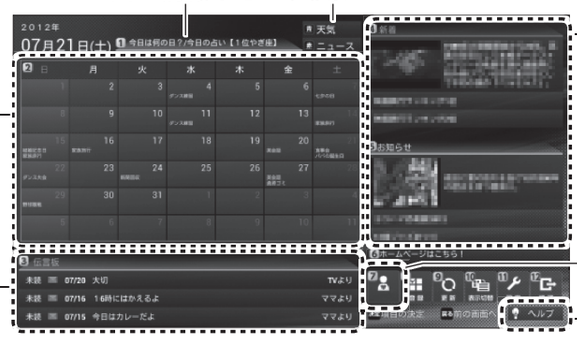
1 ▲を押す
●インフォメーションサービス画面が表示されます。

2 ◀▶で「LIVING(リビング)」を選び、[決定]を押す

3 ▲▼◀▶で「カレンダー」を選び、[決定]を押す



カレンダーの説明



※伝言板、安心通知機能の利用には、初回利用時または設定画面でメールアドレスの登録が必要です。
※初回利用時にID、パスワードの設定が必要です。ご利用に必要な場合がありますので大切に保管してください。
※記載の機能、画面、コンテンツは予告なく変更する場合があります。

インターネット

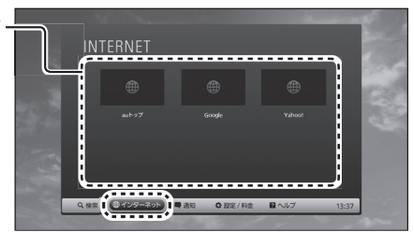
インターネットに接続することができます。

1 ホーム画面で[メニュー]を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。

2 ◀▶で「インターネット」を選び、[決定]を押す
●ブックマーク画面が表示されます。

3 ▲▼◀▶でブックマークを選び、[決定]を押す
●ブラウザアプリが起動されます。

＜インターネット画面＞



有害サイト閲覧を制限するには・・・
有害サイトフィルタリングサービス(有料)にご加入いただくと、未成年のかたなどが有害サイトを閲覧できないように制限をかけることができます。**詳しくは117ページをご参照ください。**

テレビ放送を見る

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

■ 準　備



テレビの電源を入れる　　入力画面を切り換える※

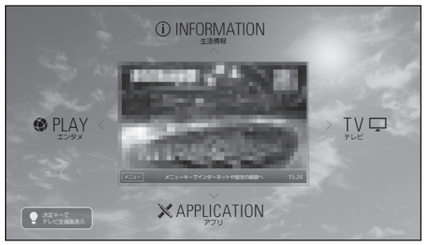
●「スタート画面」(☞ 88ページ)の設定で、電源「入」時にテレビ全画面表示にすることもできます。

※本機のリモコンでテレビの電源を入れたり、入力切り換えを行うことができます。(☞ 9、91ページ)

■リモコン操作については、10ページをご覧ください。

ホーム画面から番組を選んで見る

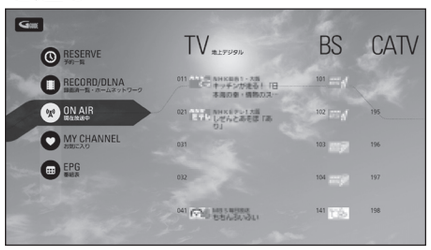
1 電源を入れる
●しばらくするとホーム画面が表示されます。



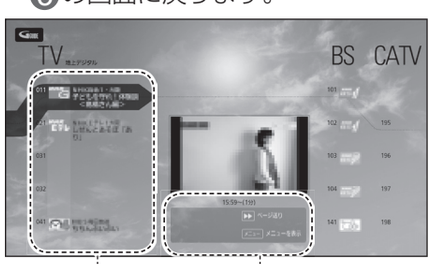
※[決定]を押すと、プレビュー画面の番組が全画面表示されます。

2 ▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

3 ▲▼で「ON AIR(現在放送中)」を選ぶ



4 ◀▶で放送を選ぶ
●TV(地上デジタル)のとき◀を押すと❸の画面に戻ります。



チャンネルページ　キー操作説明

5 ▲▼でチャンネルを選ぶ
●[▶▶]：チャンネルページ送り
[◀◀]：チャンネルページ戻し
[⏮]：チャンネルページを先頭に戻す

6 [決定]を押す
●選択した番組が全画面表示されます。
●タイトル表示について(☞ 22ページ)



番組の詳細メニューを見る

上記手順❺で番組を選び、[メニュー]を押す
●選択した番組の詳細メニューが表示されます。
▲▼で選び、[決定]を押してください。



詳細メニュー

■見る
番組が全画面表示されます。

■番組詳細
番組の詳細が表示されます。

■マイチャンネル登録／マイチャンネル解除
マイチャンネルの登録／解除ができます。(☞ 34ページ)

お知らせ
●ホーム画面で[チャンネル +/−]を押すと、テレビ全画面表示に切り換わります。

テレビ全画面表示中の番組選局

20ページ手順❻でテレビ全画面表示にする



1 選局入力方式(☞ 73ページ)が「プリセット」の場合は放送を選ぶ
●選局入力方式が「3桁入力」の場合はそのまま手順❷へ

■放送切換ボタン
[地デジ] 地上デジタル放送
[BS] BSデジタル放送
[CATV] CATVデジタル放送
(CATVの放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります。)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

2 チャンネルを選ぶ

■選局ボタン

[1]～[12]　**数字ボタンでチャンネルを選ぶ**
■選局入力方式が「プリセット」の場合
押すとボタンに登録した放送局を選局します。
(はじめに[3桁入力]を押すと「3桁入力」もできます。)

[チャンネル +/−]　**順送りで選ぶ**
●押すたびに、受信できるチャンネルを順々に選局します。
●選局対象とチャンネルアップダウンで設定したチャンネルが選局できます。(☞ 72ページ)
●番組表の表示やチャンネル選局を視聴できるチャンネルのみに設定できます。(☞ 87ページ)

※[◀◀]を押すと一つ前のチャンネルに戻ります。

3桁チャンネル番号を入力して選局する

1 [3桁入力]を押す

2 [1]～[10]で3桁番号を入力する
例:「地上デジタル101」チャンネルを選ぶとき　[1]　[10]　[1]
3秒以内　3秒以内

●画面右上に入力パネルが表示されます。
●数字ボタンの3桁目を押すと同時に選局されますのでご注意ください。
●入力パネルの表示中は[11]を押すと、一文字削除できます。
●3桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、下図のような選択パネルが表示されます。

▼▲で見たい放送を選び、[決定]を押してください。
・選んだ放送が選局されます。

○○○	LOGO	○○○	○○○
○○○	LOGO	○○○	○○○
○○○	LOGO	○○○	○○○

お知らせ
●番組表で選局するには(☞ 28ページ)
●数字ボタン(1～12)で選局するチャンネルを変更するには(☞ 85～87ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により選択できない場合があります。

■地上デジタル放送で、枝番号の異なる放送を選局する場合
(枝番号とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。)
①枝番号のある地上デジタル放送を受信中に、メニューボタンを押す
②▼▲で枝番選局を選び、決定する
③表示された放送局リストから、見たい放送を選び、決定する
●手順③で緑ボタンを押すと、選択中の枝番の放送局にマークが付きます。
(チャンネル番号入力時は、その枝番の放送局を選局します)

テレビ放送を見る

● **操作中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **操作中、**ホーム でホーム画面に戻ります。

番組のタイトル表示(選局時)

チャンネル選局をしたときに番組のタイトルなどが表示されます。
タイトル表示は「大」、「小」の2種類あります。
●「タイトル表示」の設定(☞ 73ページ)により切り換えることができます。
・「タイトル表示」:ON → タイトルの表示は「大」になります。
・「タイトル表示」:OFF → タイトルの表示は「小」になります。
●一定時間操作をしない状態が続くと表示は消えます。

タイトル表示(「大」)

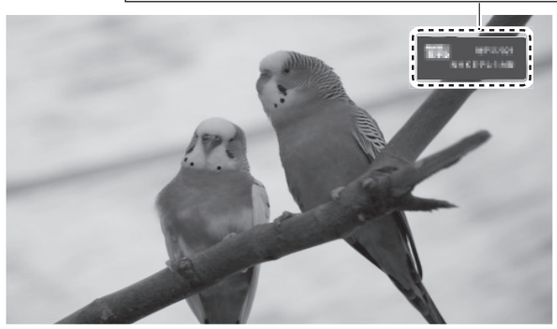
【番組についての情報】
放送中番組(放送開始時刻、番組タイトル)
次放送予定番組(放送開始時刻、番組タイトル)
【チャンネル情報】
チャンネル番号、放送種別、チャンネルロゴ、チャンネル名、マイチャンネルモード表示
【動作の情報】
録画中アイコン、ダビング進捗表示

各アプリからの通知件数(☞ 18ページ)



タイトル表示(「小」)

【チャンネル情報】
チャンネル番号、放送種別、チャンネルロゴ、チャンネル名、マイチャンネルモード表示
【動作の情報】
録画中アイコン、ダビング進捗表示



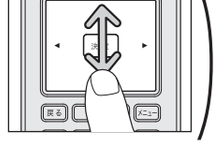
高速チャンネル選択

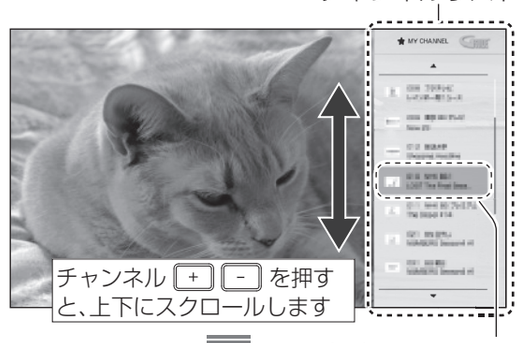
テレビ全画面表示中にすばやくチャンネルを選んで切り換えることができます。

1 テレビ全画面表示中に チャンネル + − を長押し(約3秒)する

●画面右にチャンネルリストが表示されます。

(タッチパッドに触れた指を下から上または、上から下になぞるように動かすことでも表示されます。





2 チャンネル + − を押し、チャンネルを選択する

(▲▼でもチャンネルを選択できます。)



3 決定 を押す

●選択したチャンネルに切り換わります。

お知らせ
●マイチャンネル選局モード(☞ 34ページ)のときは、マイチャンネルに登録したチャンネルのみが表示されます。

多重音声放送(二重音声、マルチ音声)のとき

多重音声放送のときには、音声を切り換えることができます。

音声切替 ●押すたびに音声が切り換わります。

■二重音声
(1つの音声に主音声と副音声が含まれる)
例
音声1(主)(日本語) → 音声1(副)(外国語) → 音声1(主+副)(日本語+外国語) → 音声1(主)(日本語)

■マルチ音声
(複数の音声が含まれる)
例
音声1(日本語) → 音声2(日本語/解説) → 音声1(日本語)

お知らせ
●放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語の場合があります。
●切り換えた音声が有料の場合もあります。

字幕付き番組のとき

字幕付き番組のときには、字幕表示する/しないを切り換えることができます。

1 字幕切替 ●一度押すと現在の設定を表示し、その後は押すたびに字幕の表示と消去を繰り返します。

テレビ放送を見る

● **操作中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **操作中、**ホーム でホーム画面に戻ります。
● **操作中、**メニュー でサブメニューの表示が消えます。

有料番組を見る(ペイ・パー・ビュー)

●デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。
●有料番組(ペイ・パー・ビュー)を視聴、録画するには、ご加入のケーブルテレビ局と有料番組の契約と画面上での購入操作が必要です。
●インターネットへの接続が必要な場合があります。(☞ 80ページ)

1 有料番組を選局し、決定 を押す

●番組によっては、プレビュー※が表示されます。



※プレビューとは、有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービスです。

2 ◀▶で項目を選び、決定 を押す



●番組により、選べる項目が変わります。

購入する
番組を購入したことになり、視聴・録画できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない
番組を購入しません。

視聴購入
(料金を払うと視聴できるときのみ表示)
番組を購入したことになり、視聴できます。

録画購入
(料金を払うと録画できるときのみ表示)
番組を購入したことになり、視聴および録画ができます。

確認画面が表示された場合は、表示内容を確認し操作してください。

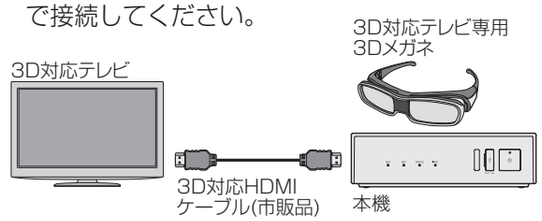
お知らせ

●**コピーガードについて**
デジタル放送には、録画できないようにしている(コピーガードのある)番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の項目が表示されません。
●購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、録画予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

3D映像の番組を見る

必要な機器と接続

3D映像の番組をご覧いただくためには、3D対応テレビと3D対応テレビ専用3Dメガネが必要です。
●本機と3D対応テレビは3D対応HDMIケーブルで接続してください。



3D映像の番組を視聴するまで

1 3D対応テレビと3D対応テレビ専用3Dメガネを準備する

2 1あ ～ 10わ を0の数字ボタンで3D映像の番組を視聴できるチャンネルを入力する

3 有料番組(ペイ・パー・ビュー)の場合、暗証番号を入力して購入する

4 本機の3D出力を設定をする
①テレビ全画面表示のとき、メニュー を押す
②「3D出力」を選び、決定 を押す
③▲▼で「入」を選ぶ
(番組の信号がオート対応の場合は、「オート」を選ぶ)

3Dメガネをかけてお楽しみください

■本機のメニューに「3D出力」が出ない場合は…
3D対応テレビ側で「3D表示」に切り換え、番組に応じた適切な3D表示方法に変更する
●「3D表示」への切り換え、3D表示方式の変更方法は、テレビの取扱説明書または、各メーカーのサイトをご確認ください。

3Dメガネをかけてお楽しみください

お知らせ

●テレビによっては、本機からテレビの3D設定を行えない場合があります。

※3D映像の番組をご視聴いただくには、本機、3D対応テレビおよび3Dテレビ専用のメガネが必要です。3D対応でないテレビや通常の状態では画面が左右に分割された2画面や二重像に見えます。

データ放送を見る

■データ放送の番組では…
お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報※を閲覧したり、視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスを利用することができます。
※テレビやラジオの番組によっては、連動した情報がない場合があります。

1 デジタル放送を見ているときに…

d を押す

●データ放送を行っていない番組もあります。
●情報が多いときは、表示に時間がかかります。

2 ▲▼◀▶で見たい項目を選び、決定 を押す

●番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。その指示に従ってください。

■テレビ放送に戻るとき

d を押す

お知らせ

●データ放送のみを行う専用チャンネルがあります。(通常の選局操作でご覧になれます。)

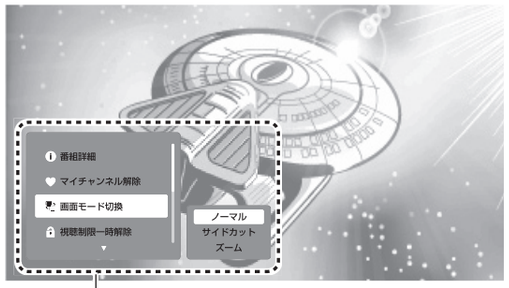
テレビ放送を見る

サブメニューを表示する

テレビ全画面表示（番組視聴中、録画番組再生中など）のときに関連したサブメニューが表示されます。

1 テレビ全画面表示中に［メニュー］を押す
●サブメニューが表示されます。

2 ▲▼で項目を選び、［決定］を押す
●▲▼◀▶で設定してください。



サブメニュー

サブメニュー項目	参照ページ
番組詳細	下記
マイチャンネル登録／解除	27、34ページ
画面モード切換	27ページ
視聴制限一時解除	27ページ
データ放送表示オフ	下記
信号切換	下記
受信状況	下記
枝番選局	21ページ
3D出力	25ページ
オフタイマー	下記

お知らせ
●一定時間操作をしない状態が続くと表示は消えます。

番組詳細

● 番組の内容紹介（番組詳細）が表示されます。

データ放送表示オフ

● データ放送を終了させることができます。
● ［d］で再度表示させることができます。
［d］を押すまでデータ放送は、起動されません。

オフタイマー

●設定時間経過後に自動的に電源を切る機能です。
「15分」、「30分」、「60分」、「90分」、「120分」を設定できます。
●電源が切れる3分前から電源オフ予告画面が表示されます。

信号切換

● 1つの番組に複数の映像や音声がある場合に「信号切換」を選び、［決定］を押すと、切り換えができる信号の選択画面になります。

お知らせ
●信号切換で表示される設定項目は、番組によって変わります。
●信号切換で切り換えた映像や音声が有料の場合もあります。

受信状況

●受信している信号の強さなどが表示されます。



お知らせ
●受信状況の表示は簡易表示であり、確認の目安です。

● 操作中、［戻る］で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、［ホーム］でホーム画面に戻ります。
● 操作中、［メニュー］でサブメニューの表示が消えます。

画面モード切換（画面の黒帯を消す）

● 画面の端が額縁表示の場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。
▲▼で「ノーマル」、「サイドカット」、「サイドカット固定」、「ズーム」などの画面モードを選んでください。

ノーマル
通常の出力

サイドカット
ワイド（16：9）放送の左右の黒帯を消して拡大表示します。
（ワイド放送以外では機能しません）
黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、ご注意ください。


左に黒帯のある1080i（16：9）の放送　ノーマルテレビ画面では額縁表示された状態　サイドカットで帯部分を消して拡大表示

サイドカット固定
設定を変えるまで、左記の「サイドカット」された画面となります。

ズーム
ノーマル（4：3）放送の上下の黒帯を消して拡大表示します。
（ノーマル放送以外では機能しません）
黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、ご注意ください。

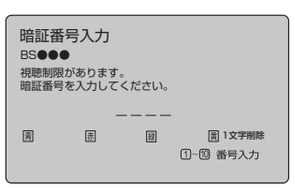

上に黒帯のあるレターボックス（4：3）の放送　ワイドテレビ画面では額縁表示された状態　ズームで帯部分を消して拡大表示

お知らせ
●選局操作や電源を「切」「入」にしたり、接続テレビ設定を変更すると、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
●「サイドカット固定」は、「テレビアスペクト」を「4：3」に設定しているときに選択できます。（☞ 89ページ）
選局操作や電源を「切」「入」にしても「ノーマル」には戻りません。
●「ズーム」が選べるのは、接続テレビ設定の「テレビアスペクト」を「16：9」「16：9フル」に設定しているときだけです。（☞ 89ページ）
●このページで記載している画面イラストは動作の一例です。
（接続するテレビやテレビ側の画面設定によっては動作が異なる場合があります）

視聴制限一時解除

● 本機の「視聴可能年齢」（☞74ページ）の設定を超える視聴制限番組は表示されません。

暗証番号を入力し、［決定］を押すと、番組を一時的に表示することができます。



マイチャンネル登録／解除

● 視聴中のチャンネルをマイチャンネルに登録します。
（マイチャンネルを解除する場合）
視聴中のチャンネルが既にマイチャンネルに登録されている場合は、マイチャンネルから解除されます。

お知らせ
●マイチャンネルの表示・編集については34ページを参照してください。

番組表を使う(EPG)

画面上にテレビ番組表が表示されます。8日間分※の番組表、および番組情報が表示されます。
(ご契約のケーブルテレビ局により異なります。)
※ネットワークからGガイド情報を取得することで1ヶ月の番組表を表示することができます。
番組表から番組の選局、番組情報の表示、番組の録画予約、番組の検索(お気に入り、フリーワード、ジャンル、人物)などができます。(☞ 32、33ページ)

番組表を表示する

番組表を表示するには以下の操作を行ってください。
※APPLICATION(アプリ)画面の「番組表」からでも表示することができます。(☞ 16ページ)

視聴中など

1 番組表 を押す

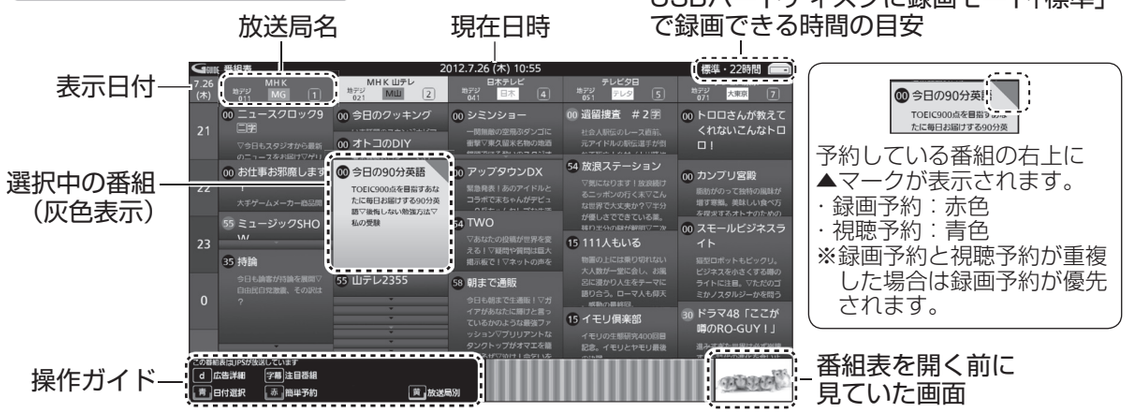
ホーム画面から

1 ▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「EPG(番組表)」を選び、決定 を押す



EPG(番組表)の説明



番組表をお使いになるために…
本機は電源を切っていても、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。

お知らせ
- **地上デジタル放送の番組表について**
  受信可能な放送局で番組表が表示されない場合は、その局を選んで、決定 を押すと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 3桁入力ボタンを押して数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力すれば、指定したチャンネルの番組表が表示されます。
- 視聴年齢制限を超える番組は「・・・」で表示されます。(☞ 74ページ)

- **操作中、戻る で1つ前の画面に戻ります。**
- **操作中、ホーム でホーム画面に戻ります。**
- **操作中、番組表 で番組表に戻ります。**

番組内容を見る/今すぐ番組を見る

1 **番組表を表示中に、▼▲◀▶で現在放送中の番組から見たい番組を選び、決定 を押す**
●番組詳細画面が表示されます。



●番組詳細を見るには
①黄(詳細閲覧)を押す
②緑 黄 を押し、ページを移動する
緑:次ページ/黄:前ページ

2 **▼▲◀▶で「選局」を選び、決定 を押す**

番組表で簡単予約する

1 **番組表を表示中に、▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す**
●番組詳細画面が表示されます。

2 **▼▲◀▶で「簡単予約」を選び、決定 を押す**
→録画予約が完了です。
●赤 を押しても予約されます。
●予約した番組は、USBハードディスクに録画されます。
●放送中の番組は即時録画されます。
●視聴年齢制限のある番組で暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号を入力してください。(☞ 74ページ)
●ペイ・パー・ビュー(PPV)の番組は予約できません。

注目番組を見る

1 **番組表を表示中に 字幕切替 を押す**
●注目番組が表示されます。

番組表の日付を変える

1 **番組表を表示中に 青 を押す**

2 **▼▲◀▶でカレンダーから日付を選び、決定 を押す**

番組表を切り換える

1 **番組表を表示中に 地デジ BS CATV を押す**
●各放送の最後に視聴していたチャンネルから始まる番組表が表示されます。

番組表で録画予約する/視聴予約する

番組表で録画予約/視聴予約ができます。

1 **番組表を表示中に、▼▲◀▶で見たい番組を選び、決定 を押す**
●番組詳細画面が表示されます。

2 **▼▲◀▶で「予約詳細」を選び、決定 を押す**
●予約詳細設定画面が表示されます。

3 **▼▲で「予約方式」を選び、◀▶で「録画」または「視聴」を設定する**
●「録画」:録画予約
「視聴」:視聴予約
(開始時間になると、チャンネルが切り換わります。)
●他の詳細設定としては、「探して毎回予約」(☞ 50ページ)、「録画機器」、「録画モード」、「その他」、「日時指定予約」(☞ 46、47ページ)が設定できます。
●「録画」を選択した場合は、「録画機器」でUSBハードディスクまたはLAN録画の録画機器を選択してください。(☞ 47ページ)

4 **▼▲で「決定」を選び、決定 を押す**

お知らせ
- 録画予約の確認・修正・消去(☞ 52、53ページ)
- 視聴予約は、本機の電源を「切」にしている場合、無効になります。本機やテレビが自動で電源「入」にはなりません。

番組表を放送局別に表示する

1つのチャンネルの番組表を8日分表示します。

1 **番組表を表示中に 黄 を押す**
●再度 黄 を押すと、全局表示に戻ります。
●青 を押すと、チャンネル選択ができます。

番組表を使う(EPG)

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。
● 操作中、[番組表]で番組表に戻ります。

予約重複を確認する

1 ▼▲◀▶で予約している番組を選び、[決定]を押す

●予約が3つ以上重複している番組にはアイコン「❗」が表示されます。
※予約一覧でも確認できます。
(☞ 31、52ページ)

2 ◀▶で「予約重複確認」を選び、[決定]を押す

●予約重複確認画面が表示されます。

番組詳細検索

番組の内容(番組詳細)に登録されているリンクを選択し、検索できます。

1 ▼▲◀▶で現在放送中の番組から見たい番組を選び、[決定]を押す

2 [黄](詳細閲覧)を押す

●番組詳細内に登録されている番組名や人物名にカーソルが表示されます。

3 ▼▲◀▶で選び、[決定]を押す

●検索結果画面が表示されます。
(☞ 33ページ)

■範囲指定で検索／登録する

①[青](範囲検索)を押し、▼▲◀▶で検索したい言葉の先頭の文字にカーソルを移動し、[決定]を押す
②▼▲◀▶で範囲選択し、[決定]を押す
③◀▶で「検索」または「登録」を選び、[決定]を押す
・「検索」：範囲選択した言葉で検索します。
・「登録」：範囲選択した言葉をキーワード登録します。お気に入り検索のキーワードとして使用できます。

サブメニュー

番組表に関連したサブメニューが表示されます。

1 番組表を表示中に[メニュー]を押す

●サブメニューが表示されます。

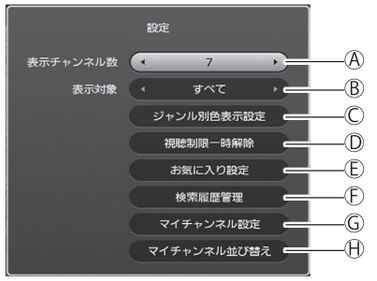
2 ▼▲で項目を選び、[決定]を押す



①番組表に戻る
②お気に入り検索(☞ 32ページ)
③ジャンル検索(☞ 32ページ)
④フリーワード検索(☞ 32ページ)
⑤人物検索(☞ 33ページ)
⑥予約一覧
予約一覧画面が表示されます。
・予約の修正ができます。
▼▲で予約を選び、[決定]を押す
(録画中の番組は修正できません。)
⑦設定(☞ 下記)

設定

3 ▼▲で「設定」を選び、[決定]を押す



Ⓐ表示チャンネル数
Ⓑ表示対象
Ⓒジャンル別色表示設定
Ⓓ視聴制限一時解除
Ⓔお気に入り設定
Ⓕ検索履歴管理
Ⓖマイチャンネル設定
Ⓗマイチャンネル並び替え

●各設定画面が表示されます。画面に従って設定してください。

表示チャンネル数

表示するチャンネル数を設定します。
●「3」「5」「7」「11」「15」の設定ができます。

表示対象

表示するチャンネルの対象を設定します。
●「すべて」、「プライマリ表示」※、「マイチャンネル表示」の設定ができます。
※ チャンネルの主番号のみ表示します。

ジャンル別色表示設定

番組開始時間の背景色をジャンル別に設定します。

お気に入り設定

「番組詳細検索」(☞30ページ)でキーワード登録したものから、お気に入り検索(☞32ページ)で使用するキーワードを設定します。

視聴制限一時解除

本機の「視聴可能年齢」(☞74ページ)の設定を超える視聴制限番組は表示されません。
暗証番号を入力し、[決定]を押すと、番組を一時的に表示することができます。

検索履歴管理

検索履歴管理一覧から検索履歴を消去します。
●個別またはすべての検索履歴を消去できます。

マイチャンネル設定

マイチャンネルを設定します。

マイチャンネル並び替え

マイチャンネルを並び替えます。

お好みの番組を探す

本機は番組表の検索機能により、放送局から送られてきた情報からお好みの番組を探すことができます。「お気に入り」、「ジャンル」、「フリーワード」、「人物」で検索することができます。
※実際の放送に該当する項目（キーワードなど）が含まれている場合でも、検索の結果には表示されないことがあります。

番組を探す

1 番組表を表示中に［メニュー］を押す
●サブメニューが表示されます。

2 ▼▲で検索したい項目を選び、［決定］を押す
■「お気に入り検索」（☞ 下記）
■「ジャンル検索」（☞ 右記）
■「フリーワード検索」（☞ 下記）
■「人物検索」（☞ 33ページ）

お気に入り検索

お気に入り設定（☞31ページ）で登録したキーワードで検索します。
●検索結果画面が表示されます。（☞ 33ページ）

フリーワード検索

検索したい番組名などのキーワードを入力し検索します。

3 手順 2 で「フリーワード検索」を選び、［決定］を押す
●フリーワード検索画面が表示されます。

4 検索したい番組名などのキーワードを入力する
●▼▲◀▶で検索履歴から選び、［決定］を押すことでも入力できます。
●文字入力について（☞ 36ページ）

＜フリーワード検索画面＞



5 ▼▲◀▶で「検索」を選び、［決定］を押す
●検索結果画面が表示されます。（☞ 33ページ）

ジャンル検索

ジャンル、サブジャンルで検索します。

3 手順 2 で「ジャンル検索」を選び、［決定］を押す
●ジャンル検索画面が表示されます。

＜ジャンル検索画面＞



4 ▼▲◀▶でジャンルを選び、［決定］を押す
●ジャンル
「映画」、「ドラマ」、「スポーツ」、「音楽」、「バラエティ」、「情報/ワイドショー」など
●サブジャンル選択画面が表示されます。
●すべてのサブジャンルに「✓」が表示されます。

5 ▼▲◀▶で表示したくないサブジャンルを選び、［決定］を押す
●選択したサブジャンルの「✓」が消えます。

＜サブジャンル選択画面＞



6 ▼▲◀▶で「検索」を選び、［決定］を押す
●「✓」が表示されていたサブジャンルの検索結果画面が表示されます。（☞ 33ページ）

●操作中、［戻る］で1つ前の画面に戻ります。
●操作中、［ホーム］でホーム画面に戻ります。
●操作中、［番組表］で番組表に戻ります。

人物検索

検索したい人物名を入力し検索します。

3 手順 2 で「人物検索」を選び、［決定］を押す
●人物検索画面が表示されます。

4 検索したい人物名のキーワードを入力する
●▼▲◀▶で検索履歴から選び、［決定］を押すことでも入力できます。
●文字入力について（☞ 36ページ）

＜人物検索画面＞



5 ▼▲◀▶で「検索」を選び、［決定］を押す
●検索結果人物選択画面が表示されます。検索結果人物が1名の場合は検索結果画面（☞ 右記）が表示されます。

6 ▼▲で人物を選び、［決定］を押す
●検索結果画面が表示されます。（☞ 右記）

＜検索結果人物選択画面＞



お知らせ
●検索したキーワードに該当する人物が200名より多い場合は検索することができません。検索する文字列を追加してください。

検索結果

検索結果が表示されます。
検索対象（「放送」「人物」「録画一覧」「ホームネットワーク」「ビデオパス」「インターネット」「動画サイト」など）別に表示されます。
●検索方法などにより表示されない検索対象があります。
●◀▶で検索対象を切り換えられます。

＜検索結果画面＞



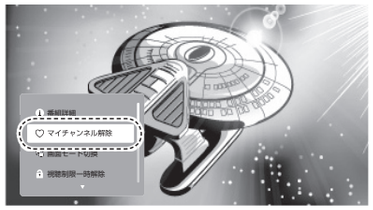


1 ▼▲で検索結果の番組を選び、［決定］を押す
■録画・視聴予約や再生などができます。（☞ 29、57ページ）
以降は、画面に従って操作してください。

マイチャンネル

お気に入りのチャンネルを「マイチャンネル」として登録しておくと、番組表や高速チャンネル選択などでマイチャンネルだけを表示・検索することができます。

視聴中のチャンネルをマイチャンネルに登録／解除する



1 テレビ全画面表示中に［メニュー］を押す
●サブメニューが表示されます。

2 ▲▼で「マイチャンネル登録」または「マイチャンネル解除」を選び、［決定］を押す
● 視聴中のチャンネルがマイチャンネルに登録されます。視聴中のチャンネルが既にマイチャンネルに登録されている場合は、マイチャンネルから解除されます。

マイチャンネルで選局する

マイチャンネル画面から選局を行うと、マイチャンネル選局モードに切り換わります。マイチャンネル選局モードでは、［CH］で選局されるチャンネルはマイチャンネルに登録しているチャンネルのみになります。［CH］以外で選局すると、マイチャンネル選局モードは解除されます。

1 ホーム画面で▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「MY CHANNEL（お気に入り）」を選び、▶を押す
●マイチャンネル画面が表示されます。

3 ▼▲で見たいチャンネルを選び、［決定］を押す
●選択しているチャンネルが全画面表示されます。
●［▶▶］：チャンネルページ送り
［◀◀］：チャンネルページ戻し
［⏮］：チャンネルページを先頭に戻す



＜マイチャンネル画面＞



チャンネルページ　選択しているチャンネルのプレビュー画面



メニュー　番組詳細の表示

メニュー操作

上記 手順 3 で［メニュー］を押す

見る

▼▲で「見る」を選び、［決定］を押す
●選択している番組が全画面表示されます。

番組詳細

▼▲で「番組詳細」を選び、［決定］を押す
●番組内容の詳細が表示されます。
●▼▲で番組詳細の表示をスクロールできます。

マイチャンネル解除

▼▲で「マイチャンネル解除」を選び、［決定］を押す
●解除の場合、確認画面が表示されますので、◀で「はい」を選び、［決定］を押す。

●**操作中、［戻る］で1つ前の画面に戻ります。**
●**操作中、［ホーム］でホーム画面に戻ります。**

マイチャンネルの編集

1 34ページ「マイチャンネルで選局する」手順 3 で「編集」を選び、［決定］を押す
●編集メニューが表示されます。



編集メニュー
● 並び替え
● 追加・解除
● 全件解除

並び替え

マイチャンネルの並びを替えます。

2 ▲▼で「並び替え」を選び、［決定］を押す



3 ▲▼で並び替えるチャンネルを選び、［決定］を押す

4 ▲▼で挿入位置を選び、［決定］を押す

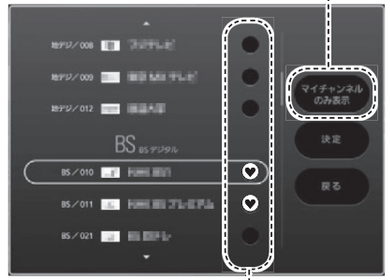
5 ▲▼で「決定」を選び、［決定］を押す

追加・解除

複数のチャンネルをまとめてマイチャンネル登録／解除できます。50件まで設定できます。

2 ▲▼で「追加・解除」を選び、［決定］を押す
●チャンネルリストが表示されます。

「マイチャンネルのみ表示」、「全チャンネル表示」を選び、［決定］を押すと、チャンネルリストが切り換わります。



♥：マイチャンネルに登録されているチャンネル

3 ▲▼でマイチャンネルに登録／解除したいチャンネルを選び、［決定］を押す
●選択したチャンネルには♥が付きます。
●すでに♥が付いているチャンネルを選択すると、♥が消えます。

4 ▼▲◀▶で「決定」を選び、［決定］を押す
●確認画面が表示されますので、◀で「はい」を選び、［決定］を押す。

全件解除

マイチャンネルをすべて解除します。

2 ▲▼で「全件解除」を選び、［決定］を押す

3 ◀▶で「はい」を選び、［決定］を押す

文字を入力する

●文字入力方法※には「50音順キーボード入力方法」、「携帯入力方法」の2種類があります。お好みの文字入力方法を選び入力してください。（ ☞ 下記）

※「本体設定メニュー」の「放送・システム」（☞ 15、115ページ）の設定内での文字入力方法は、切り換えられません。前回、文字入力したときに選んだ入力方法になります。また、キーボード表示が通常とは異なります。
（操作・説明が通常と異なる場所には「★」をつけております。）

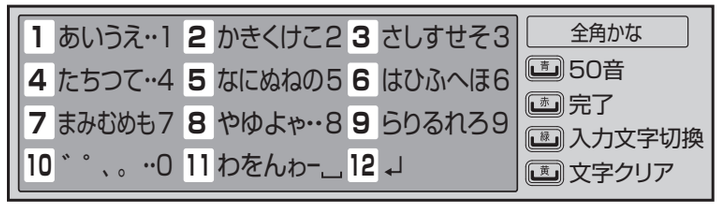
文字の入力方法や変換方式を切り換える

入力方法の切り換え

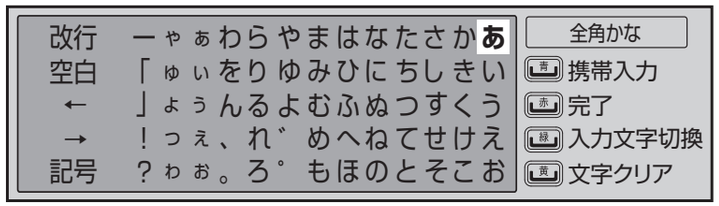
1 文字入力する場面（カーソルが点滅している状態）で［決定］を押す

●「携帯入力方法」または「50音順キーボード入力方法」の画面※が表示されます。
※アプリによっては［決定］を押さなくても、画面が表示される場合があります。

＜携帯入力方法画面＞



＜50音順キーボード入力方法画面＞



2 青を押し、文字の入力方法を選択する

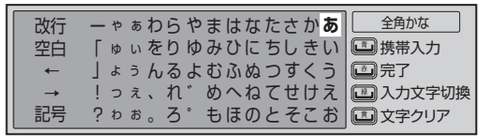
●押すごとに「50音順キーボード入力方法」と「携帯入力方法」が切り換わります。
●入力方法については各入力方法を参照してください。
「50音順キーボード入力方法」（☞ 37ページ）
「携帯入力方法」（☞ 38ページ）

キーボードと入力方法の切り換え

本体設定メニュー（☞ 15、114ページ）の「言語と入力」の「キーボードと入力方法」で切り換えてください。
●本取説の入力方法に戻す場合は、設定を「Japanese IME」に戻してください。

●操作中、［戻る］で1つ前の画面に戻ります。
●操作中、［ホーム］でホーム画面に戻ります。

50 音順キーボード入力方法



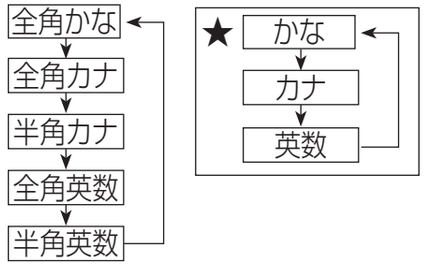
▼▲◀▶で画面上のキーボード★の文字や項目を選び、入力します。
●キーボードを消すときは、赤を押します。

【例：「映画」と入力するとき】

1 36ページ 手順 ❷ で入力方法を「50音順キーボード入力方法」に切り換える

2 緑を押して、入力文字を「全角かな」に切り換える

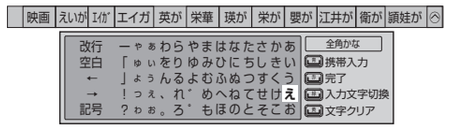
●押すたびにキーボードが切り換わります。
●文字入力する場面により、入力制限が設定されている場合があります。
その場合は、設定に合った入力文字にしか切り換えできません。



3 ▼▲◀▶で、キーボードから文字を選び、［決定］を押す

え→い→か→゛

●文字入力をするたびに、キーボード★上に変換候補が表示されます。



4 青を押し、▼▲◀▶で変換候補から文字を選び、［決定］を押す



「へ」マークを選び、［決定］を押すと、すべての変換候補が表示されます。
（「∨」マークを選び、［決定］を押すと戻ります。）

5 文字入力が終了したら 赤 を押す

●入力を終了します。

■文節を分けて変換するとき

青で変換する前にキーボードの「←」「→」で文節を切り換え、青で変換する

●青で変換中は黄で変換をキャンセルしてから操作を行ってください。

★の場合
青で変換中に◀▶で文節を切り換え、▼▲で変換する

■記号を入力するとき

①キーボードの「記号」を選び、［決定］を押す
②▼▲◀▶で記号を選び、［決定］を押す

★の場合
「きごう」と入力して青を押し、▼▲で記号を選び、［決定］を押す

■全角の英数字を入力するとき★

英数モード（半角）で入力し、青を押して変換し、▼▲で全角の英数字の候補を選び、［決定］を押す

■文字を追加するとき

①キーボードの「←」「→」で文字を追加する位置にカーソルを移動させて、［決定］を押す

★の場合
①キーボードの「入力位置移動」を選び、［決定］を押す
②追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、［決定］を押す

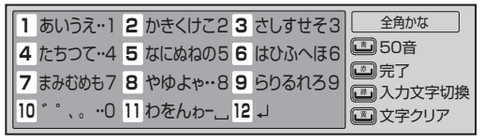
③文字を入力する

■文字を削除するとき

上記「文字を追加するとき」①のあと、削除する文字の右側にカーソルを移動させて、黄を押す

文字を入力する

携帯入力方法（文字入力方法の選択 ☞ 36 ページ）



リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表（☞ 39ページ）

●キーボードを消すときは、[赤]を押します。

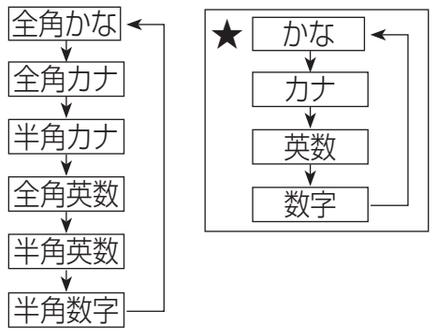
【例：「映画」と入力するとき】

1 36ページ 手順 ❷ で入力方法を「携帯入力方法」に切り換える

2 [緑]を押して、入力文字を「全角かな」に切り換える

●押すたびにキーボードが切り換わります。

●文字入力する場面により、入力制限が設定されている場合があります。
その場合は、設定に合った入力文字にしか切り換えできません。



3 入力する

[1] ▶ [1] [2] [10]

（4回）（2回）（1回）（1回）

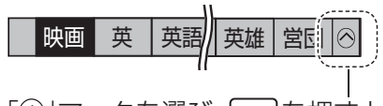
え い か ゛

えいが

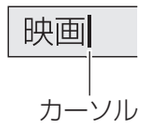
●同じボタンの文字を続けて入力するには、▶でカーソルを右へ移動させます。

●文字入力をするたびに、変換候補が表示されます。

4 [青]を押し、▼▲◀▶で変換候補から文字を選び、[決定]を押す



「⌃」マークを選び、[決定]を押すと、すべての変換候補が表示されます。
（「⌄」マークを選び、[決定]を押すと戻ります。）



5 文字入力が終了したら[赤]を押す

●入力を終了します。

■文節を分けて変換するとき※

◀▶で文節を切り換え、[青]で変換する

■文字を追加するとき※

追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する

■文字を削除するとき※

削除する文字の右側に◀▶でカーソルを移動させて、[黄]を押す

※変換候補を選択中は、◀▶でカーソルを移動できません。

携帯入力方法での文字入力一覧表

入力モード／ボタン	全角かな	全角カナ／半角カナ	全角英数／半角英数	半角数字
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	. @ / : ~ _ 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	ー , ; ' " ? ! ( ) & ¥ 0	0
11	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12	改行※	改行※	改行※	#

●ボタンを押すたびに、表の順（左から右）に文字が変わります。
（例：「い」を入力するときは[1]を2回押す。）

・[赤]で文字変換が確定していないときに、[12]を押すと表の逆の順（右から左）に文字が変わります。

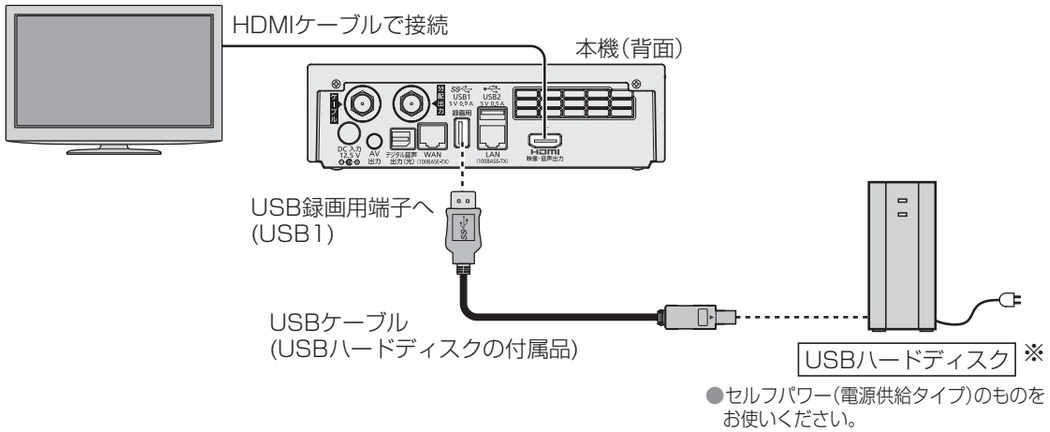
●濁点（゛）や半濁点（゜）を入力するときは、文字に続けて[10]を押す。

USBハードディスクの接続

本機で動作確認済のUSB機器(推奨品)については、「USBハードディスク/ハブ動作確認一覧(推奨品)」(☞ 118ページ)をご参照ください。

本機とUSBハードディスクを直接接続する

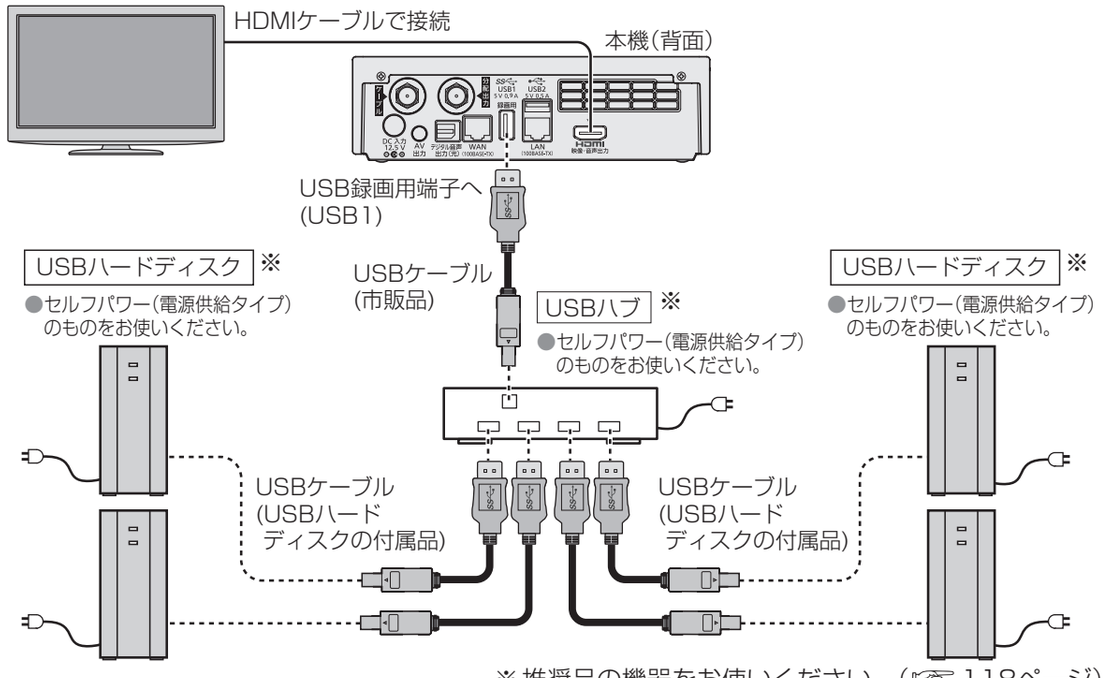
本機とUSBハードディスクをUSBケーブル１本で直接接続して録画・再生する場合の接続方法です。



※ 推奨品の機器をお使いください。(☞ 118ページ)

本機とUSBハードディスクをUSBハブ経由で接続する

本機とUSBハードディスクをUSBケーブルでUSBハブに接続し、録画・再生する場合の接続方法です。
最大4台のUSBハードディスクを接続できます。



※ 推奨品の機器をお使いください。(☞ 118ページ)

録画内容の補償に関する免責事項について

本機の故障、誤動作、接続機器の不具合あるいは受信障害や停電などの原因により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を交換した場合等においても同様です。あらかじめご了承ください。

お知らせ

<USBハードディスクの動作について>

- 録画用として使用できるUSBハードディスクは、容量が500 GBから2.0 TBまでのセルフパワー(電源供給タイプ)で動作する機器のみです。
- USBハードディスクは背面のUSB録画用端子(USB1)に接続してください。背面のUSB2または前面のUSB3端子にUSBハードディスクを接続しても録画することはできません。
- 本機に初めて接続するUSBハードディスクは、機器登録が必要です。(☞ 42ページ)
  最大8台まで登録できます。
- USBハブを使って最大4台のUSBハードディスクを同時に接続することができますが、一度に操作できるUSBハードディスクは1台です。再生・録画するUSBハードディスクを切り換えてご使用ください。(☞ 42、54、92ページ)
- USBハブを複数台経由して接続しているときなどは、USBハードディスクを認識しない場合があります。USBハブは1台のみご使用ください。(☞ 40ページ)
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。他の録画機器(同じ品番のSmart TV Boxを含む)やテレビ、パソコンなどに接続して再生することはできません。他の録画機器でUSBハードディスクに録画した番組は再生できません。

<USBハードディスクのご注意>

- USBハードディスクを本機に接続して録画・再生用として登録すると、本機専用のハードディスクとしてフォーマット(初期化)されます。それまでUSBハードディスク内に保存していたデータはすべて消去されます。(☞ 42ページ)
- 本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。
  本機専用で使用中のUSBハードディスクを、他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存していたデータがすべて削除されます。(☞ 42ページ)
- 登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。(☞ 42、43ページ)
- USB録画用端子には、本機に対応していない機器を接続しないでください。
- USBハードディスクは、USBケーブルが届く範囲で、安定した水平な場所に設置してください。
- USB録画用端子からUSBハードディスクを外すときは、必ずメニュー操作で取り外せる状態にしてから行ってください。(☞ 42ページ)
- USBハードディスクへの録画は、録画モードの設定にかかわらず、すべて一度「標準」の録画モードで録画された後で設定した録画モードに変換されます。「標準」以外の録画モードで番組を録画した場合は、録画モード変換時にUSBハードディスクの空き容量が一時的に必要になります。
- 録画中にUSBハードディスクの空き容量がなくなると、録画を停止します。
  停止する直前までの番組は録画されます。新たに録画する場合は、不要な録画番組を削除し、録画できる時間を確保してから録画してください。
- 起動時にUSBハードディスクを接続している場合や、「デフォルト録画先」(☞ 42、92ページ)でUSBハードディスクを切り換えた場合は、USBハードディスクの認識に時間がかかることがあります。
- 録画した番組の数が多い場合、録画済一覧画面の表示に時間がかかることがあります。
- USBハードディスクが休止中の場合は、録画・再生の立ち上り動作に時間がかかります。
  (録画・再生の立ち上がり動作を早くする→「USBハードディスクの機能待機」を「ON」にする ☞ 93ページ)
- USBハードディスクの動作中は、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。録画できない、録画した内容が消える、USBハードディスクの不具合などが発生します。
  USBハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 接続した機器の組み合わせまたは、機器の操作や性能などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

USBハードディスクの設定

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

機器登録する

本機に初めて接続するUSBハードディスクは、機器登録が必要です。未登録のUSBハードディスクが接続された場合、登録確認画面が表示されます。
※表示に時間がかかる場合があります。

①◀▶で「はい」を選び、[決定]を押すと「USB HDD機器一覧」(☞ 右記の「機器登録を確認する」手順❸)が表示されます。
②「モード」欄が「未登録」になっているUSBハードディスクを選び、[決定]を押すと下記の機器登録が実行されます。

❶ 確認画面の内容を確認し、◀で「はい」を選び、[決定]を押す

この受信機でUSB HDDに録画した番組は
この受信機でのみ再生できます。
他の受信機やパソコンでは再生できません。
また、故障により受信機を修理された場合には、
USB HDDの番組は再生できなくなります。
USB HDDを登録しますか?

▼◀で「はい」を選び、[決定]を押す

USB HDDを登録するには、
フォーマットを行う必要があります。
フォーマットを行うと、USB HDD内の
全てのデータが消去されます。
USB HDDをフォーマットしますか?

▼◀で「はい」を選び、[決定]を押す

フォーマットが始まります

❷ 表示名を変える場合、◀で「はい」を選び、[決定]を押す

表示名を設定することができます。
表示名を変更しますか?

❸ 表示名を入力し、[赤]を押す
●文字を入力する(☞ 36ページ)

❹ 2台目以降登録時は確認画面が表示されます。録画用に使用するときは、◀で「はい」を選び、[決定]を押す

▼

機器登録終了です

お知らせ
●2.0 TBを超える容量のUSBハードディスクなど、正常に再生・ダビングが実行できない可能性がある場合、手順❶の前に確認画面が表示します。登録を継続する場合は、◀で「はい」を選び[決定]を押してください。

操作するリモコンのボタン位置(☞ 10ページ)

❶ 14ページ「本体設定」手順❹で「放送・システム」を選び、[決定]を押す
❷ 「放送・システム」を選び、[決定]を押し、▲▼で「接続機器設定」を選び、[決定]を押す

機器登録を確認する

❸ ▲▼で「USB HDD機器一覧」を選び、[決定]を押す

USB HDD機器一覧

機器	接続	モデル名	表示名	モード	録可能時間
1	接続	USB-SATA Abc	USB HDD 1	デフォルト録画先	45:22
2	接続	USB-SATA Bcg		未登録	

「モード」欄が「未登録」になっているUSBハードディスクを選び、[決定]を押すと機器登録が実行されます。
(☞ 左記の「機器登録する」)
「モード」欄に「デフォルト録画先」があるUSBハードディスクに録画します。
(事前に登録された1台のみ)

お知らせ
●登録できるUSBハードディスクは8台までです。(同時接続は4台まで ☞ 40ページ)
新たに登録する時に、すでに8台登録されている場合は、いずれかの登録を削除してください。

録画用のUSBハードディスクを変更する

録画用のUSBハードディスクを変更できます。

❹ ▲▼で録画用にしたいUSBハードディスクを選び、[緑]を押す
●「モード」欄に「デフォルト録画先」が表示されていることを確認してください。

取り外す

本機からUSBハードディスクを取り外すときに行います。

❹ ▲▼で取り外すUSBハードディスクを選び、[青]を押す

この機器は安全に
取り外しできます。

●上記の画面が表示されてから取り外してください。

詳細情報を表示する

USB ハードディスクの詳細情報が表示されます。

❸ ▲▼で「USB HDD機器一覧」を選び、[決定]を押す

❹ ▲▼で詳細情報を表示させるUSBハードディスクを選び、[赤]を押す

USB HDD機器詳細情報
メーカー名:○○○○○○○
モデル名:○○○○○○○
表示名:○○○○○○○○○
容量:○○○ GB

機器登録を削除する

USBハードディスクの機器登録を削除します。

登録削除したUSBハードディスクにこれまで録画した番組は再生ができなくなります。

❸ ▲▼で「USB HDD機器一覧」を選び、[決定]を押す

❹ ▲▼で機器登録削除するUSBハードディスクを選び、[黄]を押す

❺ 確認画面の内容を確認し、◀で「はい」を選び、[決定]を押す

登録削除を行うと、
USB HDDの番組は
再生できなくなります。
登録を削除しますか?
はい　いいえ

▼◀で「はい」を選び、[決定]を押す

削除したUSB HDDを再度登録するには、
フォーマットを行う必要があります。
フォーマットを行うと、USB HDD内の
全てのデータが消去されます。
登録を削除しますか?
はい　いいえ

▼◀で「はい」を選び、[決定]を押す

機器登録削除完了です。

表示名を変える

USB ハードディスクの表示名を変えます。

❸ ▲▼で「USB HDD機器一覧」を選び、[決定]を押す

❹ ▲▼で表示名を変えるUSBハードディスクを選び、[メニュー]を押す

❺ 「表示名変更」を選び、[決定]を押す
●文字を入力する(☞ 36ページ)

USB HDD表示名変更
HDDの表示名を入力し、決定キーを押してください。
半角24文字まで入力できます。
USB HDD 1
予測変換

| | | |

USBハードディスクに即時録画する

●録画用のUSBハードディスクを変更する。(☞42ページ)

見ている番組を録画する

見ている番組(テレビ全画面表示中)を即時録画できます。

●録画を押す

→録画がスタートし、本体前面の録画ランプ(REC)が赤色点灯します。
●**即時録画の録画モードは「標準」になります。**
●「デフォルト録画先」(☞92ページ)で設定したUSBハードディスクに録画されます。
●録画ボタン設定(☞73ページ)で録画時間の設定ができます。

2番組を同時に録画する

今放送中の2つの番組を同時に録画できます。

1 録画したい番組を選ぶ

2 ●録画を押す
→録画がスタートし、本体前面の録画ランプ(REC)が赤色点灯します。

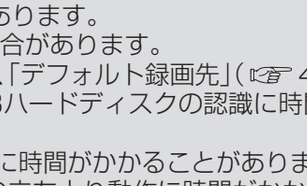
3 手順1、2を繰り返して、2つ目の番組を選ぶ

録画を停止する

■テレビ全画面表示中のとき

1 ■を押す

2 ◀で「はい」を選び、決定を押す



複数の番組を録画している場合

1 ■を押す

2 ▼▲で録画を停止したい番組を選び、決定を押す

3 ◀で「はい」を選び、決定を押す

お知らせ

●USBハードディスクに録画しながら、すでに録画した番組や録画中の番組を再生することができます。(☞54ページ)
●即時録画、録画の停止や再生の操作は、テレビ全画面表示中に行ってください。
●録画中に再生している場合は、再生を停止してから録画を停止してください。
●実行中の録画を停止する場合、次の操作を行ってください。
・電源「入」で視聴中のとき:「停止」ボタンを押す→画面表示に従って操作する
・電源「切」状態のとき:「電源」ボタンを押しテレビ全画面表示にする→「停止」ボタンを押す→画面表示に従って操作する
●録画中は電源「切」にしても録画は継続します。
●即時録画は予約一覧に表示されません。
●再生中など動作状態により即時録画できない場合があります。
●ペイ・パー・ビュー(PPV)の番組で、録画できない場合があります。
●起動時にUSBハードディスクを接続している場合や、「デフォルト録画先」(☞ 42、92ページ)でUSBハードディスクを切り換えた場合は、USBハードディスクの認識に時間がかかることがあります。
●録画した番組の数が多い場合、録画済一覧画面の表示に時間がかかることがあります。
●USBハードディスクが休止中の場合は、録画・再生の立ち上り動作に時間がかかります。
(録画・再生の立ち上がり動作を早くする→「USBハードディスクの機能待機」☞ 93ページ)
●USBハードディスク1台に、最大2000の番組が録画できます。
●LAN録画で即時録画はできません。
●録画を停止した場合、停止した時点までの番組は保存されます。
●録画中の同時動作と優先動作については119ページをご覧ください。

録画予約する(USBハードディスク録画/LAN録画)

録画予約の前に

録画予約時のご注意

●視聴可能年齢を設定しているときは、暗証番号を入力しないと録画されません。(☞ 74ページ)
●ペイ·パー·ビュー(PPV)の番組を録画するときは、表示画面に従って操作してください。
●ペイ·パー·ビュー(PPV)の番組を予約し、録画に失敗しても購入代金は徴収されます。
●USBハードディスクに録画できる残り時間を確認してください。録画できる残り時間が十分でない場合は録画済一覧画面で不要な番組を消去してください。(☞ 58ページ)
●LAN録画は、本機と外部録画機器をネットワーク接続して、両方で設定が必要です。
(接続は「ネットワーク機器(録画対応機器など)との接続」☞ 80ページ)
(本機の設定は「ネットワーク関連設定」☞ 94~106ページ)
外部録画機器側の設定操作については、外部録画機器の取扱説明書を参照ください。
●LAN録画は、同時に複数の番組を録画できません。
●放送時間が連続している2つの番組をLAN録画で予約した場合、次の予約番組の録画準備のため、前の録画番組の最後が数十秒切れます。
●外部録画機器の仕様によりLAN録画できない場合があります。
LAN録画に対応しているかどうか確認してください。(☞ 102ページ)
●USBハードディスクへの録画は、録画モードの設定にかかわらず、すべて一度「標準」の録画モードで録画された後で設定した録画モードに変換されます。「標準」以外の録画モードで番組を録画する場合は、「標準」で録画する場合よりも一時的に大きな録画時間の空きが必要になりますので、ご注意ください。

番組表から録画予約する

番組表を表示する

■テレビ全画面表示中のとき
番組表を押す

■ホーム画面から

1 ▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「EPG(番組表)」を選び、決定を押す

番組表で簡単予約する

3 ▼▲◀▶で番組表から、録画したい番組を選び、赤を押す
→録画予約が完了です。
●簡単予約した番組は、USBハードディスクに録画されます。
●放送中の番組は即時録画されます。
●ペイ・パー・ビュー(PPV)の番組は予約できません。

番組表で録画予約する

3 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定を押す

4 ◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す
●予約詳細設定画面が表示されます。

5 ▼▲で「予約方式」を選び、◀▶で「録画」を設定する
●「録画」を選択した場合は、「録画機器」でUSBハードディスクまたはLAN録画の録画機器を選択してください。
(☞ 47ページ)
●他の詳細設定としては、「探して毎回予約」(☞ 50ページ)、「録画機器」、「録画モード」、「その他」、「日時指定予約」(☞ 46、47ページ)が設定できます。

6 ▼▲で「決定」を選び、決定を押す

お知らせ

●録画予約の確認・修正・消去(☞ 52、53ページ)

録画予約する(USBハードディスク録画／LAN録画)

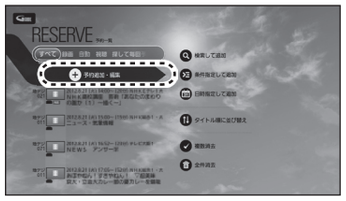
● 操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

日時を指定して録画予約する(日時指定予約)

1 ホーム画面で▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

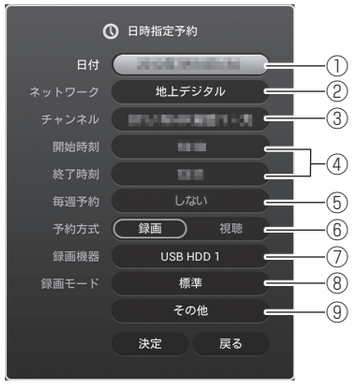
2 ▲▼で「RESERVE(予約一覧)」を選び、▶を押す

3 ▲▼で「予約追加・編集」を選び、▶を押す



4 ▲▼で「日時指定して追加」を選び、▶または決定を押す

5 ▼▲で項目を選び、決定を押す
●各設定画面が表示されます。
画面に従って設定してください。



①日付を選ぶ
②ネットワークを選ぶ
(地上デジタル、BS、CATV、JC-HITS※)
※ご加入のケーブルテレビ局でサービスがある場合に表示されます。
③チャンネルを選ぶ(3桁入力可)
④開始・終了時刻を選ぶ
⑤毎週予約を選ぶ
●毎日・毎週などの連続予約

毎週(月曜～金曜)↔毎週(月曜～土曜)↔毎日↔しない↔曜日指定
↕
毎週(日曜)↔毎週(土曜)↔毎週(金曜)…毎週(月曜)

または曜日指定(月)(火)(水)(木)(金)(土)(日)

⑥予約方式を選ぶ(◀▶で選ぶ)
「録画」:録画予約
「視聴」:視聴予約
(開始時間になると、チャンネルが切り換わります。)
⑦録画機器を選ぶ(☞ 47ページ)
⑧録画モードを選ぶ
・標準
・長時間1
・長時間2
⑨その他の設定をする
(☞ 47ページ)

6 ▼▲で「決定」を選び、決定を押す
●予約一覧で予約の確認をしてください。(☞ 31、52ページ)
●確認画面(またはエラー画面)が出た場合には、同一時刻の予約が重複しています。表示内容を確認し、不要な予約を消去してください。(☞ 53ページ)
●視聴年齢制限を設定されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されますので暗証番号を入力してください。(☞ 74ページ)
暗証番号を入力しないと録画が失敗する場合があります。

お知らせ
●録画予約の確認・修正・消去
(☞ 52、53ページ)
●視聴予約は、本機の電源を「切」にしている場合、無効になります。本機やテレビが自動で電源「入」にはなりません。
●USBハードディスクへの録画は、録画モードの設定にかかわらず、すべて一度「標準」の録画モードで録画された後で設定した録画モードに変換されます。「標準」以外の録画モードで番組を録画する場合は、「標準」で録画する場合よりも大きな録画時間の空きが必要になりますので、ご注意ください。
●「日時指定予約」の毎週予約で録画した番組は、番組ごとのグループフォルダに保存され、グループ表示されます。
(☞ 56ページ)

録画予約の詳細設定

録画機器を選ぶ

1 46ページ「日時を指定して録画予約する」手順 5 で「録画機器」を選び、決定を押す

2 ▼▲で録画機器を選び、決定を押す



●設定できないとき
(USBハードディスク)
・USBハードディスクと本機が正常に接続されているかご確認ください。(☞ 40ページ)
・USBハードディスクが事前に機器登録・録画先として設定されているかご確認ください。(☞ 42ページ)
・USBハードディスクの電源が入っているかご確認ください。
(LAN録画)
・対応録画機器と本機が正常にネットワーク接続されているかご確認ください。(☞ 80ページ)
・本機と対応録画機器が正しくネットワーク設定がされているかご確認ください。(☞ 94～106ページ)
・対応録画機器の電源が入っているかご確認ください。
・対応録画機器の仕様によりLAN録画できない場合があります。
LAN録画に対応しているかどうか確認してください。(☞ 102ページ)

3 LAN録画の録画機器を選択した場合 ▼▲で録画先を選び、決定を押す

4 ▼▲で録画機器を選び、決定を押す

お知らせ
●設定した内容は、次回以降の録画機器の設定に引き継がれます。
●録画機器の電源が「切」になっている場合、録画予約が実行されないことがあります。

その他の設定を行うとき

録画予約する番組を保護設定にすることができます。

1 46ページ「日時を指定して録画予約する」手順 5 で「その他」を選び、決定を押す

2 ▼▲で「保護」を選び、決定を押し「する」または「しない」を選ぶ

●「する」に設定すると録画した番組は、保護設定されます。
●「番組表から録画予約する」(☞ 45ページ)の「予約詳細」からでも設定できます。この場合は操作が異なります。
・▼▲で「保護」を選び、◀▶で「する」または「しない」を選ぶ

3 ▼▲で「決定」を選び、決定を押す

お知らせ
●保護を「する」に設定された番組はダビング登録できません。

録画予約する(USBハードディスク録画／LAN録画)

● 操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

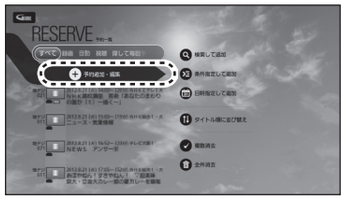
検索して録画予約する

番組を検索して録画予約します。

1 ホーム画面で▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「RESERVE(予約一覧)」を選び、▶を押す

3 ▲▼で「予約追加・編集」を選び、▶を押す



4 ▲▼で「検索して追加」を選び、▶を押す
●フリーワード検索画面が表示されます。

5 検索したい番組名などのキーワードを入力する
●文字入力について(☞ 36ページ)



6 ▼▲◀▶で「検索」を選び、決定を押す
●録画予約追加検索画面が表示されます。



7 ▼▲で録画したい番組を選び、決定を押す

8 ▼▲◀▶で「予約詳細設定」を選び、決定を押す

9 ▼▲で「予約方式」を選び、◀▶で「録画」または「視聴」を設定する
●「録画」:録画予約
「視聴」:視聴予約
(開始時間になると、チャンネルが切り換わります。)
●他の詳細設定としては、「探して毎回予約」(☞ 50ページ)、「録画機器」、「録画モード」、「その他」、「日時指定予約」(☞ 46、47ページ)が設定できます。
●「録画」を選択した場合は、「録画機器」でUSBハードディスクまたはLAN録画の録画機器を選択してください。(☞ 47ページ)

10 ▼▲で「決定」を選び、決定を押す

お知らせ
●視聴予約は、本機の電源を「切」にしている場合、無効になります。本機やテレビが自動で電源「入」にはなりません

並び替え(タイトル／日付)

予約一覧の表示を並び替えます。

1 左記手順 4 で「タイトル順に並び替え」または「日付順に並び替え」を選び、決定を押す

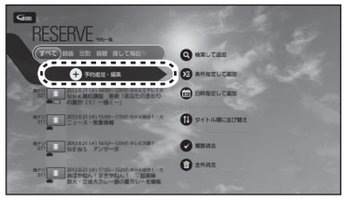
条件指定して録画予約する(自動予約)

「キーワード」、「ジャンル」などの条件指定を設定し、検索された番組を自動予約する機能です。

1 ホーム画面で▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「RESERVE(予約一覧)」を選び、▶を押す

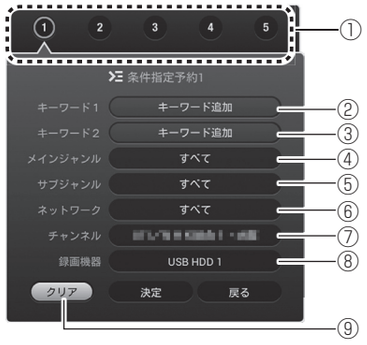
3 ▲▼で「予約追加・編集」を選び、▶を押す



4 ▲▼で「条件指定して追加」を選び、▶を押す



5 ▼▲で項目を選び、決定を押す
●各設定画面が表示されます。
画面に従って設定してください。



①条件タブを選ぶ(◀▶で選ぶ)
5つの条件をそれぞれ設定できます。
②キーワード1を入力する
③キーワード2を入力する
④メインジャンルを選ぶ(◀▶で選ぶ)
⑤サブジャンルを選ぶ(◀▶で選ぶ)

⑥ネットワークを選ぶ
⑦チャンネルを選ぶ
⑧録画機器を選ぶ
※USBハードディスクのみになります。(☞ 47ページ)
⑨入力中のタブの設定をクリアする

6 ▲▼◀▶で「決定」を選び、決定を押す
●条件に合った番組はすべて録画予約されます。予約一覧で確認してください。(☞ 31、52ページ)
●条件の内容により検索に時間がかかる場合があります。
●既に予約している番組と重複する番組でも、予約されます。
・録画予約を確認する(☞ 52ページ)
・予約重複を確認する(☞ 30ページ)

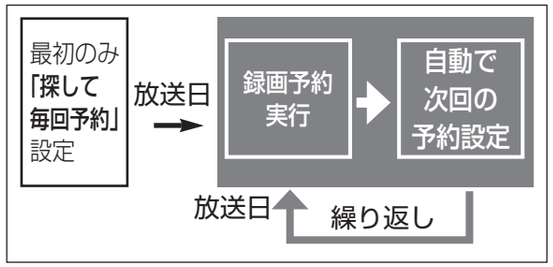
お知らせ
●文字の入力方法(☞ 36ページ)

録画予約する(USBハードディスク録画／LAN録画)

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

「探して毎回予約」機能で録画予約をする

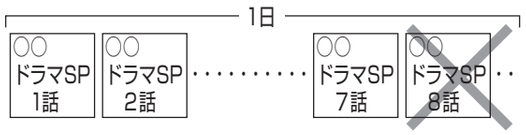
探して毎回予約は
番組名から次回以降の放送を自動で検索し、録画します。
(初回に設定した「探して毎回予約」番組を基準として、同一チャンネル・時間帯・番組名から次回の放送を自動検索)



「探して毎回予約」時のご注意

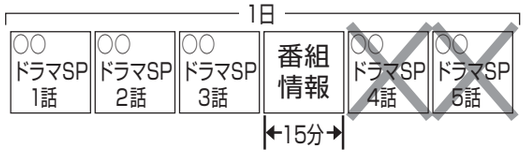
- 「探して毎回予約」は最大で32件まで設定できます。
- 番組単位で購入できるペイ・パー・ビュー(PPV)の予約はできません。
- 番組名が極端に短い場合は設定できない場合があります。
- 番組名が前回と大きく異なる場合や似ている場合など、次回の放送が録画されなかったり内容の違う番組が録画される場合があります。
- 1つの「探して毎回予約」からは同じ番組が1日に連続して複数回放送される場合、1日に7回まで予約設定されます。

(例) 「○○ドラマSP」を探して毎回予約



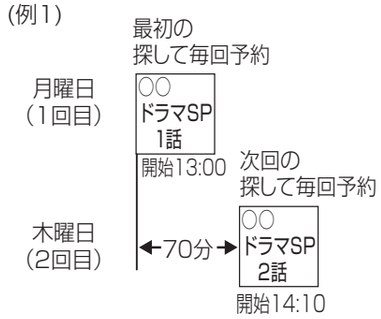
- 番組の間隔が10分以上離れている場合は、連続番組として予約設定されません。

(例) 「○○ドラマSP」を探して毎回予約

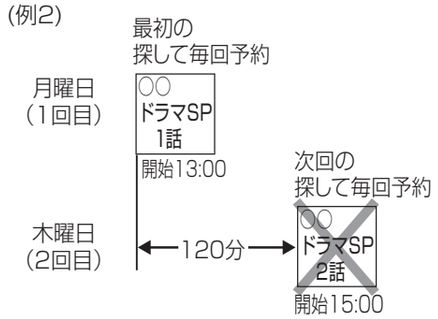


- 次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。
- 次回の放送開始時間が最初の「探して毎回予約」から90分以上前後にずれている場合は、予約設定されないことがあります。

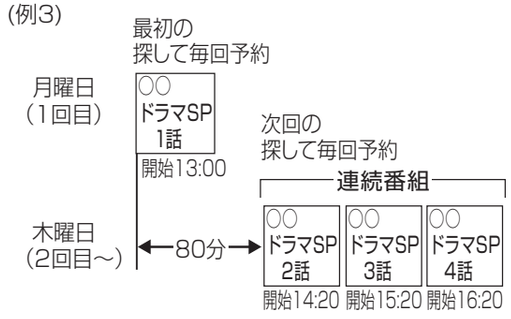
(例1)



(例2)



(例3)



- 録画予約が重複している場合、探して毎回予約が実行されない場合があります。
予約重複を確認していただき、録画が実行できるよう不要な録画予約を消去してください。
(予約重複を確認する ☞ 30ページ)
(録画予約の確認・修正・消去 ☞ 52ページ)

「探して毎回予約」を曜日ごとに設定する

1 45ページ「番組表から録画予約する」手順 5 で「探して毎回予約」を選び、[決定]を押す



2 ◀▶で曜日を選び、[決定]を押す

しない ↔ 毎週(※) ↔ 毎週(月)～(金)
毎日 ↔ 毎週(月)～(土)

※ 設定曜日

- ▼▲◀▶で曜日ごとの設定もできます。



3 ▼▲◀▶で各項目を設定してから「決定」を選び、[決定]を押す
→「探して毎回予約」が完了です。

- 録画予約が重複している場合、探して毎回予約が実行されない場合があります。
予約重複を確認していただき、録画が実行できるよう不要な録画予約を消去してください。
(予約重複を確認する ☞ 30ページ)
(録画予約の確認・修正・消去 ☞ 52ページ)
- 「探して毎回予約」の対象となる番組がない場合は、予約されません。

お知らせ

- 「探して毎回予約」で録画した番組は、番組ごとのグループフォルダに保存され、グループ表示されます。(☞ 56ページ)

録画予約する(USBハードディスク録画／LAN録画)

録画予約が重複している場合、録画が実行されない場合があります。
予約を確認し、録画が実行できるよう録画予約を修正・消去してください。

録画予約の確認・修正・消去

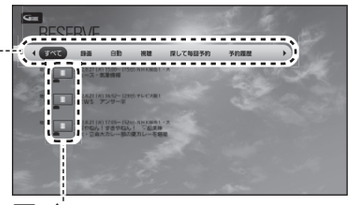
録画予約を確認する

1 ホーム画面で▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「RESERVE(予約一覧)」を選び、▶を押す

3 ▲▼でフィルタリストを選び、◀▶で表示したい予約の種類を選ぶ

フィルタリスト
●選択した予約の内容別に予約が表示されます。
すべて／録画(録画予約)／自動(自動予約)／視聴(視聴予約)／探して毎回予約／予約履歴



アイコン
(☞ 116ページ)

4 ▲▼で確認したい予約を選び、▶を押す

5 ▲▼で確認したい項目を選び、▶を押す



番組詳細：
番組情報が表示されます。
予約詳細：
予約の内容が表示されます。
予約の修正ができます。(☞ 右記)
※「探して毎回予約」は修正できません。
※録画予約を失敗した場合の理由が確認できます。
予約消去：
予約が消去されます。(☞ 53ページ)

録画予約を修正する

1 左記「録画予約を確認する」手順 5 で「予約詳細」を選び、決定を押す

●各設定画面が表示されます。
設定は、46ページ「日時を指定して録画予約する」手順 5 をご参照ください。



2 ▼▲◀▶で「決定」を選び、決定を押す

お知らせ
●録画予約は最大で64件まで設定できます。
条件指定予約(自動予約)は含みません。

●操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
●操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

予約一覧から予約を消去する

選択している予約を消去します。

1 52ページ「録画予約を確認する」手順 5 で「予約消去」を選び、決定を押す
●「予約を消去しますか？」が表示されます。

2 ◀で「はい」を選び、決定を押す

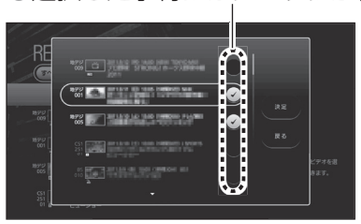
複数消去

録画予約を選択して消去します。

1 52ページ「録画予約を確認する」手順 3 で「予約追加・編集」を選び、▶を押す

2 ▲▼で「複数消去」を選び、決定を押す

3 ▲▼で消去したい予約を選び、決定を押す
●選択した予約にはチェックが付きます。



4 ▲▼◀▶で「決定」を選び、決定を押す

5 ◀で「はい」を選び、決定を押す

全件消去

録画予約をすべて消去します。

1 52ページ「録画予約を確認する」手順 3 で「予約追加・編集」を選び、▶を押す

2 ▲▼で「全件消去」を選び、決定を押す

3 ◀で「はい」を選び、決定を押す

番組表から予約を消去する

1 28ページ 手順 1 ～ 2 で番組表を表示中に、▼▲◀▶で消去したい予約を選び、赤を押す

2 ◀で「はい」を選び、決定を押す

お知らせ
●録画実行中の録画予約を消去した場合、録画を停止します。停止した時点までの番組は保存されます。

USBハードディスクの番組を再生・操作する

USBハードディスクに録画(保存)した番組は、録画済一覧画面から選んで再生ができます。
録画済一覧画面では録画した番組の再生(録画中の番組も可能)、消去などを行うことができます。

視聴中など

1 録画一覧 を押す
- ●下記の手順4へ

ホーム画面から

1 ▶を押す
- ●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「RECORD/DLNA(録画済一覧・ホームネットワーク)」を選び、▶を押す
- ●接続されているUSBハードディスクの一覧が表示されます。

3 ▲▼で再生するUSBハードディスクを選び、▶を押す
- ●選択したUSBハードディスクの録画済一覧画面が表示されます。
- ●接続されているUSBハードディスクが1台だけの場合は、この操作は必要ありません。

4 ▼▲で見たい録画番組を選び、決定 を押す
- ●未視聴番組は、最初から再生します。
- ●一度再生された録画番組は、続きから再生できます。(☞ 下記)
- ●!のついた録画番組は、正常に再生できない場合があります。

＜テレビ・録画番組サービス画面＞



USBハードディスク　録画番組 ■:グループフォルダ (☞ 56ページ)

＜録画済一覧画面＞



選択している録画番組のプレビュー画面
※グループフォルダを選択している場合は表示しません。

■一度再生した録画番組を最初から見るとき
- ●録画番組を選ぶと途中から再生するかどうかの確認画面が表示されるので、◀▶で「いいえ」を選び、決定 を押す。

■一度再生した録画番組を続きから見るとき
- ●録画番組を選ぶと途中から再生するかどうかの確認画面が表示されるので、◀▶で「はい」を選び、決定 を押す。

お知らせ
- ●USBハードディスクに録画中の番組も再生することができます。
- ●登録済みのUSBハードディスクが接続されていない場合、録画済一覧画面は表示されません。
- ●テレビ・録画番組サービス画面のUSBハードディスクに録画モード「標準」で録画できる時間の目安が表示されます。

- ●操作中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- ●操作中、ホーム でホーム画面に戻ります。

録画済一覧画面の操作

ページ送り・戻し・先頭に戻る

録画番組の表示ページを操作できます。

■ページ送り
▶▶ を押す

■ページ戻し
◀◀ を押す

■ページを先頭に戻す
⏮ を押す



録画番組ページ　キー操作説明 ※現在使用できるキー操作が表示されます。

録画番組の消去

1 黄 を押す

3 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

グループ表示切替(☞ 56ページ)

グループ表示を有効、無効を切り換えます。

メニューを表示(☞ 58ページ)

「再生開始位置(最初から)(続きから)」「詳細情報」「録画モード変換・中止」「録画番組の保護・保護解除」「ダビング」「消去」「タイトル編集」

ジャンル表示を切り替える

▲▼でジャンルリストを選び、◀▶で表示したい番組のジャンルを選ぶ
- ●選択したジャンルの録画番組のみが表示されます。



お知らせ
- ●グループ表示(☞ 56ページ)している時はジャンルリストは表示されません。

3D映像の録画番組を再生する

25ページ「3D映像の番組を見る」手順 4 の操作を行ってください。

USBハードディスクの番組を再生・操作する

● **操作中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **操作中、**ホーム でホーム画面に戻ります。

グループ表示(グループフォルダ)

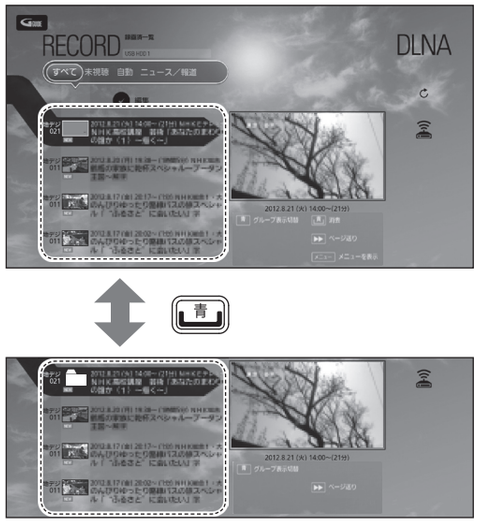
「探して毎回予約」(☞ 46ページ)または「日時指定予約」の毎週予約(☞ 50ページ)で録画した番組は、番組ごとのグループフォルダに保存され、グループ表示されます。

グループ表示を切り換える

グループ表示を有効、無効を切り換えます。

青 を押す

● 押すごとにグループ表示が「有効」「無効」に切り換わります。



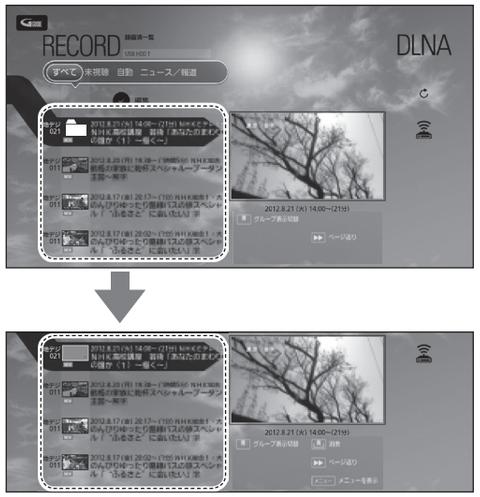
グループフォルダ内の番組を再生する

1 54ページ 手順 4 でグループフォルダ(■)を選び、決定 を押す

● グループフォルダ内の録画番組が一覧表示されます。

2 ▼▲で見たい録画番組を選び、決定 を押す

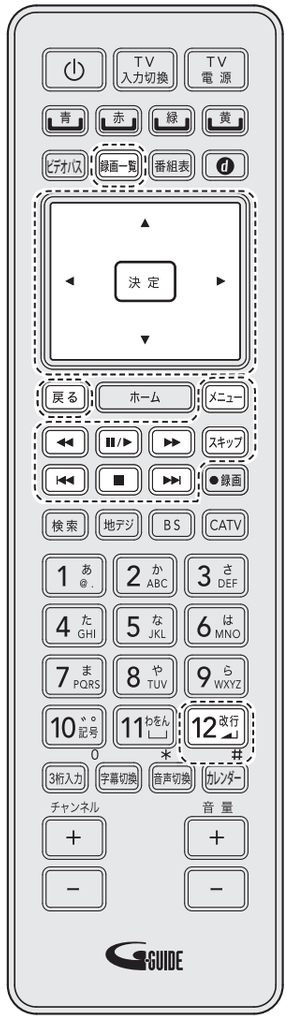
● 再生が開始します。



お知らせ

● グループフォルダの番組名は、フォルダ内の一番古い番組名が表示されます。
一番古い番組が視聴年齢制限を超える番組の場合は「・・・」と表示されます。
● 録画番組の消去などでグループフォルダ内の番組が1番組になった場合、そのグループフォルダは解除されます。

再生中のリモコン操作



操作内容	操作ボタン
一時停止	⏸/▶ または 決定 ● 録画番組の再生を一時停止します。 ● 一時停止中に ⏸/▶ を押すと再生を再開します。
停止	■ または 戻る ● 録画番組の再生を停止します。 ・再生開始した画面(テレビ全画面表示、録画済一覧画面)に戻ります。
早送り 早戻し	(再生中に) ◀◀ ▶▶ または◀ ▶ ● 押すたびに、再生速度が速くなります。 【早送り6段階】【早戻し5段階】 ・早送り1段階目は音声付きの早送り再生になります。 ● ⏸/▶ を押すと通常再生に戻ります。
スキップ再生	(再生中または一時停止中に) ⏮ ⏭ ● チャプターがある場合、押した回数だけ録画番組や場面を飛び越して再生します。
タイムワープ	(再生中に) 12改行 タイムワープ +1分 録画番組の時間内で設定できます。 ● ◀ ▶で再生開始位置(タイムワープ)を設定し、決定 を押してください。設定した位置から再生を開始します。 ● ◀ ▶の長押しで15分単位で切り換わります。 ● タイムワープを終了するには 戻る を押します。
30秒先へ スキップ再生	スキップ ● 1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
15秒逆へ スキップ再生	スキップ (長押し・約3秒) ● 約15秒戻って再生します。
サブメニュー	メニュー ● サブメニューが表示します。 ▲▼で項目を選び、決定 を押す。 「停止」(☞ 上記)、「番組詳細」(☞ 26、29ページ)、「消去」(☞ 58ページ)、「画面モード切換」(☞ 27ページ)、「視聴制限一時解除」(☞ 27ページ)、「信号切換」(☞ 26ページ)

USBハードディスクの番組を再生・操作する

● 操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

メニュー操作

1 54ページ 手順 4 で決定の代りにメニューを押す

● メニューが表示されます。



メニュー　情報表示欄

再生の開始位置（最初から／続きから）

2 ▲▼で「再生（最初から）」または「再生（続きから）」を選び、決定を押す

● 再生が開始されます。

録画番組の詳細情報を表示する

2 ▲▼で「詳細情報」を選び、決定を押す

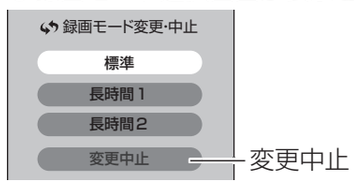
● 情報表示欄に録画番組の詳細情報が表示されます。
● ▲▼で詳細情報をスクロールできます。

録画モードを変更する

録画した番組の録画モードを後から変更します。
※「標準」から「長時間1」または「長時間2」にのみ変更できます。

2 ▲▼で「モード変更・中止」を選び、決定を押す

● 録画モード選択画面が表示されます。



変更中止

3 ▲▼で録画モードを選び、決定を押す

録画番組を保護/保護解除する

2 ▲▼で「保護」または「保護解除」を選び、決定を押す

● 保護を設定すると、録画番組の消去が禁止になり、「🔒」アイコンが表示されます。
● 保護解除を設定すると、確認画面が表示されます。◀で「はい」を選んで決定を押すと、保護が解除されます。

録画番組をダビングする

録画番組を録画機器へダビングします。
ダビング機能を使用するためには、本機にUSBハードディスクと録画機器を接続し、設定が必要です。操作について詳しくは68～71ページをご参照ください。

録画した番組を消去する

2 ▲▼で「消去」を選び、決定を押す

3 ◀で「はい」を選び、決定を押す

タイトルを編集する

2 ▲▼で「タイトル編集」を選び、決定を押す

3 新しいタイトルを入力して赤（終了）を押し、「OK」を選んで決定を押す

● 文字を入力する（☞ 36ページ）

お知らせ

● USBハードディスクへの録画は、録画モードの設定にかかわらず、すべて一度「標準」の録画モードで録画された後で設定した録画モードに変換されます。「標準」以外の録画モードで番組を録画した場合は、録画モード変換時にUSBハードディスクの空き容量が一時的に必要になります。
● 録画番組の消去などでグループフォルダ内の番組が1番組になった場合、そのグループフォルダは解除されます。

編集メニュー操作

1 54ページ 手順 4 で「編集」を選び、決定を押す

● 編集メニューが表示されます。



編集メニュー
・日付順に並び替え／タイトル順に並び替え
・複数録画モード変更・中止
・複数消去
・全件消去

日付順に並び替え

2 ▲▼で「日付順に並び替え」を選び、決定を押す

● 録画番組が日付順に並び替わり、メニューが「タイトル順に並び替え」に変わります。

タイトル順に並び替え

2 ▲▼で「タイトル順に並び替え」を選び、決定を押す

● 録画番組がタイトル順に並び替わり、メニューが「日付順に並び替え」に変わります。

複数選択した番組の録画モードを変更する

録画した番組の録画モードを後から変更します。
複数の番組を選択できます。

2 ▲▼で「複数録画モード変更・中止」を選び、決定を押す

3 ▲▼で録画モードを変更したい録画番組を選び、決定を押す

● 録画番組にチェックマークがつきます。
● 変更したい録画番組をすべて選ぶまで繰り返します。
● チェックマークは、同じ録画番組を再び選んで決定を押すと消えます。

4 ▼▲◀▶で「決定」を選び、決定を押す

5 ▲▼で録画モードを選び、決定を押す

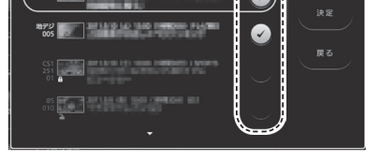
6 ◀で「はい」を選び、決定を押す

複数選択した録画番組を消去する

複数の録画番組をまとめて消去できます。

2 ▲▼で「複数消去」を選び、決定を押す

● 複数選択消去画面が表示されます。



3 ▲▼で消去したい録画番組を選び、決定を押す

● 選択した録画番組には「✓」が表示されます。

4 ▼▲◀▶で「決定」を選び、決定を押す

5 ◀で「はい」を選び、決定を押す

録画番組をすべて消去する

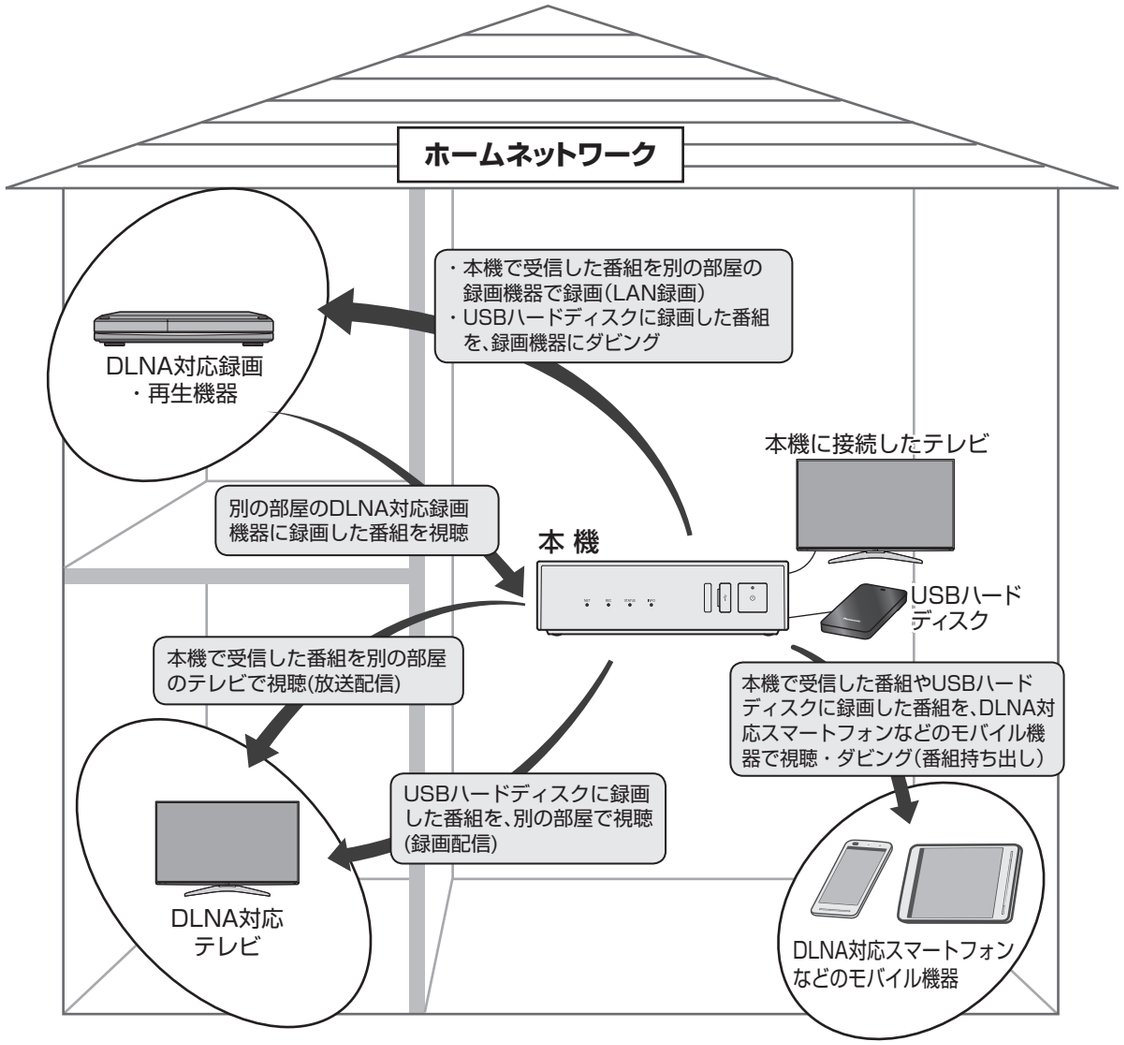
録画番組をすべて消去します。

2 ▲▼で「全件消去」を選び、決定を押す

3 ◀で「はい」を選び、決定を押す

ネットワーク機器を使う

ご家庭内のホームネットワーク(LAN)に本機を接続することにより、同じホームネットワークに接続しているネットワーク機器(DLNA対応機器)に対して下記のような操作ができます。



●DMC(デジタルメディアコントローラー)、DMR(デジタルメディアレンダラー)、DMP(デジタルメディアプレイヤー)、DMS(デジタルメディアサーバー)は、DLNAで決められた機能の一つです。
- DMC：DMSに保存されている録画番組や動画(ビデオ)を検索し、DMRへ配信させます。
- DMR：DMCからの操作で、DMSから配信された録画番組や動画(ビデオ)を再生します。
- DMP：DMSに保存されている録画番組や動画(ビデオ)を検索し、再生します。
- DMS：録画番組、動画(ビデオ)や受信した番組をDMRやDMPに配信します。
  本機ではDMS機能を「サーバー(DMS)機能」と表示します。

本機で利用できるネットワーク機器や機能

●DLNA対応テレビやDLNA対応録画・再生機器
- DLNA対応の録画機器への配信と再生
  本機をご家庭のLAN回線に接続し、同じホームネットワークにDLNAに対応した録画機器を接続し、本機とDLNA対応録画機器の両方で設定する必要があります。
  (LAN録画)(☞45～53、80ページ)
  本機で予約した番組をDLNA対応録画機器にLAN録画できます。
  (ダビング)(☞68ページ)
  USBハードディスクに録画した番組をDLNA対応録画機器にダビングすることができます。
  (DMP機能)(☞66ページ)
  DLNA対応録画機器に保存されている録画番組や動画(ビデオ)を本機で再生することができます。また、それらを消去することができます。
- DLNA対応のテレビや対応録画・再生機器への配信(DMS機能)(☞62ページ)
  DLNA対応テレビや対応録画・再生機器を本機と同じホームネットワークに接続すると、本機で受信した番組やUSBハードディスクに録画した番組を、DLNA対応テレビや対応録画・再生機器で視聴することができます。
- DLNA対応のスマートフォンなどのモバイル機器やパソコンからの操作による再生(DMR機能)(☞63ページ)
  DLNA対応のスマートフォンなどのモバイル機器やパソコンからの操作で、ホームネットワークに接続されたDLNA対応録画機器やパソコン(DMS)などに録画した番組や保存した動画(ビデオ)を本機で再生できます。

●スマートフォンなどのモバイル機器への配信(DMS機能)(☞62、68ページ)
スマートフォンなどのモバイル機器をホームネットワークに無線LAN(Wi-Fi)で接続すると、本機で受信した番組やUSBハードディスクに録画した番組を、スマートフォンなどのモバイル機器で視聴やダビング(番組持ち出し)ができます。

お知らせ

●本機と連携して使用するネットワーク機器は、あらかじめ本機に登録することが必要です。
●本機に登録できるDLNA機器(サーバー)は最大20台までです。
(Wi-Fiクライアントの接続台数は最大32台までです。)
●本機と連携して使用するには、ネットワーク機器側の設定が必要な場合があります。
詳しくはネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
●LAN録画、ダビングを使用する場合は、あらかじめDLNA対応録画機器が対応しているか確認してください。(サーバー機器一覧 ☞102ページ)
●DLNA対応のネットワーク機器でも、機種によっては本機と連携して使用できない場合があります。あらかじめ、ネットワーク機器の取扱説明書をご確認ください。
●DLNA機能(DMS、DMP、DMR、LAN録画、ダビング)動作中にネットワーク設定を変更すると、配信や再生が中断されたり、LAN録画やダビングが正常に行えない場合があります。

ネットワーク機器を使う

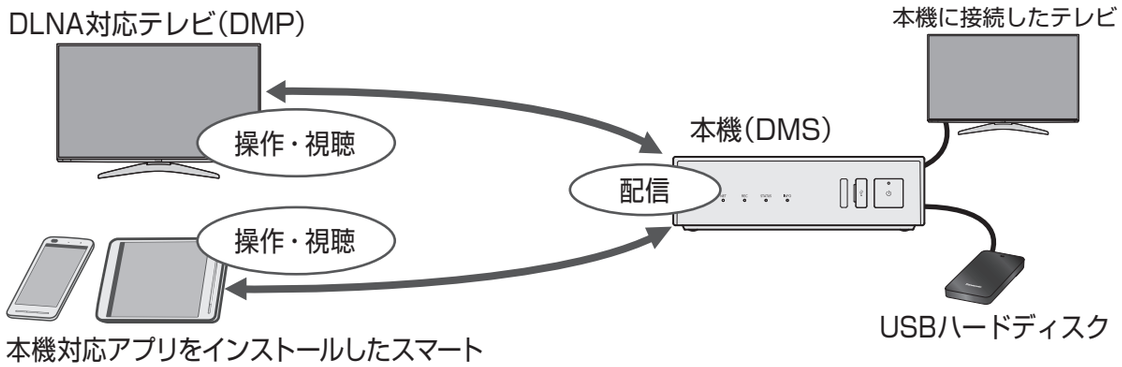
本機で受信した番組やUSBハードディスクに録画した番組を、同じホームネットワークに接続した機器の操作で視聴することができます。再生の操作は本機ではなく接続機器側で行います。
詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で受信した番組やUSBハードディスクに録画した番組を他のテレビなどで見る(DMS機能)

同じホームネットワークに接続した別のテレビやスマートフォンなどのモバイル機器で、下記の内容を見ることができます。

視聴できる内容 ＼ 視聴できる機器	DLNA対応テレビ	スマートフォンなどのモバイル機器
本機で受信した番組(放送配信)	○	○※
本機に接続したUSBハードディスク内の録画番組(録画配信)	○	○※

※本機対応アプリをインストールしたスマートフォンなどのモバイル機器



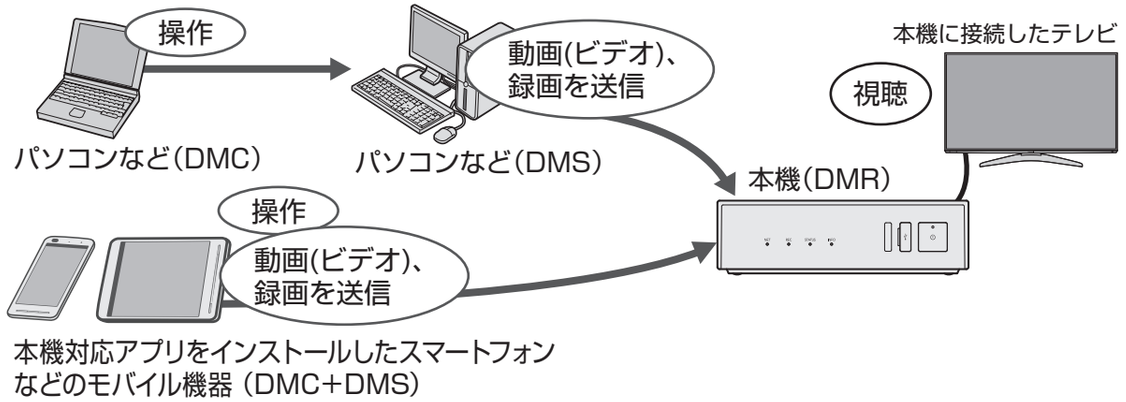
●本機のDMS機能を使用するには、「サーバー機能」を「ON」にしてください。(☞103ページ)
●「サーバー機能」を「ON」にすると、クイックスタート(☞88ページ)の設定が「ON」になります。待機時消費電力は最小になりません。
●電源を「切」にしてもDMS機能は動作します。
●DMS機能使用中は、ステータスランプ(STATUS)が橙色点灯しています。
●操作は相手先の機器で行います。詳しくは相手先機器の取扱説明書をご覧ください。
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容や、ご利用の環境(機器のメーカーなど)によっては、他の機器で見ることができない場合があります。

お知らせ

●2台以上の機器で同時に視聴することはできません。
●無線LAN接続の場合、暗号化方式の設定(☞98ページ)をしていないときは、再生できない番組があります。
●本機と通信できる機器を制限することができます。「視聴許可方法」を「手動許可」に設定したうえで、「視聴機器一覧」から設定してください。(☞103ページ)
●以下の場合は、DMS機能(放送配信機能を含む)を使うことができません。
・LAN録画中　・ダビング中　・設置設定中(ネットワーク設定など)
●本機でダビングの操作をすると、放送配信や録画配信が中止されます。

パソコンなどからの操作で、他の機器の録画や動画を再生する(DMR機能)

パソコンなど(DMC)からの操作で、同じホームネットワークに接続しているハードディスクやパソコンなど(DMS)に保存した録画番組や動画(ビデオ)を本機で再生できます。
スマートフォンなどのモバイル機器に保存した動画(ビデオ)をコンテンツ連携(DMR機能)を使って本機で再生することもできます。(お使いの端末によっては再生ができない場合があります。)
再生の操作は本機ではなくパソコンやスマートフォンなどのモバイル機器のDMCで行います。
詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。



お知らせ

●本機の電源を「切」にすると、DMR機能は使えません。
●本機の「レンダラー(DMR)機能設定」を「ON」に設定してください。(☞103ページ)
●DMCとDMSが同じパソコンでも使うことができます。
●以下の場合は、DMR機能を使うことができません。
・ダビング中　・設置設定中(ネットワーク設定など)

モバイル連携(リモコン操作)

スマートフォンやタブレットの端末に、下記のアプリケーションをインストールすることで、端末から無線LAN接続で本機のリモコン操作ができます。(チャンネル選局、カーソル操作 など)
●ご使用の前に、お使いの端末に下記のアプリケーションをダウンロードし、インストールしてください。

■アプリケーションのダウンロード先

アプリケーション名	ダウンロード先(URL)／QRコード	
Smart TV Remote	http://www.smart-tv-product.jp/shortcut/smart-tv-remote/	

お知らせ

●端末により、プリインストールされている機種とされていない機種があります。
また端末のOSバージョンなどによっては動作しない場合があります。

本機の設定・操作については、「モバイル連携の設定・操作」(☞64～65ページ)をご参照ください。

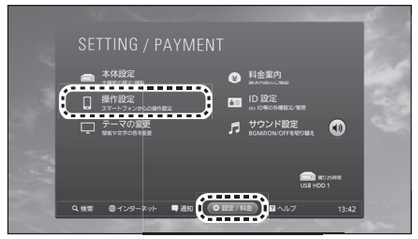
モバイル連携の操作・設定

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

モバイル連携を使用するための操作・設定を行います。メニューに従って操作してください。

「操作設定」メニュー画面の出しかた

「操作設定」を表示します。



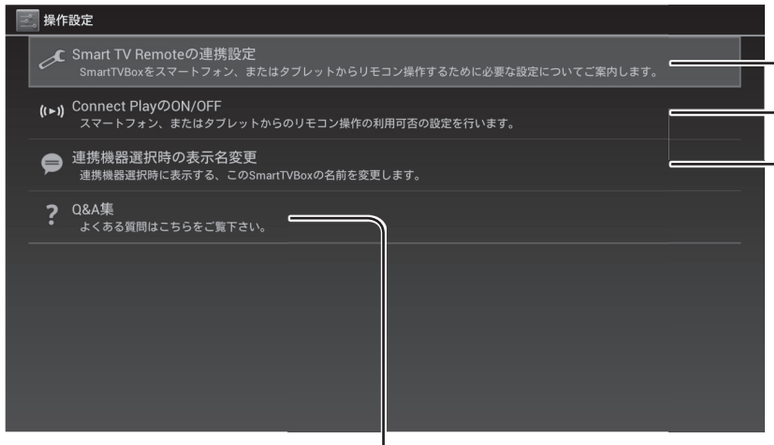
❶ ホーム画面で[メニュー]を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。

❷ ◀▶でメニューの「設定／料金」を選び、[決定]を押す

❸ ▲▼◀▶で「操作設定」を選び、[決定]を押す
●「操作設定」メニュー画面が表示されます。

❹ ▲▼で項目を選び、[決定]を押す

＜「操作設定」メニュー画面＞



Q&A集

よくある質問のQ&A集を表示します。(ブラウザが起動します。)

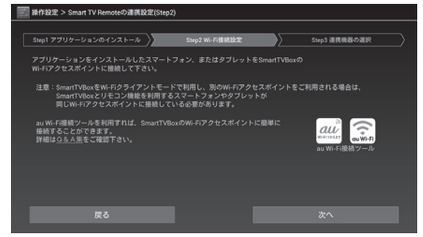
Smart TV Remoteの接続設定

スマートフォンやタブレットの端末からリモコン操作をするために必要な設定を説明します。

❶ 端末に「Smart TV Remote」がインストールされているか確認し、▼◀▶で「次へ」を選び、[決定]を押す
●画面上のQRコードを利用して、アプリケーションを探すことができます。
(アプリケーションのダウンロード先 ☞63ページ)



❷ 端末が本機のWi-Fiアクセスポイントに接続されていることを確認し、◀▶で「次へ」を選び、[決定]を押す
●「au Wi-Fi接続ツール」を利用すれば本機のWi-Fiアクセスポイントに簡単に接続することができます。
●本機を子機(クライアント)で利用し、別のWi-Fiアクセスポイントをご利用される場合は、本機とリモコン機能を利用するスマートフォンやタブレットを同じWi-Fiアクセスポイントに接続してください。
●詳しくは「Q&A集」をご確認ください。(☞64ページ)



❸ 連携先として本機を選択する
●手順❶でインストールした「Smart TV Remote」を起動し、連携機器選択で本機を選択してください。
●名前を変更したい場合は、▲▼◀▶で「名前を変更する」を選び、[決定]を押してください。
「連携機器選択時の表示名変更」(☞下記)が表示されます。
●◀▶で「完了」を選び、[決定]を押すと設定が終了します。



本機の名前

Connect PlayのON / OFF

Connect Play機能の「ON」「OFF」を切り換えます。
モバイル連携を使用するには「ON」に設定してください。

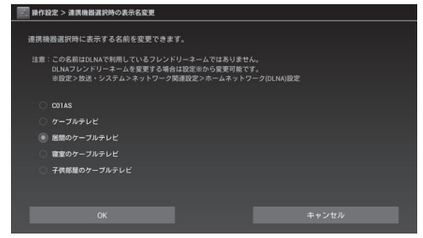


❶ ▲▼で「ON」「OFF」を選び、[決定]を押す

❷ ▼◀▶で「OK」を選び、[決定]を押す

連携機器選択時の表示名変更

連携機器選択時に表示する名前を変更できます。



❶ ▲▼で名前を選び、[決定]を押す

❷ ▼◀▶で「OK」を選び、[決定]を押す

DLNA(ホームネットワーク)

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

ネットワーク接続されたDLNA対応機器の録画番組や動画(ビデオ)を本機で見る(DMP機能)

本機とDLNA対応機器の両方で設定が必要です。(本機の設定は ☞ 94～106ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境(機器のメーカーなど)により、本機で見ることができない場合があります。

① ホーム画面表示中に▶を押す

●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

② ▲▼で「RECORD/DLNA(録画済一覧・ホームネットワーク)」を選び、▶を押す

●視聴中の画面で[録画一覧]を押しても同じ画面が表示されます。

③ ▶を押す※

※USBハードディスク接続時
●録画済一覧画面の「録画機器」「録画番組」の表示から、ホームネットワーク画面に切り換わります。

④ ▲▼で再生するDLNA対応機器を選び、▶を押す

●新しいDLNA対応の録画機器をネットワークに接続した場合は、先に「再読み込み」を選び、[決定]を押してください。

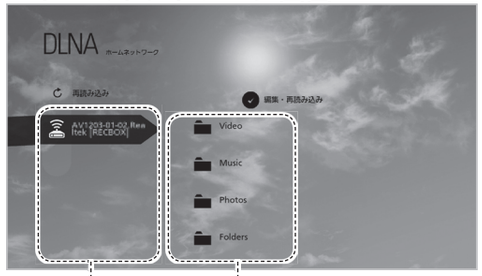
⑤ ▼▲で見たい録画番組または動画を選び、[決定]を押す

●フォルダ選択時は、フォルダの中が表示されます。
●機器によりフォルダ構成が異なります。
●一度再生された番組は、続きから再生できます。(☞ 下記)
●[▶▶]:録画番組／動画ページ送り
[◀◀]:録画番組／動画ページ戻し
[⏮]:録画番組／動画ページを先頭に戻す

＜テレビ・録画番組サービス画面＞



＜ホームネットワーク画面＞



DLNA対応機器　フォルダリスト



録画番組／動画ページ　選択している録画番組または動画のプレビュー画面

■再生中の操作は57ページをご参照ください。
●「スキップ再生」、「タイムワープ」、「15秒逆へスキップ再生」はできません。

■一度再生した番組を最初から見るとき
●番組を選ぶと途中から再生するかどうかの確認画面が表示されるので、◀▶で「いいえ」を選び、[決定]を押す。

■一度再生した番組を続きから見るとき
●番組を選ぶと途中から再生するかどうかの確認画面が表示されるので、◀▶で「はい」を選び、[決定]を押す。
●続きから再生が可能な録画番組は、最新の20番組までです。
※DLNA対応機器によっては20番組以上可能な場合もあります。

メニュー操作

① 66ページ 手順 ❺ で[決定]の代わりに[メニュー]を押す

●メニューが表示されます。



プレビュー画面　情報表示欄

メニュー
・再生(最初から)
・再生(続きから)
・消去

② ▼▲で項目を選び、[決定]を押す

●「消去」を選んだ場合は、確認画面が表示されます。◀で「はい」を選び、[決定]を押してください。
●66ページの手順 ❹ で選んだ録画機器により、選択できない項目があります。

編集メニュー操作

① 66ページ 手順 ❺ で「編集・再読み込み」を選び、[決定]を押す

●編集メニューが表示されます。



編集メニュー
・再読み込み
・複数消去
・全件消去

●「再読み込み」は選択したDLNA対応機器に保存されているファイルのリストを更新します。

② ▼▲で項目を選び、[決定]を押す

●「複数消去」を選んだ場合は、▼▲で消去する録画番組または動画を選んで[決定]を押して「✓」マークをつけ、▶で「決定」を選んで[決定]を押します。
●「全件消去」を選んだ場合は、◀で「はい」を選び、[決定]を押してください。

お知らせ

●録画番組を「途中から」再生する場合、再生開始位置は最後にホームネットワーク画面に録画番組または動画の一覧を表示した時点の再生開始位置になる場合があります。
本機やDLNA対応機器の動作状況によっては、実際の再生開始位置と異なる場合があります。
●録画機器、録画番組や動画によっては消去(複数消去、全件消去)されない場合があります。

他の録画機器にダビングする

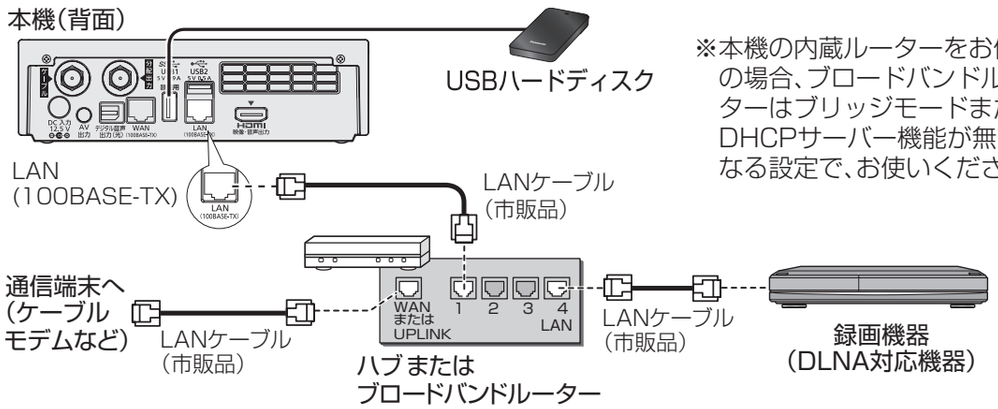
USBハードディスクに録画した番組をホームネットワークに接続している録画機器(番組持ち出しに対応したモバイル機器を含む)へダビング(ムーブ／コピー)できます。(コピー制限について ☞ 71ページ)

ダビングするための準備

①USBハードディスクを接続・設定する。(接続 ☞ 40ページ、設定 ☞ 42ページ)
②録画機器を接続する。(☞ 下記)
③ネットワークを設定する。(本機の設定は、「ネットワーク関連設定」☞ 94～106ページ)
※録画機器側の設定は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
④録画機器がダビングに対応しているかどうか確認し、「ダビングモード」を設定する。(☞ 102ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境(機器のメーカーなど)により、ダビングできない場合があります。

本機と録画機器をブロードバンドルーター経由で接続する

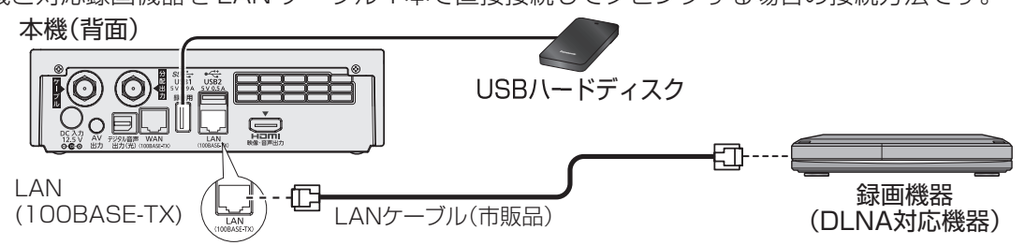
本機と対応録画機器を LAN ケーブルでブロードバンドルーターに接続してダビングする場合の接続方法です。



※本機の内蔵ルーターをお使いの場合、ブロードバンドルーターはブリッジモードまたはDHCPサーバー機能が無効になる設定で、お使いください。

本機と録画機器を直接接続する

本機と対応録画機器を LAN ケーブル１本で直接接続してダビングする場合の接続方法です。



本機とスマートフォンなどのモバイル機器を無線LAN接続する

本機とスマートフォンなどのモバイル機器を無線LAN(Wi-Fi)で接続してダビングする場合の接続方法です。



録画内容の補償に関する免責事項について

本機の故障、誤動作、接続機器の不具合あるいは受信障害や停電などの原因により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を交換した場合等においても同様です。あらかじめご了承ください。

お願い

●ダビング中は、本機や接続されている対応機器の電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。録画されているデータが破損するおそれがあります。
●ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が100BASE-TX以上のものをご使用ください。
●「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
●LANケーブルを抜き差しするときは、必ず本機および録画機器の電源コードを抜いてください。
●電話用のテレホンコードを、LAN端子やWAN端子に接続しないでください。
故障の原因になります。

お知らせ

●本機と録画機器は同じネットワーク(同一のセグメント)内に接続されている必要があります。ホームネットワーク(DLNA)設定のサーバー機器一覧(☞ 102ページ)で接続されているか確認できます。表示されていない場合はネットワークの設定をしてください。
(本機の設定は、「ネットワーク関連設定」☞ 94～106ページ、録画機器側の設定は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。)
●本機の内蔵ルーターを使わないで、別のブロードバンドルーターをお使いの場合、ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能は「有効」(IPアドレスを自動で割り当てる)に設定されることをおすすめいたします。(通常は「有効」に設定されています。「無効」にした場合は、固定IPアドレスの設定が必要となります。)
●DHCP※1でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、スイッチングハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
●接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。それでも改善されない場合は、シールドタイプのLANケーブルを使用されることをおすすめします。
●ブロードバンドルーターにつないだ録画機器へのダビングは、ネットワークのトラフィック(ネットワーク上の情報量)などにより正常に行えない場合があります。
●無線LAN(Wi-Fi)で接続する場合は、SSID3(通信周波数帯5 GHz)、SSIDの動作モード11nを推奨します。(本機の場合は802.11a/nに設定してください。)(☞ 98ページ)
接続する対象機器が802.11a/nに対応していることを確認してください。
●無線LAN(Wi-Fi)またはPLC※2を使った場合は、ダビングが正常に行えない場合があります。
●ネットワーク接続された録画機器に録画されている番組をUSBハードディスクへ移動することはできません。
●USBハードディスクの間で番組を移動することはできません。
●JLabs SPEC-020に準拠した録画機器およびパナソニック製の一部録画機器にダビングできます。録画機器によりダビングできない場合もあります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。
※最新情報は、http://www.jlabs.or.jp/judging/tech-equipmentをご確認ください。

※1 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。
※2 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。

他の録画機器にダビングする

● 操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

ダビングする

USBハードディスクに録画した番組をホームネットワークに接続している録画機器(番組持ち出しに対応したモバイル機器を含む)へダビングします。

1 ホーム画面で、▶を押す
●テレビ・録画番組サービス画面が表示されます。

2 ▲▼で「RECORD/DLNA(録画済一覧・ホームネットワーク)」を選び、▶を押す
●視聴中の画面で録画一覧を押しても同じ画面が表示されます。

3 ▲▼で再生する「録画機器」を選び、▶を押す

4 ダビングしたい番組を選び、メニューを押す
●メニューが表示されます。

5 ▲▼で「ダビング」を選び、決定を押す
●ダビング先の録画機器選択画面が表示されます。

6 ▲▼で録画機器を選び、決定を押す
●録画先選択画面が表示されます。
●選択した録画機器がホームネットワーク上に存在しない場合、確認画面が表示されます。
録画機器がホームネットワークに接続されているか、録画機器の電源が入っているかを確認してください。ダビングを継続する場合は、◀で「はい」を選び、決定を押す

7 ▲▼で録画先を選び、決定を押す
●ダビングを開始します。ダビングが始まると、確認のメッセージが表示されます。

＜テレビ・録画番組サービス画面＞



録画機器　録画番組



＜録画機器選択画面＞　＜録画先選択画面＞





お知らせ

- JLabs SPEC-020に準拠していない録画機器には、視聴年齢制限のある番組はダビングできません。手順6で録画機器を選択した際に、確認画面が表示されます。
- 1回のみデジタルコピーが可能な録画番組(コピーワンス)では、ダビングが正常に終了するとUSBハードディスクに保存された元の番組は削除されます。
- ダビング先の録画機器の容量が満杯になるとダビングは途中で中断されます。コピー制限のある番組をダビングしていた場合、USBハードディスクに保存された元の番組は残りますが、対応録画機器にはダビング途中までの映像は残りません。(コピー制限のない番組の場合は、対応録画機器にダビング途中までの映像は残ります。)
- ダビング速度はネットワークの接続状態により変わります。480i、480pの番組は等倍速より速くなることがあります。
- 保護設定された番組は、保護を解除してからダビングしてください。(☞ 58ページ)
- 録画中の番組はダビングできません。
- 複数の番組を選んでダビングできません。
- ダビング開始時に録画機器側の電源が入っていなければダビングは失敗する場合があります。
- ダビング中に録画機器側を操作したり、録画機器側の録画予約が開始すると、ダビングが失敗または中断する場合があります。
- ダビングが正常に終了したかどうかは「ダビング履歴」(☞ 71ページ)でご確認ください。

ダビングを中止する

実行中のダビングを停止する場合は、テレビ全画面表示中に下記の手順を行ってください。

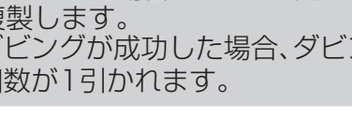
1 ■を押す

2 ◀で「はい」を選び、決定を押す

録画とダビングを同時にしている場合

1 ■を押す

2 ▼▲でダビングしている番組を選び、決定を押す



3 ◀で「はい」を選び、決定を押す

コピー制限について(ムーブ／コピー)

本機では著作権保護のためコピー世代管理信号に基づいて、放送される番組に付加されているコピー制御情報によってダビング可能回数が制限されています。
ダビング可能回数によってダビングがムーブまたはコピーになります。
(コピーフリーの番組をダビングするとコピーとなり、ダビング可能回数は無制限のままです。)

(ムーブ)
ダビング可能回数が1回の録画番組をダビングした場合、ダビング先に録画番組を移動します。
●ダビングが失敗した場合、その番組はUSBハードディスクに残ります。

(コピー)
ダビング可能回数が2回以上の録画番組をダビングした場合、ダビング先に録画番組を複製します。
●ダビングが成功した場合、ダビング可能回数が1引かれます。

ダビングの履歴を見る

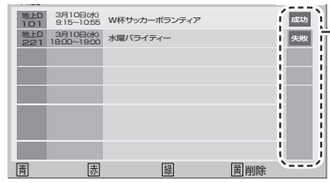
本機からネットワーク接続でダビングした履歴を見ることができます。ダビングの成功・失敗や詳細内容を確認できます。

1 14ページ「本体設定」手順4で「放送・システム」を選び、決定を押す

2 「放送・システム」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「情報表示」を選び、決定を押す

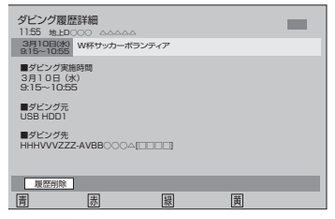
4 ▼で「ダビング履歴」を選び、決定を押す
●ダビングを実行した順に表示されます。
●履歴が64件を超えると古いものから削除されます。



ダビング結果
成功
失敗

●黄で履歴を削除します。
◀で「はい」を選び、決定を押す

5 ▼▲で確認したい履歴を選び、決定を押す



●決定を押すと履歴を削除します。
◀で「はい」を選び、決定を押す

ダビングの再実行(リトライ機能)

ダビング操作開始時に録画機器側の録画予約と重複している場合は、ダビングの再実行を行います。当初の操作時間から16時間以内にダビングの再実行が可能な空き時間があれば、ダビングを開始します。ダビングの再実行は1回のみ行われます。

使いかたに合わせて設定を変える

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

操作するリモコンのボタン位置（☞ 10ページ）

1 14ページ「本体設定」手順 4 で「放送・システム」を選び、[決定]を押す

2 「放送・システム」を選び、[決定]を押す

3 ▲▼で「システム設定」を選び、[決定]を押す

システム設定　1／2

			説明頁
字幕設定			下記
制限項目設定			74
録画・視聴設定			73
選局対象		すべて	右記
選局入力方式	プリセット	3桁入力	73
チャンネルアップダウン	ネットワーク	シームレス	右記

▼

システム設定　2／2

二重音声設定		主音声	右記
タイトル表示	ON	OFF	73
HDオプティマイザー	ON	OFF	73
履歴情報のアップロード	ON	OFF	73

● 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

字幕設定　字幕や文字スーパーを設定する

字幕や文字スーパーのON/OFF、言語について設定を変えることができます。
※文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に表示する文字のことです。

4 ▲▼で「字幕設定」を選び、[決定]を押す

5 ▲▼で項目を選び、◀▶で設定する

字幕設定

字幕	ON	OFF
字幕言語	日本語	英語
文字スーパー	ON	OFF
文字スーパー言語	日本語	英語

字幕のON／OFF
字幕の言語
文字スーパーのON／OFF
文字スーパーの言語

● 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。
● 字幕「ON」「OFF」の切り換えは[字幕切替]でもできます。

選局対象　チャンネルアップダウン　順送りできるチャンネルを設定する

[チャンネル +/−]（チャンネルボタン）を押して、順送りで選局できる対象を設定します。
● マイチャンネル選局モード（☞ 34ページ）中は、マイチャンネルに登録しているチャンネルのみの選局になります。

4 ▲▼で「選局対象」を選び、◀▶で設定する

選局対象　すべて
選局入力方式　プリセット　3桁入力

設定チャンネル	リモコンの[1 あ]～[12 改行]に設定されているチャンネルと、チャンネル設定（☞ 85ページ）で設定した13～36までのチャンネル
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ
すべて	現在受信可能なすべてのチャンネル

5 ▲▼で「チャンネルアップダウン」を選び、◀▶で設定する

選局入力方式　プリセット　3桁入力
チャンネルアップダウン　ネットワーク　シームレス

ネットワーク（工場出荷時）	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送内で選局する
シームレス	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送をまたいで選局する

※C01AS1の工場出荷時は「シームレス」

二重音声設定　二重音声の設定を変える

4 ▲▼で「二重音声設定」を選び、◀▶で設定する

システム設定　2／2
二重音声設定　主音声

主音声	音声が日本語
副音声	音声が外国語
主音声＋副音声	日本語と外国語を同時に出力

お知らせ
● 電源を「切」「入」にしたときに放送が二重音声の場合、上記で設定した音声になります。
● 放送によっては「主音声」が外国語で「副音声」が日本語の場合があります。

録画・視聴設定　録画時の設定を変える

録画時の設定を変えることができます。

4 ▲▼で「録画・視聴設定」を選び、[決定]を押す

5 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で設定する

録画・視聴設定

録画ボタン設定	6時間録画	番組終了	①
録画番組の自動消去	自動消去する		②
自動チャプター	ON	OFF	③

① [●録画]を押したとき（即時録画）の録画時間を設定する
② USBハードディスクが録画番組で一杯になったとき、条件指定予約（自動予約）（☞ 49ページ）で録画された番組を自動で消去する
● [決定]を押し、◀▶で「自動消去する」または「自動消去しない」を選び、[決定]を押す
③ 録画中、シーンの切り換わりによりチャプター画面を作る

タイトル表示　番組タイトルなどの表示を消す

4 ▲▼で「タイトル表示」を選び、▶で「OFF」に設定する

● 「OFF」に設定すると、チャンネルを切り換えても番組についての情報などを表示しません。（チャンネル情報は表示します。）再度、表示させる場合は設定を「ON」に戻してください。
（番組のタイトル表示 ☞ 22ページ）

HDオプティマイザー　ノイズやちらつきを低減する

映像のブロックノイズや輪郭部のちらつきを低減します。

4 ▲▼で「HDオプティマイザー」を選び、◀で「ON」に設定する

HDオプティマイザー　ON　OFF

ON（工場出荷時）	ブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部のちらつき（ノイズ）を低減する
OFF	HDオプティマイザーの機能を無効にする

● 通常は「ON」に設定してください。

履歴情報のアップロード　履歴情報をアップロードする

視聴履歴情報などをケーブルテレビ局にアップロードするか設定します。

4 ▲▼で「履歴情報のアップロード」を選び、◀▶で設定する

● 「ON」に設定すると、視聴履歴情報などをケーブルテレビ局にアップロードします。今後のサービス向上に利用します。

選局入力方式　チャンネルの入力方式を設定する

チャンネルを選ぶとき、3桁のチャンネル番号を入力して選ぶか、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号で選ぶかを設定します。

4 ▲▼で「選局入力方式」を選び、◀▶で設定する

録画・視聴設定
選局対象　すべて
選局入力方式　プリセット　3桁入力
チャンネルアップダウン　ネットワーク　シームレス

プリセット（工場出荷時）	数字ボタンを1度押すと、85ページで設定したチャンネルに切り換わる
3桁入力	数字ボタンを3度押して、3桁のチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルに切り換わる

※C01AS1の工場出荷時は「3桁入力」

■「プリセット」に設定したとき

チャンネルの選びかたは、21ページをご覧ください。

■「3桁入力」に設定したとき



入力パネルの表示中は
[11 わをん]　一文字削除

チャンネル番号の入力のしかたは、21ページをご覧ください。

使いかたに合わせて設定を変える

72ページ手順❶～❸で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

制限項目設定　有料番組や視聴年齢制限を設定する

- 年齢の下限や購入金額の上限を設定できます。
- 制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。
- 視聴年齢制限を超える番組は番組表などで「・・・」で表示されます。

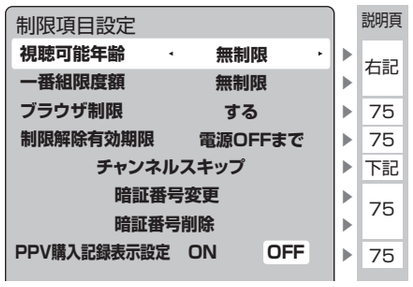
❹ ▲▼で「制限項目設定」を選び、決定を押す

❺ 画面の指示に従って 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力する

- 初めて設定するときは暗証番号を2回入力して登録します。
- 暗証番号の入力がないと約10秒後に「システム設定」の画面に戻ります。

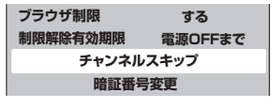
登録した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

●各項目の詳細は以下をご覧ください。

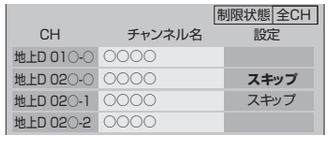


視聴できるチャンネルを制限する

① ▲▼で「チャンネルスキップ」を選び、決定を押す



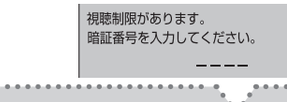
② ▲▼で制限するチャンネルを選び、決定を押す



- スキップ設定したチャンネルは選局できなくなります。(番組表にも表示しません)
- スキップ設定したチャンネルを選び、決定を押すと、スキップ設定を解除します。
- 青 でスキップ設定を一時解除します。(電源を「切」「入」すると制限状態に戻ります。)
- 黄 でスキップチャンネルのみの表示に切り換わります。

視聴できる年齢を制限する

① ▲▼で「視聴可能年齢」を選び、◀▶で年齢の下限を設定する



制限できる年齢
→「4才」～「19才」(1才単位)、「無制限(工場出荷時)」
※C01AS1の工場出荷時は「17才」

有料番組のとき一番組の購入金額を制限する

① ▲▼で「一番組限度額」を選び、◀▶で金額の上限を設定する

制限できる金額
→「100円」「500円」「1,000円」「1,500円」
「2,000円」「2,500円」「3,000円」
「無制限(工場出荷時)」

設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと

初回利用時など暗証番号が未登録な場合、暗証番号の登録画面が表示されます。
指示に従って操作してください。
※C01AS1の場合は、暗証番号は「0000」に設定されています。

暗証番号の入力画面が表示される。

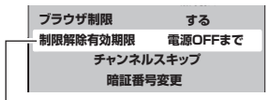
1 ～ 10 を押して、暗証番号を入力する。
(黄 を押すごとに最後の桁が取り消される)

制限を解除(視聴できる)

- 操作中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- 操作中、ホーム でホーム画面に戻ります。

制限解除の期限を設定する

① ▲▼で「制限解除有効期限」を選び、◀▶で設定する

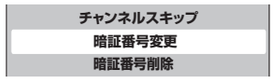


電源OFFまで (工場出荷時)	電源を切るまで視聴可能
選局まで	チャンネルを変えるまで視聴可能

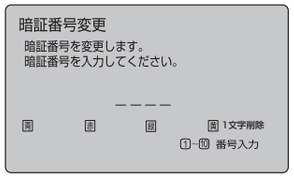
※C01AS1の工場出荷時は「選局まで」

暗証番号を変更する

① ▲▼で「暗証番号変更」を選び、決定を押す



② 1 ～ 10 で、新しい4桁の暗証番号を入力する



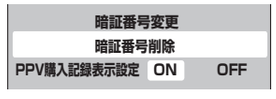
- 入力がないと約10秒後「制限項目設定」の画面に戻ります。

③ 画面の指示に従って再度、4桁の暗証番号を入力する

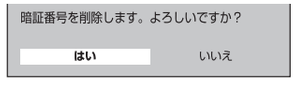
変更した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

暗証番号を削除する

① ▲▼で「暗証番号削除」を選び、決定を押す



② ◀で「はい」を選び、決定を押す

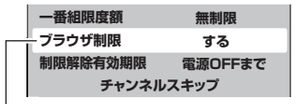


お知らせ

- 録画中は、「視聴可能年齢」と「暗証番号削除」を選ぶことができません。

ブラウザの視聴を制限する

① ▲▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で設定する



する	暗証番号の入力が必要
しない	暗証番号の入力が不要

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局やプロバイダーからの指定があった場合のみ、必要に応じて設定してください。
この設定はアンドロイドのブラウザアプリの設定には関係ありません。

有料番組の購入記録の表示を設定する

「購入記録」画面(☞ 76ページ)での有料番組の購入記録の表示方法を設定します。

① ▲▼で「PPV購入記録表示設定」を選び、◀▶で設定する



ON	すべての購入記録は「・・・」と表示される
OFF	視聴年齢制限(☞ 74ページ)を越える購入記録は「・・・」と表示される

いろいろな情報を見る

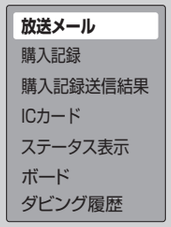
● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 10ページ)

1 14ページ「本体設定」手順 4 で「放送・システム」を選び、[決定]を押す

2 「放送・システム」を選び、[決定]を押す

3 ▲▼で「情報表示」を選び、[決定]を押す



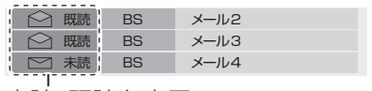
● 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。
● 「ボード」は、ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。

放送メール　放送メールを見る

ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。

4 ▲▼で「放送メール」を選び、[決定]を押す

5 ▲▼で確認したいメールを選び、[決定]を押す
→メールの内容が表示されます。



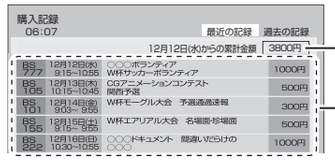
未読、既読を表示

お知らせ
● ICカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
● メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。選んで決定すると、関連画面が表示されます。
● インターネットメールではありません。
● ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。
● 放送メールは、最新の34通が保存されます。

購入記録　購入した有料番組を確認する

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

4 ▲▼で「購入記録」を選び、[決定]を押す



累計金額

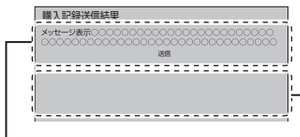
最新の50番組を表示

● 表示される金額は参考金額です。価格改定などにより、請求金額とは異なる場合があります。

■累計金額をリセットする(0円に戻す)には
① [黄]を押して、リセット画面を表示する
② ◀で「はい」を選び、[決定]を押す
● リセットされた項目は、過去の記録で表示させることができます。
● [赤]で過去の記録が表示されます。
● [青]で最近の記録が表示されます。

購入記録送信結果　有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認する

4 ▲▼で「購入記録送信結果」を選び、[決定]を押す

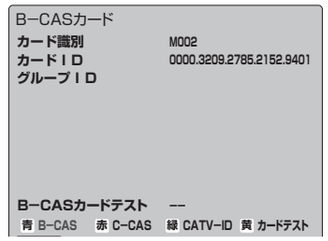


前回の送信結果

現在の送信状況
● 前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨を表示します。このときは決定ボタンを押すと再送信されます。
● 通常は自動送信されます。

ICカード　B-CAS/C-CASカードの番号などを見る

4 ▲▼で「ICカード」を選び、[決定]を押す



● [青]でB-CASカードの情報が表示されます。
● [赤]でC-CASカードの情報が表示されます。
● [緑]でCATV-IDの情報が表示されます。
● [黄]でカードテストが実行されます。(☞ 下記)

カードテスト

● カードを挿入して3秒以上経ってから行ってください。
● ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CASカードのみの場合があります。

5 [青]または[赤]を押す
● カードテストをするカードの表示に切り換えてください。

6 [黄]を押す

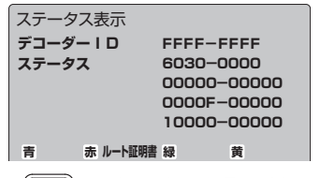


結果

「NG」が出たら、C-CAS/B-CASカードの挿入を確認してください。
(☞ 84ページ)

ステータス表示　本機に関する情報を見る

4 ▲▼で「ステータス表示」を選び、[決定]を押す



● [赤]でルート証明書が表示されます。

ボード　CATVデジタル放送の情報を見る

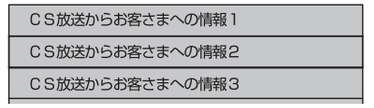
ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。

4 ▲▼で「ボード」を選び、[決定]を押す

5 ▲▼で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、[決定]を押す



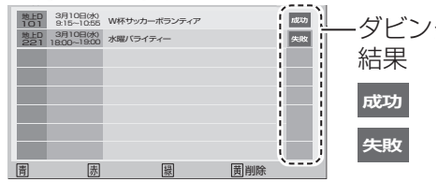
6 ▲▼で確認したい情報を選び、[決定]を押す



ダビング履歴　ダビングの履歴を見る

本機からネットワーク接続でダビングした履歴を見ることができます。ダビングの成功・失敗や詳細内容を確認できます。

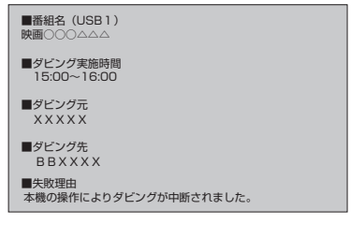
4 ▼で「ダビング履歴」を選び、[決定]を押す
● ダビングを実行した順に表示されます。
● 履歴が64件を超えると古いものから削除されます。



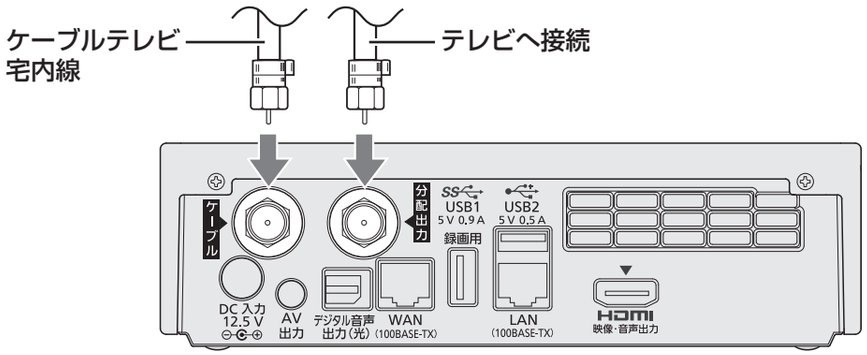
ダビング結果
成功
失敗

● [黄]で履歴を削除します。

5 ▼▲で確認したい履歴を選び、[決定]を押す



ケーブルテレビ宅内線の接続



お願い

- ケーブル端子・分配出力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- ケーブル端子には、ケーブルテレビ宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- ケーブル端子・分配出力端子には、BSアンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。
- ACアダプターの電源プラグは、すべての接続が終わってからコンセントに接続してください。

テレビの接続

用意するもの

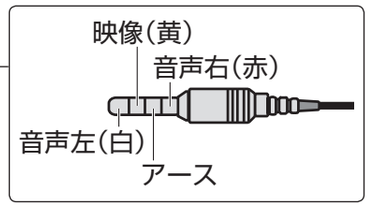
HDMI ケーブル
<市販品>



映像・音声コード ※
(4極ミニプラグ⇔映像・音声出力)
<市販品>



4極ミニプラグ端子(直径3.5 mm)
映像・音声信号の配列

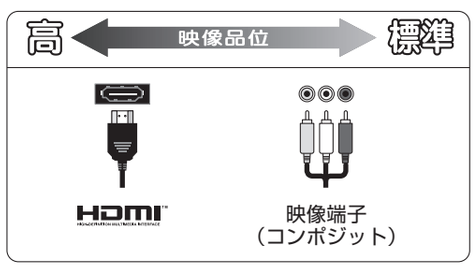


※4極ミニプラグ端子には映像・音声信号の配列が異なるコードがあります。
上図の映像・音声信号の配置のコードをご使用ください。

映像出力端子の映像品位について

下記を参考にお使いのテレビに最適な映像出力端子をお選びください。

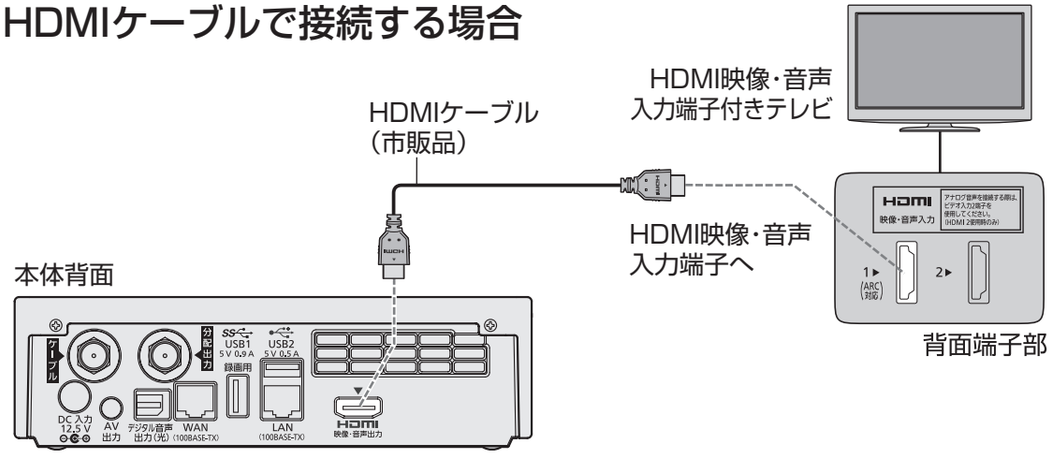
※ できるだけHDMI端子につないでください。
より高品位な映像をお楽しみいただけます。



- **HDMI端子**
  本機からの出力(映像・音声・制御信号)をHDMI入力端子付きのテレビにデジタル信号で伝送します。最も劣化の少ない映像・音声品位となります。
- **映像・音声出力端子(コンポジット)**
  標準画質の出力端子です。ハイビジョン放送は標準画質に変換されて出力されます。

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。
接続後、テレビに合わせて「接続テレビ設定」(☞89ページ)を行ってください。

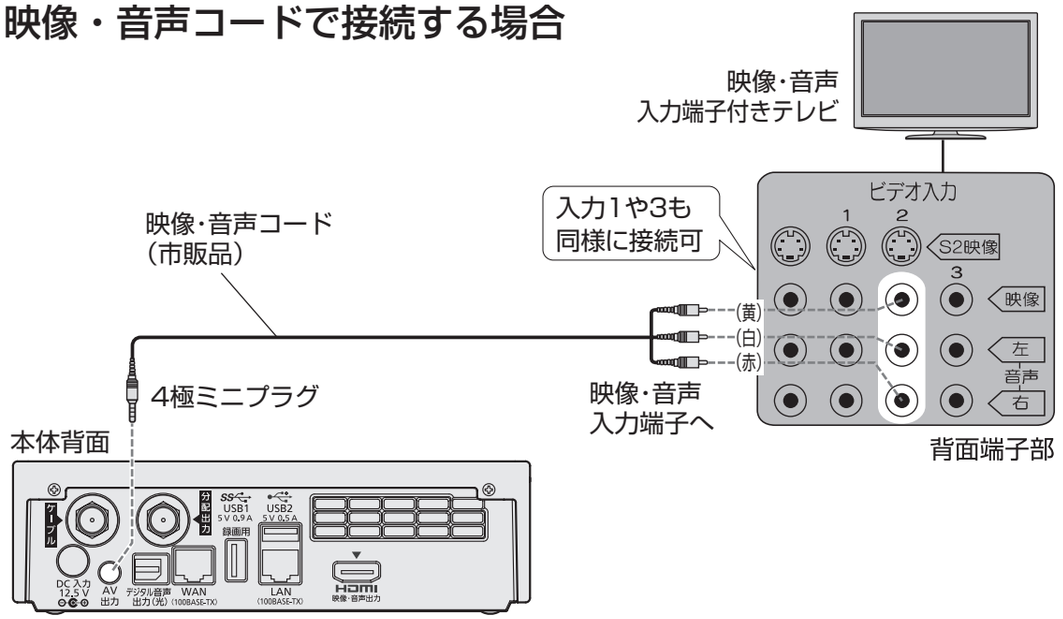
HDMIケーブルで接続する場合



お願い

- HDMI規格に準拠したHDMIロゴのついたケーブルをご使用ください。
- 3D映像の番組をご覧いただくためには、本機と3D対応テレビを3D対応HDMIケーブルで接続してください。

映像・音声コードで接続する場合



コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

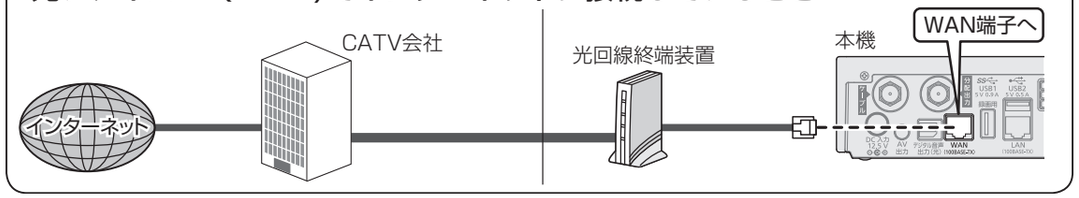
ネットワーク機器との接続

インターネットへの接続

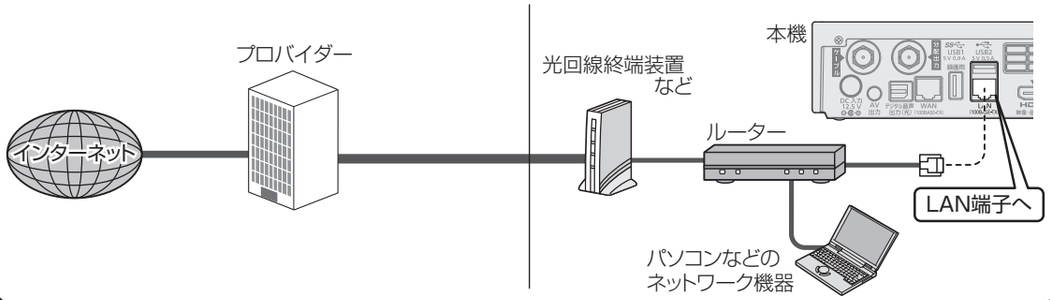
●インターネットへの接続方法は、ご契約内容により異なります。また、ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては使えない機能や設定できないメニュー項目などがあります。

詳しくはご加入のケーブルテレビ局か、ご加入のプロバイダーにお問合せください。

光ファイバー（FTTH)でインターネットに接続しているとき



家庭用のネットワークを通じてインターネットに接続するとき

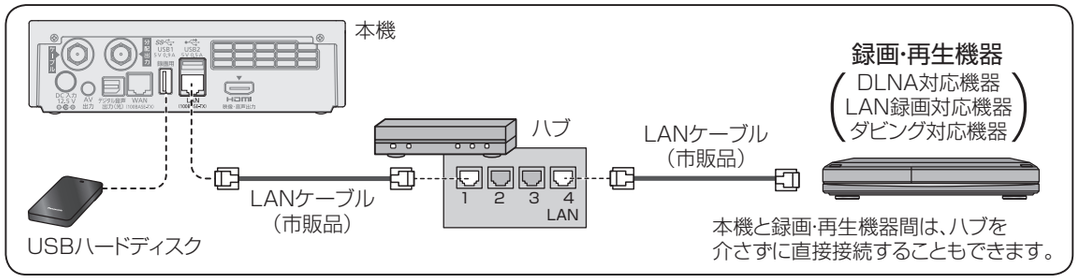


CATV経由でインターネットに接続しているとき



ネットワーク機器（録画対応機器など）との接続

●LAN録画やDLNA（ホームネットワーク）、ダビングを実行するには、本機と対応機器（LAN録画対応機器、DLNA対応機器、ダビング対応機器）を同じネットワークに接続し、各機器の設定をしてください。対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。



■接続後は、必ずネットワーク関連設定（☞ 94～106ページ）を行ってください。
■無線LAN（Wi-Fi)での設定、接続について（☞ 82、83ページ）

お願い

●100BASE-TX用の機器を接続する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
●LAN録画（☞45ページ）を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。無線LAN（Wi-Fi)またはPLC※1でのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。
●電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子やWAN端子に接続しないでください。
故障の原因になります。

お知らせ

●光ファイバー(FTTH)、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約(有料)していただく場合があります。
●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
●インターネットの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)、ADSLなどのブロードバンド環境が必要です。
・100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
・PLCを使わずにLANケーブルまたは無線LAN（Wi-Fi)でのご使用をおすすめします。
●本機では通信端末（光回線終端装置など）の設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
●ルーター機能を有効にしている機器が接続されていると、正常に動作しなくなることがあります。機器の取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定をしてください。
●本機に接続したDHCP※2でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。

※1 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。
※2 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。

ネットワーク機器との接続

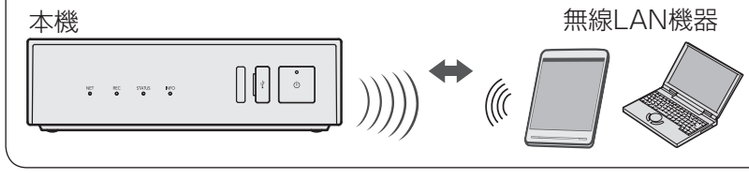
無線LAN(Wi-Fi)についての本機の設定

●本機は無線LAN(Wi-Fi)を内蔵しています。本機に無線LAN機器を接続(本機の設定：「アクセスポイント」)したり、別の無線LANネットワークに接続(本機の設定：「クライアント」)することができます。
●本機は2.4 GHzと5 GHzの通信周波数帯を併用しています。本機をアクセスポイントとして使う場合のSSID(SSIDの詳細設定 ☞ 98ページ)と通信周波数帯の関係は、下記の表のようになります。
●無線LAN機器を本機に接続したいときは、「本機と無線LAN機器を接続する」(☞ 83ページ)の手順に従って設定してください。詳しい設定については「無線LAN(Wi-Fi)の設定」(☞ 96ページ)の「無線LAN(Wi-Fi)で機器を接続するときは」を参照ください。

SSID 名	通信周波数帯	主な接続機器（無線 LAN 機器）
SSID1	2.4 GHz	パソコン、スマートフォンなどのモバイル機器
SSID2	2.4 GHz	暗号化方式が WEP しか対応していないゲーム機など
SSID3	5 GHz	パソコン、スマートフォンなどのモバイル機器

●ご契約内容により、接続方法や設定の内容が固定されていることがあります。接続の際は、接続する機器の取扱説明書もよくお読みの上、ご不明な点は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

無線LAN機器を本機に無線LAN(Wi-Fi)で接続する場合

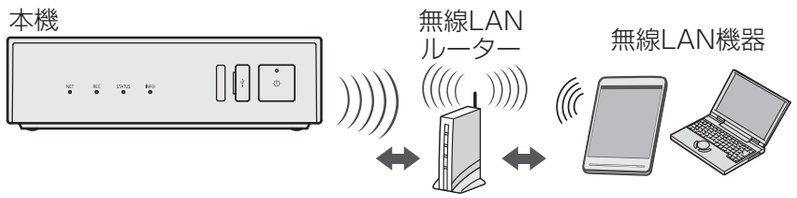


本機の設定を「アクセスポイント」にしてください。(☞ 96ページ)

無線LAN機器を、本機に接続します。

●本機を「クライアント」に設定しているときは、本機に無線LAN機器を接続できません。

本機を無線LAN対応のルーターに無線LAN(Wi-Fi)で接続する場合



本機の設定を「クライアント」にしてください。(☞ 96ページ)

無線LAN機器は、本機には接続できません。無線LAN対応のルーターに接続してください。

●本機を別の無線LANネットワークに接続します。

■本機の設定(アクセスポイント、クライアント)に合わせて、セキュリティなどの設定(☞ 96～100ページ)を行ってください。

本機と無線LAN機器を接続する(auの“かんたん接続”機能とWPS※1機能)

本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを使って、かんたんに無線LAN機器を接続することができます。
●接続の前に、無線LAN(Wi-Fi)の設定をご確認ください。(☞ 96～100ページ)
●本機はauの“かんたん接続”機能に対応しています。本機の設定を「アクセスポイント」(☞ 96ページ)に設定しているときは、「au Wi-Fi接続ツール」を利用すれば本機のWi-Fiアクセスポイントに簡単に接続することができます。
詳しくは「ホーム画面」→[メニュー]→「設定／料金」→「操作設定」→「Q&A」をご確認ください。

au Wi-Fi接続ツールで接続する場合

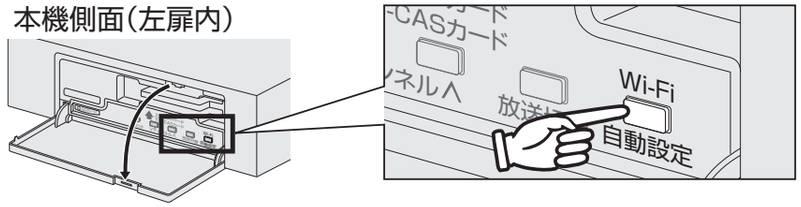
1 au Wi-Fi接続ツールを起動し、「初期設定(かんたん接続)」を実行する

無線LAN機器のWPSボタンで接続する場合

1 無線LAN機器のWPSボタンを押す※2 ※3

2 本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを数秒間押す※4
●ボタンを押すと、本機正面のネットランプ(NET)が橙色点滅します。

本機側面(左扉内)



3 設定完了を確認する
●設定が終了すると、本機正面のネットランプ(NET)が橙色点滅から元の状態に戻ります。

※1 「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup™」の略です。
※2 接続機器のWPSボタンについては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
(機器によっては、ソフトウェア上にボタンがある場合があります。)
※3 プッシュボタン方式に対応していない機器は、PINコードを入力することで接続できます。
本機に接続機器のPINコードを入力してください。(「アクセスポイントの設定」：「PINコードでの設定」☞ 100ページ)(「クライアントの設定」：「PINコードでの登録」☞ 100ページ)
接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
※4 メニュー操作でもWPSの登録モードに切り換わります。
(「プッシュボタンでの設定」☞ 100ページ)

お知らせ
●プッシュボタン方式での接続の対象となるSSIDは「SSID 1」(2.4 GHz)と「SSID3」(5 GHz)です。接続機器の通信周波数帯によって、接続されるSSIDが決まります。
●暗号化方式の設定(☞ 98ページ)によりWPS機能が使用できない場合があります。
●本機に接続する機器がWPSに対応していない場合は、設定の際に本機の暗号キー(パスフレーズ)(☞ 98ページ) が必要になります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

■無線LAN(Wi-Fi)について

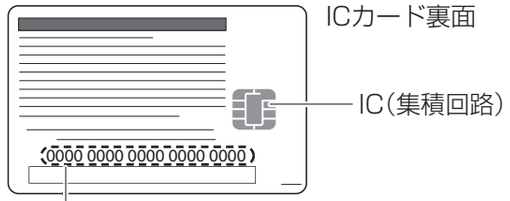
●本機をアクセスポイントとして使用する場合の無線方式は、SSID3(通信周波数帯5 GHz)、SSIDの動作モード11nを推奨します。(本機の場合は802.11a/nに設定してください。)
他のSSIDやSSIDの動作モードでも通信できますが、大容量のデータを送受信する(インターネットで動画を見るなど)と、映像が途切れたり、接続が切れることがあります。
●本機は良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。
●通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化方式の設定)を行ってください。(☞ 98、99ページ)セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LAN(Wi-Fi)の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
●無線LAN対応のルーター(アクセスポイント)の無線方式を変更した場合は、これまで無線LAN(Wi-Fi)で接続できていた機器(パソコンなど)が接続できなくなることがあります。
●他の電波を使う機器からは離してください。無線LAN(Wi-Fi)を使用しない場合は「Wi-Fi動作モード」(☞ 96ページ) を「OFF」にすることをおすすめします。
電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
・電子レンジ　・他の無線LAN機器　・Bluetooth 対応機器
・その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器
(デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)

B-CAS／C-CASカードの挿入

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー回数を限定したコピー制御信号を加えて放送されています。（☞ 71ページ）
その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ICカードについて

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりB-CASカードのみの場合があります。



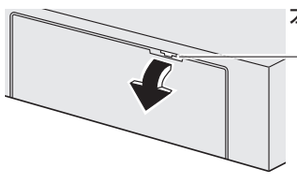
●有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

① 電源入力端子にACアダプターが差し込まれていないことを確認する

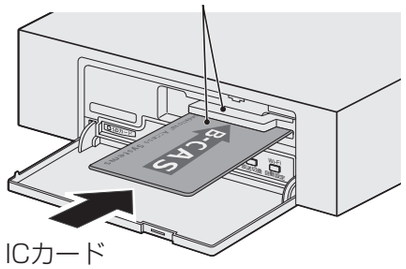
●電源表示ランプが消灯しているのを確認してください。

② 本体側面（左）の扉を開け、ICカードを挿入し、扉を閉める

●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。



ICカード挿入口（上段：C-CAS、下段：B-CAS）



ICカード
カードの矢印表示面を上に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

■ICカードのテストをするとき

（☞ 77ページ）

■ICカードを抜くとき

① ACアダプターの電源プラグを電源コンセントから抜く
② ゆっくりとICカードを抜く

●ICカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。（☞ 124ページ）
●ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。（☞ 77ページ）

ICカードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき、指示に従って操作してください。

■ICカード取り扱い上の留意点

●折り曲げたり、変形させない。
●水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
●分解加工は行わない。
●重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
●IC（集積回路）部には手をふれない。

お願い

●本機専用のICカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとICカードは機能しません。

設置設定

●操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
●操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

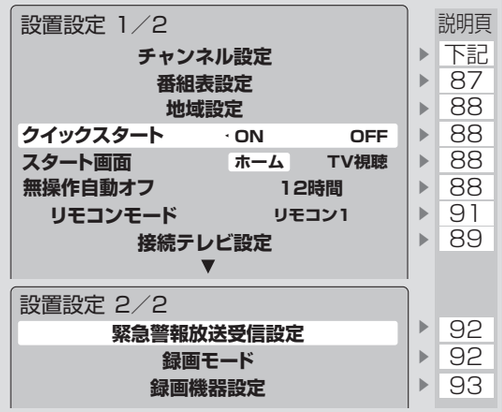
各機器を接続後、以下の設置設定を行ってください。

操作するリモコンのボタン位置（☞ 10ページ）

① 14ページ「本体設定」手順 ④ で「放送・システム」を選び、決定を押す

② 「放送・システム」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「設置設定」を選び、決定を押す



●設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

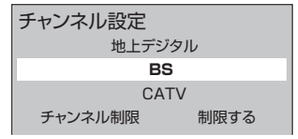
チャンネル設定

BSは工場出荷時、いくつかのチャンネルが設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。
●よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンに登録しておくと便利です。

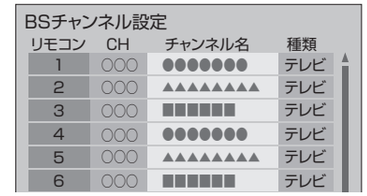
④ ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

BS、CATVのとき

⑤ ▲▼で設定する放送を選び、決定を押す

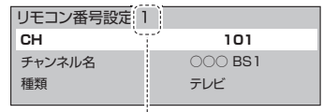


①▲▼で修正したい行（リモコン番号）を選び、決定を押す



●受信されている放送のみ表示されます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

②◀▶でCHを変更する



選択したリモコンのチャンネル番号

③ 戻るを押す

●「選局対象」（☞ 72ページ）を「設定チャンネル」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

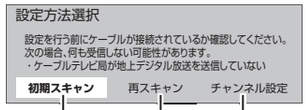
次ページにつづく▶▶▶

設置設定

● 操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

地上デジタルのとき

5 ▲▼で「地上デジタル」を選び、決定を押す

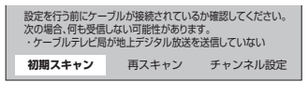


改めて自動でチャンネル設定する

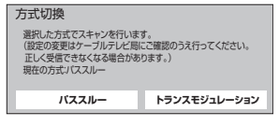
自動で設定したチャンネルを修正したいとき
地上デジタル放送の受信チャンネルが変わったとき、受信できる局を自動で追加するとき

初期スキャン

①◀で「初期スキャン」を選び、決定を押す

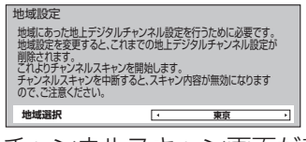


② 青を押し、方式切換の画面が表示されたら◀▶でチャンネルスキャン方式を選び、決定を押す



設定の変更はご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

③◀▶でお住まいの地域を選び、決定を押す



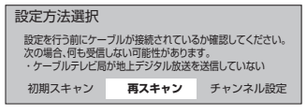
- チャンネルスキャン画面が表示されます。受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。
（今までの設定はすべてリセットされます。）
- スキャン中は映像と音声は出ません。終わるまでに、10分程度かかる場合があります。

④正しく設定されていることを画面で確認し、戻るを押す

■修正したいとき
→右記「チャンネル設定」の手順②へ

再スキャン

①◀▶で「再スキャン」を選び、決定を押す



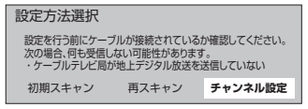
- 10分程度時間がかかる場合があります。
- 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

②正しく設定されていることを画面で確認し、戻るを押す

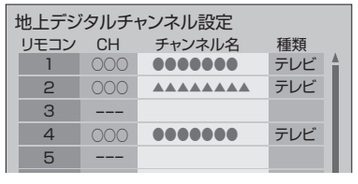
■修正したいとき
→下記「チャンネル設定」の手順②へ

チャンネル設定

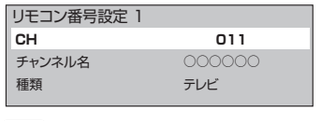
①▶で「チャンネル設定」を選び、決定を押す



②▲▼で修正したい行（リモコン番号）を選び、決定を押す



③◀▶でCHを変更する



④戻るを押す

■設定した項目（「チャンネル名」や「CH」など）を他のリモコン番号と入れ替えたいとき

① 緑を押す
② ▲▼で、入れ替えたい番号を選び、決定を押す
③ ▲▼で、入れ替え先の番号を選び、決定を押す
④ 戻るを2回押す

以下は、85ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

チャンネル制限設定

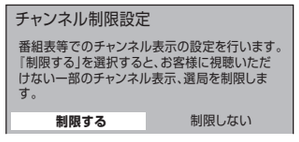
番組表の表示やチャンネル選局を視聴できるチャンネルのみに設定できます。
ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示されない場合があります。

4 ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

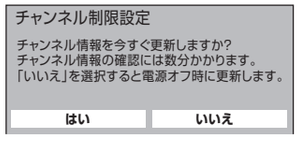
5 ▲▼で「チャンネル制限」を選び、決定を押す



6 ◀▶で「制限する」を選び、決定を押す



7 ◀▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す



はい	チャンネル情報を今すぐ更新します。情報更新には数分かかります。
いいえ	チャンネル情報を電源オフ時に更新します。

メッセージが表示されたら、戻るを押す

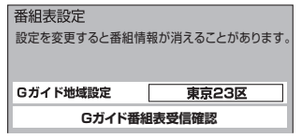
●チャンネル制限設定を元に戻す
手順 6 で「制限しない」を選びます。

番組表設定

地域に合わせた番組表を表示させるための設定です。

4 ▲▼で「番組表設定」を選び、決定を押す

5 ▲▼で「Gガイド地域設定」を選び、◀▶でお住まいの地域を選ぶ



- 設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。
表示されなくなった場合は、地域に合った設定になっているか確認し、設置設定を最初からやり直してください。

■番組表が受信できるか確認する
上記手順 5 で「Gガイド番組表受信確認」を選び、決定を押す

- 受信可能であればスケジュールが表示されます。
- 結果の表示に最大6分かかります。

設置設定

以下は、85ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

地域設定

❹ ▲▼で「地域設定」を選び、決定を押す

❺ ▲▼で「県域設定」を選び、◀▶でお住まいの地域を選ぶ



- 伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

❻ ▲▼で「郵便番号」を選び、決定を押す



❼ 1 ～ 10 で郵便番号を入力し、決定を押す



■入力を間違えたとき

→ 黄 を押す

❽ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定を押す

■地域設定を工場出荷時に戻すには

①▲▼で「地域設定削除」を選び、決定を押す

②◀で「はい」を選び、決定を押す

スタート画面

電源「入」時に表示されるスタート画面を設定します。

❹ ▲▼で「スタート画面」を選び、◀▶で設定する

ホーム ホーム画面が表示されます。(工場出荷時)

TV視聴 テレビ全画面表示になります。

クイックスタート

映像を早く映したいときに設定します。

❹ ▼で「クイックスタート」を選び、◀で「ON」を選ぶ



- クイックスタートが「ON」のとき リモコンで電源「切」時、本体電源表示は橙色が点灯します。
- 「サーバー(DMS)機能設定」(☞ 103ページ)の「サーバー機能」、「緊急警報放送受信設定」(☞ 92ページ)の「待機設定」、「宅外リモート接続設定」(☞ 103ページ)の「リモート接続機能」のいずれかを「ON」に設定しているときは、クイックスタートを「OFF」に設定できません。

お知らせ

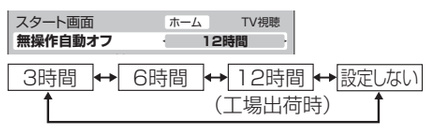
- クイックスタートを「ON」に設定すると、電源「入」時に映像が早く映りますが、消費電力は増えます。消費電力は仕様をご覧ください。
  (消費電力：機能待機時 ☞ 132ページ)

無操作自動オフ

操作しない状態が設定時間続くと、自動的に電源を切り無駄な消費電力を低減します。

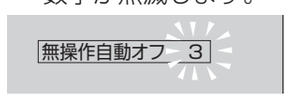
設定時間を短くすると、電源の切り忘れ時に効果があり省エネにつながります。

❹ ▼で「無操作自動オフ」を選び、◀▶で時間を設定する



■「無操作自動オフ」がはたらくと

- 電源が切れる3分前になると3、2、1と数字が点滅します。



- 戻る などのボタン操作で解除されます。

- 操作中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- 操作中、ホーム でホーム画面に戻ります。

以下は、85ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

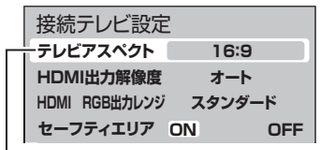
接続テレビの設定

接続するテレビに合わせて映像信号の出力方式を切り換えます。

❹ ▲▼で「接続テレビ設定」を選び、決定を押す



❺ ▲▼で「テレビアスペクト」を選び、◀▶で設定する



4:3	4:3標準テレビのとき
16:9	ワイドテレビのとき
16:9フル	ワイドテレビで左右の黒帯を無くして表示させるとき

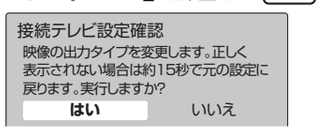
- テレビ側の画面モードを切り換えて、正常な映像になるように設定してください。

❻ ▲▼で「セーフティエリア」を選び、◀▶で「ON」または「OFF」を選ぶ

- テレビにより、画面の端が切れる場合は「ON」に設定してください。

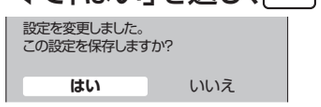
❼ ▲▼で「設定する」を選び、決定を押す

❽ ◀で「はい」を選び、決定を押す



- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選ぶと、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❾ 映像が正しく映れば◀で「はい」を選び、決定を押す



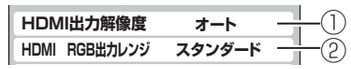
HDMI端子に接続したとき

HDMI端子で接続したときのみ設定を行ってください。

❹ ▲▼で「接続テレビ設定」を選び、決定を押す



❺ ▲▼で「HDMI出力解像度」または「HDMI RGB出力レンジ」を選び、◀▶で設定する



①HDMI出力解像度 (☞ 90ページ)
「オート」(工場出荷時)「480p」「1080i」「720p」から選ぶ

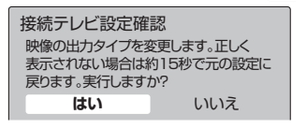
- 「オート」は、720p、1080i、480pの順で接続機器に適した解像度を自動で選択します。

②HDMI RGB出力レンジ
「スタンダード」または、「エンハンス」を選ぶ

- 映像の黒白が鮮明でないときは、「エンハンス」に設定してください。

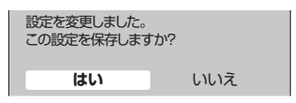
❻ ▲▼で「設定する」を選び、決定を押す

❼ ◀で「はい」を選び、決定を押す



- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❽ 映像が正しく映れば◀で「はい」を選び、決定を押す



設置設定

以下は、85ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

本機のHDMI端子から出力される映像信号について

89ページのHDMI端子出力解像度の設定により、放送局から送信された信号方式[1080i、720p、480i、480p]を本機は下表のような信号方式で出力します。

設定 出力解像度			「HDMI出力解像度」の設定により本機から出力される信号方式		
	HDMI 出力解像度		480p	1080i	720p
放送局から送信される信号方式	HD	1080i の放送	480p に変換して出力	1080i をそのまま出力	1080i をそのまま出力
		720p の放送		1080i に変換して出力※	720p をそのまま出力
	SD	480i の放送			1080i に変換して出力※
		480p の放送	480p をそのまま出力		

※ 480i、480p は 1080i に変換されますが、画質は 480i、480p と同等になります。

お知らせ

- HDMI出力端子から出力する映像信号は、放送局から送られてくる信号とHDMI出力解像度の設定により異なります。正しく設定できていない場合は、映像が映らなかったり映像が映っても、接続されるテレビの持っている本来の画質にならないことがあります。

走査線について

1080i
デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。現行の地上デジタル放送やBS放送と同等の解像度です。

480i
デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。

480p
デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

720p
デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

- **操作中、** 戻る で1つ前の画面に戻ります。
- **操作中、** ホーム でホーム画面に戻ります。

テレビのメーカー設定

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。
(電源の入切、入力の切り換え、音量調整)

■設定方法

TV 電源 ボタンを押したまま、→ 下表よりお手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを選び、順番に押す。(工場出荷時はパナソニック(新1)に設定)

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック(新1)	1 と 1	SONY(1)	3 と 5	富士通ゼネラル(2)	5 と 6
パナソニック(新2)	1 と 2	SONY(2)	3 と 6	三洋(1)	6 と 1
パナソニック(旧)	1 と 3	パイオニア	4 と 1	三洋(2)	6 と 2
パナソニック(新3)	1 と 4	シャープ(1)	4 と 5	三洋(3)	6 と 3
パナソニック(新4)	1 と 5	シャープ(2)	4 と 6	三洋(4)	6 と 4
ビクター	2 と 1	シャープ(3)	4 と 7	NEC(1)	6 と 5
東芝	2 と 5	三菱(1)	5 と 1	NEC(2)	6 と 6
日立(1)	3 と 1	三菱(2)	5 と 2	AIWA	7 と 1
日立(2)	3 と 2	三菱(3)	5 と 3	FUNAI	7 と 2
日立(3)	3 と 3	三菱(4)	5 と 4	――	
日立(4)	3 と 4	富士通ゼネラル(1)	5 と 5	――	

お知らせ

- 同一メーカーで設定が2種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。
- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が「パナソニック(新1)」に戻った場合は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。
- パナソニック製テレビの場合、パナソニック(新3)またはパナソニック(新4)に設定すると、TV 入力切替 を押すことで入力の切り換えおよびテレビの放送に切り換えができます。切り換えることができない場合やテレビの放送に切り換えたくない場合は、パナソニック(新1)、パナソニック(新2)、パナソニック(旧)のいずれかに設定してください。

リモコンモードの設定

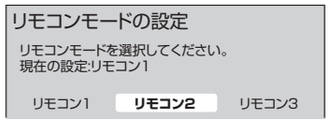
本機を複数台使用される場合、他のリモコンによる動作を防ぐためにリモコン発信器のモードを変えることができます。

本機側の設定

85ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

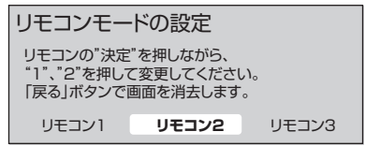
4 ▲▼で「リモコンモード」を選び、決定 を押す

5 ◀▶でモードを選ぶ
(例)リモコン2を選んだとき



リモコン側の設定

6 決定 を押しながら、1、2 を順番に押し、戻る を押す
(例)リモコン2を選んだとき



- 「リモコン1」を選んだときは 1、1 、「リモコン3」を選んだときは 1、3 を順番に押します。

設置設定

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

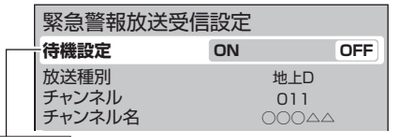
以下は、85ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

緊急警報放送受信設定

電源を切った状態でも緊急警報放送を受信するか設定します。また受信する場合の放送種別とチャンネルを指定できます。

❹ ▲▼で「緊急警報放送受信設定」を選び、[決定]を押す

❺ ▲▼で「待機設定」を選び、◀▶で設定する



ON　電源「切」時に緊急警報放送を受信する
● 受信する場合の「放送種別」と「チャンネル」を設定してください。

OFF　電源「切」時に緊急警報放送を受信しない
(工場出荷時)

受信する放送種別／チャンネルの設定

❻ ▲▼で「放送種別」を選び、◀▶で設定する

❼ ▲▼で「チャンネル」を選び、◀▶で設定する

●「チャンネル名」の欄には自動的にチャンネル名が表示されます。
●3桁チャンネル番号で入力することもできます。
① [決定]を押す
② [1 あ]～[10 記号 0]で3桁番号を入力する

お知らせ

●緊急警報放送受信設定を「ON」にすると、クイックスタート(☞ 88ページ)の設定が「ON」になります。
待機時消費電力は最小になりません。

録画モード

録画先のUSBハードディスクと録画モードの初期設定値を設定します。
● 即時録画(☞ 44ページ)の録画モードは「デフォルト録画モード」に関係なく「標準」になります。

❹ ▲▼で「録画モード」を選び、[決定]を押す

デフォルト録画先

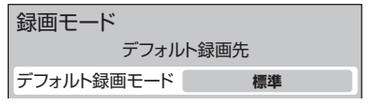
❺ ▲▼で「デフォルト録画先」を選び、[決定]を押す

● USBハードディスクの機器一覧が表示されます。録画用USBハードディスクの設定･操作ができます。詳細の操作は、「機器登録を確認する」(☞ 42ページ)をご覧ください。
● 操作後[戻る]を押すと、❸に戻ります。



デフォルト録画モード

❺ ▲▼で「デフォルト録画モード」を選び、◀▶で設定する



●「標準」(工場出荷時)、「長時間1」、「長時間2」の録画モードから選べます。

お知らせ

●USBハードディスクへの録画は、録画モードの設定にかかわらず、すべて一度「標準」の録画モードで録画された後で設定した録画モードに変換されます。「標準」以外の録画モードで番組を録画する場合は、「標準」で録画する場合よりも一時的に大きな録画時間の空きが必要になりますので、ご注意ください。

以下は、85ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

USB ハードディスクの機能待機

USB ハードディスクの録画・再生の立ち上がり動作を早くする機能待機状態にします。

❹ ▲▼で「録画機器設定」を選び、[決定]を押す

❺ ◀▶で設定する



ON (工場出荷時)　録画・再生の立ち上がり動作を早くする

OFF　USBハードディスクを10分以上操作しなかったときに、休止状態になる
●USBハードディスクの操作をすると休止状態は解除されますが、復帰に時間がかかります。

お知らせ

●USBハードディスクによっては機能待機の設定に対応していない場合があります。
●USBハードディスクが休止状態から解除される動作は以下の通りです。
・録画([●録画]を押す)
・再生([II/▶]を押す)
・録画予約実行
・録画済一覧画面の表示
・DLNA対応機器からのアクセスがあった場合

ネットワーク関連設定

本機をネットワークに接続するための設定です。
●インターネットへの接続方法は、ご契約内容により異なります。また、ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては使えない機能や設定できないメニュー項目などがあります。
詳しくはご加入のケーブルテレビ局か、ご加入のプロバイダーにお問合せください。

ネットワークの設定

操作するリモコンのボタン位置（☞ 10ページ）

1 14ページ「本体設定」手順 4 で「ネットワーク」を選び、決定 を押す

●「ネットワーク」画面が表示されます。
●設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

LANの設定

2 ▲▼で「LAN」を選び、決定 を押す

接続テスト

本機に接続しているネットワーク機器の接続テストをすることができます。

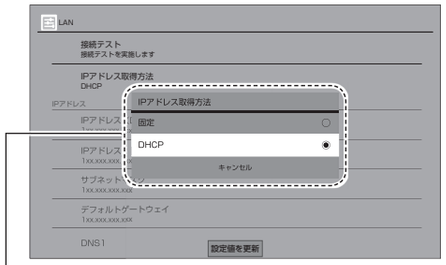
3 ▲▼で「接続テスト」を選び、決定 を押す



接続テストの結果が表示されます。
エラーメッセージが表示された場合は、内容を確認して接続や設定をご確認ください。

IPアドレスやDNS設定

3 ▲▼で「IPアドレス取得方法」を選び、決定 を押す



固定	IPアドレスやDNSアドレスを手動で入力する
DHCP	IPアドレスやDNSアドレスを自動で取得する

IPアドレスやDNSアドレスを自動で取得するとき

4 ▲▼で「DHCP」を選び、決定 を押す

ブロードバンドルーターやルーター機能付きモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIPアドレス自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

●設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。（☞ 95ページ）

IPアドレスやDNSアドレスを手動で入力するとき

4 ▲▼で「固定」を選び、決定 を押す

5 ▲▼で「IPアドレス（1から3まであります）」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」「DNS1」「DNS2」をそれぞれ選び、決定 を押す

範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

■IPアドレスについて
IPアドレス1（DLNA）：
DLNA対応機器との通信に使うIPアドレスです。
IPアドレス2（Android）：
Android機能を使う際のIPアドレスです。
IPアドレス3（Router）：
本機のネットワーク機能が使用するIPアドレスです。設定状態によっては不要の場合や表示されない場合があります。

6 ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

●文字を入力する（☞ 36ページ）
●設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。（右記）

設定値を更新

設定した後、設定の更新をしてください。

▲▼で「設定値を更新」を選び、決定 を押す

●更新しないと設定内容は有効になりません。
●確認画面が表示された場合は、◀▶で「OK」を選び、決定 を押す



IPアドレスについて
ネットワーク上の機器を識別するために指定する識別用の番号です。本機では、DLNA対応機器との通信用のIPアドレスと、Android機能を使う場合のIPアドレスと、ルーター機能を持っている機器がネットワーク内に2台以上ある場合などに設定するIPアドレスを個別に設定できます。
（例：192.168.0.1）

サブネットマスクとは
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。（例：255.255.255.0）

デフォルトゲートウェイとは
インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。（例：192.168.0.1）

DNS（Domain Name System）とは
入力されたURLなどから、接続先のIPアドレスを検索するデータベースのアドレスです。
（例：192.168.0.1）

ネットワーク関連設定

無線LAN(Wi-Fi)の設定

無線LAN(Wi-Fi)で機器を接続するときは

「Wi-Fi動作モード」が「アクセスポイント」になっていることを確認する

Wi-Fi動作モード →右記

インターフェースが「有効」になっていることを確認する

2.4 GHzの無線LAN(Wi-Fi)を使う場合は「2.4GHz無線基本」の「インターフェース」を、5 GHzの無線LAN(Wi-Fi)を使う場合は、「5 GHz無線基本」の「インターフェース」を「有効」にしてください。

インターフェース →97ページ

接続に使うSSIDの「ESSID」を確認する

SSID1：周波数帯 2.4 GHz、パソコンなど用
SSID2：周波数帯 2.4 GHz、一部のゲーム機など用
SSID3：周波数帯 5 GHz、パソコンなど用

接続する機器に合わせて、SSIDを選択してください。

「ESSID」は、SSIDの名称の役割を果たします。

ESSID →98ページ

必要に応じてSSID(セキュリティ、動作モードなど)の設定をする

機器接続後に、セキュリティや動作モードなどを変更すると、接続した機器との通信ができなくなる場合があります。

SSIDの設定 →98、99ページ

機器を操作して本機に接続する

プッシュボタン方式やPINコード方式で接続できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。

プッシュボタン方式 →100ページ
PINコード方式 →100ページ

必要に応じて設定する

他の機器の通信にノイズが入る場合や、混信して通信速度が遅くなる場合に、本機の設定を変更することができます。

チャンネル/チャンネル幅 →97ページ

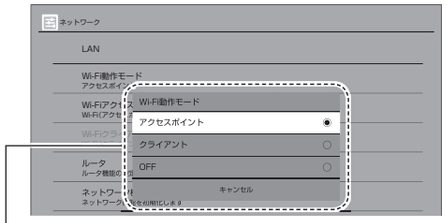
以下は、94ページ手順❶で「ネットワーク」画面を表示させてから行ってください。

動作モードの設定

本機の無線LAN(Wi-Fi)を親機(アクセスポイント)として使用するか、子機(クライアント)として使用するかを設定します。

❷ ▼で「Wi-Fi動作モード」を選び、決定を押す

❸ ▲▼で「アクセスポイント」または「クライアント」を選び、決定を押す



アクセスポイント	本機を親機として使う
クライアント	別の親機に接続する
OFF	無線LAN(Wi-Fi)を使用しない

❹ メッセージが表示されたら内容を確認し、▶で「OK」を選び、決定を押す

- アクセスポイントの設定については右記を、クライアントの設定については100ページを参照してください。

お知らせ

- Wi-Fi動作モードを変更すると、全てのネットワークが一時的に遮断されるため、ネットワークを利用するアプリケーションに問題が生じる可能性があります。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により「クライアント」が表示されない場合があります。

- **設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。**
- **設定中、ホームでホーム画面に戻ります。**

アクセスポイントの設定

無線LAN(Wi-Fi)の動作モードを「アクセスポイント」に設定している場合に設定できます。

❷ ▼で「Wi-Fiアクセスポイント」を選び、決定を押す

無線LAN(2.4 GHz/5 GHz)の設定

❸ ▲▼で「2.4GHz無線基本」また「5GHz無線基本」を選び、決定を押す

インターフェースの設定

無線LAN(Wi-Fi)を使用する際に、2.4 GHzまたは5 GHzの通信周波数帯を使用するかどうか、設定します。

❹ ▲▼で「インターフェース」を選び、決定を押す

- 決定を押すごとに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。

有効	2.4 GHzまたは5 GHzの通信周波数帯を使用する
無効	2.4 GHzまたは5 GHzの通信周波数帯を使用しない

- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

通信チャンネルの設定

無線LAN(Wi-Fi)が混信して、通信速度が遅くなる場合に設定すると、改善することがあります。

❹ ▲▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❺ ▲▼で項目を選び、決定を押す

自動	通信チャンネルを自動で選択します。(推奨設定)
36ch、40ch、44ch･･･	表示されたチャンネル表示から、チャンネルを選択してください。

- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

通信チャンネル幅の設定

無線LAN(Wi-Fi)の通信速度が遅いとき、通信チャンネルの幅を設定することで、通信速度が改善することがあります。

❹ ▲▼で「チャンネル幅」を選び、決定を押す

❺ ▲▼でチャンネル幅の数値を選び、決定を押す

- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

チャンネル幅について

チャンネル幅の数値を大きく設定すると、他の機器との電波干渉がない場合は、通信速度が速くなります。電波干渉がある場合は、混信によりかえって通信速度が遅くなることがあります。

無線LAN(Wi-Fi)の詳細設定

❸ ▲▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

無線周波数出力の設定(セキュリティ)

出力を低くすると、通信可能距離が短くなりますが、無線LAN(Wi-Fi)を近距離でしか使えなくなるので、不正に無線LAN(Wi-Fi)を使われる可能性が低くなります。

❹ ▲▼で「無線周波数出力」を選び、決定を押す

❺ ▲▼で出力の数値を選び、決定を押す

- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

Wi-Fi接続している機器の数を調べる

現在本機に無線LAN(Wi-Fi)で接続している機器の数を表示します。

- 接続している機器の数は、「Wi-Fi接続している機器数の表示」の下に表示されています。

接続中のクライアントを調べる

現在本機に無線LAN(Wi-Fi)で接続中のクライアントを表示します。

- 接続中のクライアントは、「接続中のクライアント」の下に表示されています。

次ページにつづく▶▶▶

ネットワーク関連設定

以下は、94ページ手順❶で「ネットワーク」画面を表示させてから行ってください。

SSIDの詳細設定

(❷ ▲▼で「Wi-Fiアクセスポイント」を選び、決定を押す)

❸ ▲▼で「SSID1」「SSID2」「SSID3」を選び、決定を押す

SSIDとは
無線LANアクセスポイントを識別するためのグループ名です。実際の名称は、ESSIDを使用します。本機ではSSID1、SSID2、SSID3の3つのSSIDがあり、SSID1と2は、2.4 GHzの無線周波数帯を、SSID3は5 GHzの無線周波数帯を使用します。
SSID1、3はパソコンなどの機器用、SSID2はゲーム機用と、分けて使うことができます。

ESSIDの設定

ESSIDとは、SSIDの名称の役割を果たします。半角英数の任意の文字列を設定することができます。
※セキュリティ上、12文字以上で設定することをおすすめします。(最大32文字)

❹ ▲▼で「ESSID」を選び、決定を押す

❺ 文字を入力し、▶で「OK」を選び、決定を押す

- 文字を入力する(☞ 36ページ)
- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

BSSIDの確認

BSSIDとは、無線LAN(Wi-Fi)上での本機の名称です。変更はできません。
※SSIDごとに設定されています。別のルーターとの接続時に必要なことがあります。

- BSSIDは、「BSSID表示」の項目の下に表示されています。

動作モードの設定

動作モードでは、無線LAN(Wi-Fi)の通信規格を設定します。通信周波数に2.4 GHz帯を使うSSID1、2と、5 GHz帯を使うSSID3では設定内容が違います。

❹ ▲▼で「動作モード」を選び、決定を押す

❺ ▲▼で項目を選択し、決定を押す

- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

伝送速度の確認

通信の速度を確認できます。変更はできません。

暗号化方式の設定

暗号化方式を設定します。接続機器に合わせて設定してください。
※暗号化方式が違っていると、機器が接続できません。

❹ ▲▼で「暗号化方式」を選び、決定を押す

❺ ▲▼で項目を選択し、決定を押す

- 設定内容は、SSIDによって異なることがあります。
- SSID1、3の暗号化方式が「なし」、「WPA2-AES」、「WPAMixed-TKIP-AES」、「WPAMixed-AES-AES」のときのみ、WPS機能が使用できます。
- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

パスフレーズの設定(セキュリティ)

パスフレーズとは暗号化キーの一種です。
※接続する機器によっては「暗号化キー」と表示されている場合があります。

❹ ▲▼で「パスフレーズ」を選び、決定を押す

❺ 文字を入力し、▶で「OK」を選び、決定を押す

- 文字を入力する(☞ 36ページ)
- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

- 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
- 設定中、ホームでホーム画面に戻ります。

Any接続の設定(セキュリティ)

機器を接続する際、Any接続を行うかどうか、設定します。

❹ ▲▼で「Any接続可否」を選び、決定を押す

- 決定を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。
- 「無効」に設定すると、接続機器からアクセスポイントを検索したときに、本機を隠すことができます。
- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

Any接続とは
接続機器のESSIDを「Any」または空白に設定すると、通信可能なアクセスポイントのうち、最も電波状態が良いアクセスポイントに接続する機能のことです。
アクセスポイントのSSIDがわからなくても接続できるため、フリースポットなどで利用されています。
ただし、誰でも接続できるため、セキュリティ上では問題が起こりやすくなります。

隔離機能の設定(セキュリティ)

接続した機器を、他のSSIDに接続した機器から見られないようにする機能です。
例:SSID3の「隔離機能」を「有効」にすると、SSID1に接続したパソコンから、SSID3に接続した機器が検索できなくなります。

❹ ▲▼で「隔離機能」を選び、決定を押す

- 決定を押すごとに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

プライバシーセパレーター機能の設定(セキュリティ)

同じSSIDに接続した機器間の通信を禁止する機能です。
例:SSID3の「プライバシーセパレーター機能」を「有効」にすると、SSID3に接続したパソコンから、同じSSID3に接続した機器が検索できなくなります。

❹ ▲▼で「プライバシーセパレーター機能」を選び、決定を押す

- 決定を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

MACアドレスフィルタの設定

❸ ▲▼で「MACアドレスフィルタ」を選び、決定を押す

MACアドレスとは
Media Access Control の略で、本機に割り振られた固有のアドレスです。このMACアドレスを元にして、データを送受信する相手を識別します。

通信許可フィルタの設定(セキュリティ)

MACアドレスフィルタ機能を有効にするかどうかを設定します。

❹ ▲▼で「通信許可フィルタ機能」を選び、決定を押す

❺ ▶で「OK」を選び、決定を押す

- 決定を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。
- 設定を行った後、「通信を許可するMACアドレスを追加」で、接続機器のMACアドレスを入力してください。

通信を許可するMACアドレスの設定(セキュリティ)

この項目で入力したMACアドレスを持つ接続機器でのみ、本機と通信できるようになります。

❹ ▲▼で「通信を許可するMACアドレスを追加」を選び、決定を押す

❺ ▲▼で「MACアドレス」を選び、決定を押す

❻ MACアドレスを入力し、▶で「OK」を選び、決定を押す

- 文字を入力する(☞ 36ページ)
- 登録済みのMACアドレスは、「登録済み通信許可MACアドレス」の項目の下に表示されています。

次ページにつづく▶▶▶

ネットワーク関連設定

以下は、94ページ手順❶で「ネットワーク」画面を表示させてから行ってください。

WPSの設定

（❷ ▲▼で「Wi-Fiアクセスポイント」を選び、決定を押す）

❸ ▲▼で「WPS」を選び、決定を押す

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）とは
無線LAN機器間の暗号化設定をかんたんに行えるようにするための規格です。プッシュボタン方式とPINコード方式があり、本機は両方の方式に対応しています。

WPS方式の設定

WPS機能を使うかどうかの設定をします。

❹ ▲▼で「2.4GHz WPS機能」「5GHz WPS機能」を選び、決定を押す
- 決定を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を行うと有効になります。（☞ 95ページ）

プッシュボタンでの設定

❹ ▲▼で「プッシュボタン方式」を選び、決定を押す
- 本機がWPSの登録モードに切り換わります。（本機側面（左扉内）の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを押したときと同じ状態です。）

❺ 接続する機器のプッシュボタンを押す
- 接続機器のプッシュボタンについては、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 登録が終了すると、画面に表示が出ます。

PINコードでの設定

❹ ▲▼で「PINコード方式」を選び、決定を押す

❺ 接続する機器のPINコードを入力し、▶で「OK」を選び、決定を押す
- 接続機器のPINコードについては、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 文字入力について（☞ 36ページ）
- WPS設定が終了すると、本体正面のネットランプ（NET）が橙色点滅から元の状態に戻ります。

クライアントの設定

無線LAN（Wi-Fi）の動作モードを「クライアント」に設定（☞ 96ページ）している場合に設定できます。
「クライアント」に設定しているときは、本機を他のアクセスポイントへ接続します。

❷ ▲▼で「Wi-Fiクライアント」を選び、決定を押す
- 接続可能なネットワークを探して表示します。

Wi-Fi簡単登録

❸ ▲▼で「WPS」を選び、決定を押す

プッシュボタンでの登録

❹ ▲▼で「プッシュボタン方式」を選び、決定を押す
- 本機がWPSの登録モードに切り換わります。（本機側面（左扉内）の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを押したときと同じ状態です。）

❺ 接続したいアクセスポイントのプッシュボタンを押す
- アクセスポイントのプッシュボタンについては、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 登録が終了すると、画面に表示が出ます。

PINコードでの登録

❹ ▲▼で「PINコード方式」を選び、決定を押す

❺ ▶で「OK」を選び、決定を押す

❻ 表示されているPINコードを接続したいアクセスポイントに入力する
- 接続機器へのPINコードの入力については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 文字入力について（☞ 36ページ）
- WPS設定が終了すると、本体正面のネットランプ（NET）が橙色点滅から元の状態に戻ります。

- 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
- 設定中、ホームでホーム画面に戻ります。

ネットワークを追加する

❸ ▲▼で「ネットワーク追加」を選び、決定を押す
- 接続するアクセスポイントのSSID、暗号化方式、パスフレーズを入力してください。入力内容がアクセスポイントと違う場合は、接続できません。

※「パスフレーズ」は、機器によっては「暗号化キー」と表示されていることがあります。

接続可能なネットワークに接続する

「接続可能なネットワーク表示」の下には、本機でスキャンすることができた無線LAN（Wi-Fi）のネットワークが表示されています。

❸ ▲▼で接続したいネットワークを選び、決定を押す

鍵のマークがついているネットワークは、セキュリティがかかっているネットワークです。

電波の強度を表示します
（大きくなるほど電波の強度が強いことを示します）

❹ パスワードを入力し、▶で「接続」を選び、決定を押す
- 入力するパスワードについては、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。（ネットワークに設定されている暗号化方式によって、入力するパスワードが異なりますので、ご注意ください。）

ルータの設定を確認する

ルータ機能の設定内容が表示されます。

❷ ▲▼で「ルータ」を選び、決定を押す

ネットワーク機能を初期化する

ネットワーク関連の設定を工場出荷時の状態に戻します。

❷ ▲▼で「ネットワーク機能初期化」を選び、決定を押す

❸ ◀▶で「OK」を選び、決定を押す

ネットワーク機能を再起動する

ネットワーク機能を再起動します。
ネットワークの設定内容は、そのまま保持されます。

❷ ▲▼で「ネットワーク機能再起動」を選び、決定を押す

❸ ◀▶で「OK」を選び、決定を押す

プロキシを設定する

❷ ▲▼で「プロキシ設定」を選び、決定を押す
- 暗証番号を設定している場合は、暗証番号の入力が必要です。
- 各項目は、申し込み後に送られてくる内容に従って入力してください。
- 「プロキシ機能」は「有効」の状態でお使いください。（「有効」になっているときは、「プロキシ機能」の右側に☑マークが表示されています。）
- 設定後は必ず一度電源を「切」にしてから、再度電源を「入」にしてください。

ネットワーク関連設定

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

ホームネットワーク(DLNA)機能を使用するための設定です。
● 設定について不明な点がございましたら、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 10ページ)

1 14ページ「本体設定」手順 4 で「放送・システム」を選び、[決定]を押す

2 「放送・システム」を選び、[決定]を押す

3 ▲▼で「ネットワーク関連設定」を選び、[決定]を押す

ネットワーク関連設定	説明頁
ホームネットワーク（DLNA）設定	下記
宅外リモート接続設定	104
ケーブルモデム設定	105
テレビ用ブラウザ設定	106

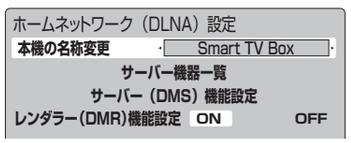
● 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

ホームネットワーク(DLNA)設定

ネットワーク接続されたDLNA対応機器の録画番組を見るための設定や、サーバー機能の設定を行います。

4 ▲▼で「ホームネットワーク(DLNA)設定」を選び、[決定]を押す

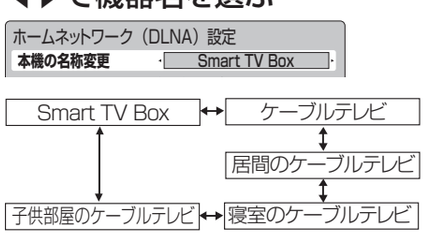
● ホームネットワーク(DLNA)設定画面が表示されます。



本機の名称変更

本機がサーバーとして動作する場合の機器名を変えることができます。

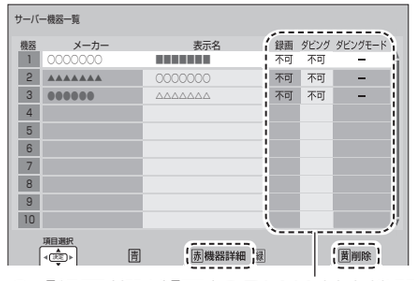
5 ▼▲で「本機の名称変更」を選び、◀▶で機器名を選ぶ



サーバー機器一覧

ネットワークに接続されているDLNA対応機器(サーバー)の一覧が表示されます。
ご使用の機器がLAN録画、ダビングに対応しているか確認できます。

5 ▼▲で「サーバー機器一覧」を選び、[決定]を押す



● 「録画」欄が「可」のDLNA対応機器にLAN録画が可能です。
● 「ダビング」欄が「可」のDLNA対応機器にダビングが可能です。
● 「ダビングモード」欄
機器により選択できるダビングモードが異なります。(ダビングモードを切り換える ☞ 103ページ)
・「ーー」：ダビングが「不可」な機器
・「そのまま」：通常のダビングに対応した機器
・「サイズ優先」：番組持ち出しに対応したモバイル機器
(サイズ優先でダビング)
・「画質優先」：番組持ち出しに対応したモバイル機器
(画質優先でダビング)

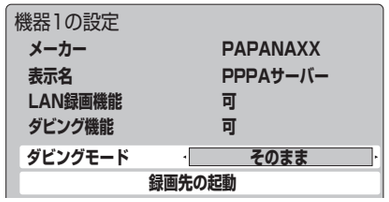
■登録を解除する
▲▼でサーバー機器を選び、[黄]を押す
● ◀▶で「はい」を選ぶ

お知らせ
● 「画質優先」「サイズ優先」でのダビングでは、以下のようになります。
・ダビングには番組とほぼ同じ時間がかかる場合があります。
・字幕データは引き継がれません。
・音声は主音声のみになります。
● モバイル機器によっては、「画質優先」と「サイズ優先」でダビングした番組のサイズと画質が共に同じになる場合があります。

サーバー機器の設定

102ページ手順5のとき

▲▼でサーバー機器を選び、[決定]を押す
・メーカー／表示名／LAN録画機能の可否／ダビング機能の可否／ダビングモード／録画先の起動が表示されます。



■ダビングモードを切り換える
▲▼で「ダビングモード」を選び、◀▶で選択してください。
● 機器により設定できない場合があります。

■サーバー機器を起動する
▲▼で「録画先の起動」を選び、[決定]を押す
※サーバー機器により、起動できない場合があります。その場合は、直接起動させてください。

サーバー機器の詳細情報

サーバー機器の詳細情報を確認できます。
102ページ手順5のとき

▲▼でサーバー機器を選び、[赤]を押す

サーバー(DMS)機能設定

同じホームネットワークに接続されたDLNA対応機器で、本機で受信した番組や本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を見ることができます。

5 ▼▲で「サーバー(DMS)機能設定」を選び、[決定]を押す

サーバー機能を「ON」にする

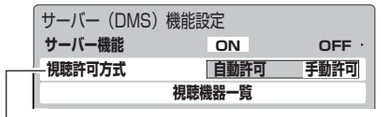
6 ▼▲で「サーバー機能」を選び、◀▶で「ON」を選ぶ



● 「サーバー機能」を「ON」にすると、クイックスタート(☞ 88ページ)の設定が「ON」になります。
待機時消費電力は最小になりません。

視聴機器の許可方法を設定する／視聴機器一覧

6 ▼▲で「接続許可方法」を選び、◀▶で「自動許可」「手動許可」を選ぶ



自動許可 視聴機器が接続されたらすべて「許可」されます。

手動許可
①▼▲で「視聴機器一覧」を選び、[決定]を押す
②▼▲で許可したい視聴機器を選び、[決定]を押す

接続が「許可」されます。

● 接続機器の機器名が表示されない場合があります。お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。
● 「視聴機器一覧」では、20件までの視聴機器(MACアドレス)が一覧表示されます。

レンダラー(DMR)機能設定

レンダラー(DMR)機能を設定します。

5 ▼▲で「レンダラー(DMR)機能設定」を選び、◀▶で設定する

ネットワーク関連設定

以下は、102ページ手順❶～❸で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

宅外リモート接続設定

宅外の機器から本機の録画予約などを操作できる機能です。
宅外リモート接続機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

❹ ▲▼で「宅外リモート接続設定」を選び、決定を押す

●宅外リモート接続設定画面が表示されます。

❺ ▲▼で「リモート接続機能」を選び、決定を押し、「ON」または「OFF」を選ぶ

●宅外リモート接続を使用する場合は「ON」を選んでください。



■ネットワークからの番組消去
ネットワークから録画コンテンツを削除する機能のON／OFFを切り換えます。

ON	有効にします
OFF	無効にします

■機器パスワード初期化
リモート接続する場合のパスワード（4桁の数値）を初期化できます。
①▲▼で「機器パスワード初期化」を選び、決定を押す。
②「する」を選び、決定を押す。

■接続状態
宅外リモート接続の接続状態を表示します。
※接続できない場合は、ネットワークの設定を確認してください。
（☞ 94～101ページ）

宅外リモート接続機能のご利用について

個人情報の取り扱いについて
本機の機能およびサービスを提供するため、機器ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために
●機器パスワードは
・他人に見られたり、教えたりしないでください。
・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し（☞ 左記）、再設定してください。
・機器を返却する場合は、機器パスワードを初期化してください。
●当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
●スマートフォンなどのモバイル機器を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。

対応サービスについて
サービスは対応サービス提供者が提供します。
●現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
●宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
●定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

●機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
●当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
●本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
●ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、外付けのルーターをご使用の場合、設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

●操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
●操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

※ご加入のケーブルテレビ局やプロバイダーからの指定があった場合のみ、必要に応じて設定してください。

以下は、102ページ手順❶～❸で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

ケーブルモデム設定

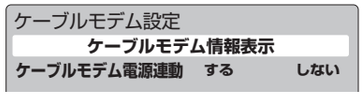
❹ ▲▼で「ケーブルモデム設定」を選び、決定を押す

ケーブルモデムとは
CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

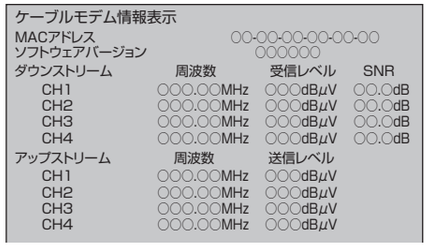
ケーブルモデムの情報を確認する

内蔵のケーブルモデム情報を確認することができます。

❺ ▲▼で「ケーブルモデム情報表示」を選び、決定を押す



❻ ケーブルモデム情報を確認する



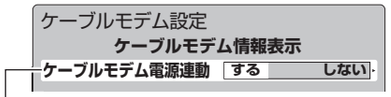
●ケーブルモデムを使用しない設定の場合、「ケーブルモデム情報」は表示しません。

ケーブルモデムの電源を連動する

本機と内蔵ケーブルモデムの電源「入」「切」を連動させるかどうかの設定を行います。

❺ ▲▼で「ケーブルモデム電源連動」を選ぶ

❻ ◀▶で「する」「しない」を選び、決定を押す



する	本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムも電源「切」
しない	本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムは電源「入」

お知らせ
●ケーブルモデム電源連動設定は、変更できない場合があります。
変更される場合はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
●クイックスタート（☞ 88ページ）を「ON」に設定すると、ケーブルモデムの電源設定にかかわらず、ケーブルモデムの電源は、常時「する」になります。
●ケーブルモデム電源連動を「しない」に設定すると消費電力は増えますが、電源「入」時にネット接続開始までの時間が短くなります。
●Wi-Fi機器ご使用の場合、「ケーブルモデム電源連動」を「する」に設定すると、本体電源「切」時にインターネットに接続できなくなるので、「しない」に設定することを推奨します。

ネットワーク関連設定

※ご加入のケーブルテレビ局やプロバイダーからの指定があった場合のみ、必要に応じて設定してください。

以下は、102ページ手順❶～❸で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

テレビ用ブラウザ設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。

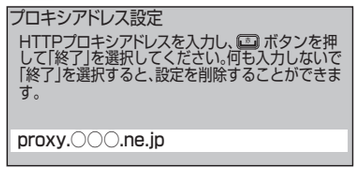
- **プロキシアドレス**
  ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。
  ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。
  (例:proxy.○○○.ne.jp)
- **プロキシポート番号**
  プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。
  (例:8000)

❹ ▲▼で「テレビ用ブラウザ設定」を選び、決定を押す

❺ ▲▼で「プロキシアドレス」を選び、決定を押す

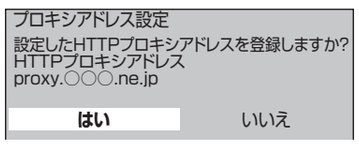


❻ プロキシアドレスを入力し、赤を押す

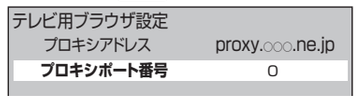


●文字の入力方法(☞ 36ページ)

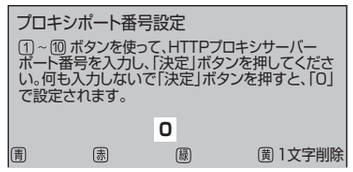
❼ ◀で「はい」を選び、決定を押す



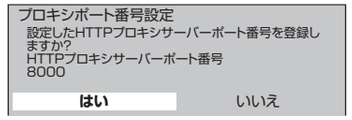
❽ ▲▼で「プロキシポート番号」を選び、決定を押す



❾ 1～10でポート番号を入力し、決定を押す



❿ ◀で「はい」を選び、決定を押す



新しい情報のダウンロード方法を選ぶ

ご加入のケーブルテレビ局から送られる新しい情報のダウンロード方法を選ぶことができます。

ダウンロードについて
ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

ダウンロード予約する

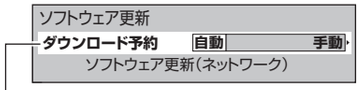
❶ 14ページ「本体設定」手順❹で「放送・システム」を選び、決定を押す

●本体設定メニューの「ソフトウェア更新設定」からでも表示することができます。(☞ 15、114ページ)

❷ 「放送・システム」を選び、決定を押す

❸ ▲▼で「ソフトウェア更新」を選び、決定を押す

❹ ▲▼で「ダウンロード予約」を選び、◀▶で「自動」か「手動」を選ぶ



自動 通常は「自動」をおすすめします。
情報が届いた場合、電源「切」時に自動的にダウンロードを実行します。

手動 情報が届いた場合は、メールでお知らせします。
メールを確認し、「ダウンロード予約」を「する」か「しない」を選びます。
(放送メール ☞ 76ページ)

ネットワークを利用してソフトウェアを更新する

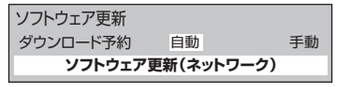
❶ 14ページ「本体設定」手順❹で「放送・システム」を選び、決定を押す

●本体設定メニューの「ソフトウェア更新設定」からでも表示することができます。(☞ 15、114ページ)

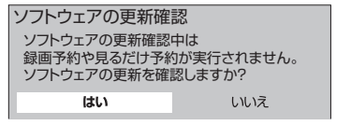
❷ 「放送・システム」を選び、決定を押す

❸ ▲▼で「ソフトウェア更新」を選び、決定を押す

❹ ▲▼で「ソフトウェア更新(ネットワーク)」を選び、決定を押す



❺ ◀で「はい」を選び、決定を押す



●本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、ご利用できない場合があります。
- 更新中は他の動作はできません。
  また、故障の原因となるので、以下の動作は行わないでください。
  ・本機の電源を切る
  ・ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く
- 情報が届いた場合は、「通知」機能(☞ 18ページ)でお知らせします。

個人情報リセット

● 操作中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、[ホーム]でホーム画面に戻ります。

個人情報をリセットする

本機をご加入のケーブルテレビ局へ返却するときなどに個人情報を消去します。

ケーブルテレビ局へ返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

1 14ページ「本体設定」手順 4 で「放送・システム」を選び、[決定]を押す

●本体設定メニューの「バックアップとリセット」の「設定リセット」からでも表示することができます。
（☞ 15、114ページ）

2 「放送・システム」を選び、[決定]を押す

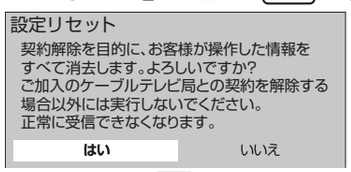
3 ▲▼で「設定リセット」を選び、[決定]を押す

4 「設定リセット」で[決定]を3秒以上押す

5 [1あ]～[10*#記号]を押し、4桁の暗証番号を入力する

●暗証番号入力画面が表示されます。
（☞ 74ページ）

6 ◀で「はい」を選び、[決定]を押す



「初期化中です。しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されます。

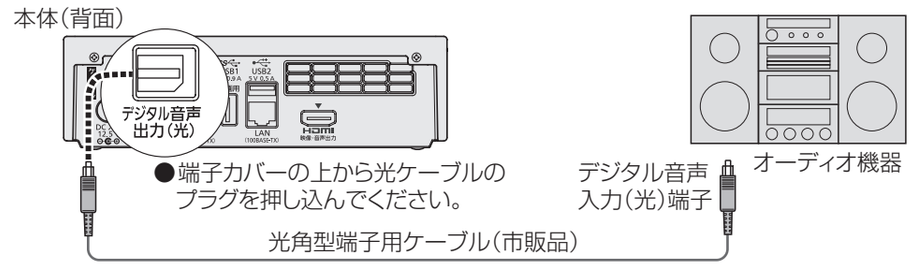
自動で再起動します。
（ホーム画面が表示されます。）

お知らせ

●本機に記録されているお客様に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が、すべて削除されます。
●双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作（退会手続きなど）を行ってください。

オーディオ機器の接続と設定

AACやドルビーデジタル対応のオーディオ機器を接続したときは、以下の設定を行ってください。



■接続できるオーディオ機器

●デジタル音声入力（光）端子を持ち、PCMまたはAAC※1、ドルビーデジタル※2対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。
●オーディオ機器の取扱説明書も、よくお読みください。

1 14ページ「本体設定」手順 4 で「放送・システム」を選び、[決定]を押す

2 「放送・システム」を選び、[決定]を押す

3 ▲▼で「接続機器設定」を選び、[決定]を押す

4 ▲▼で「デジタル音声出力」を選び、◀▶で設定する



PCM	オーディオ機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」に対応していないとき（工場出荷時）
Bitstream	AACの番組のときは、「AAC」出力、ドルビーデジタルの番組のときは、「ドルビーデジタル」出力、それ以外は、「PCM」出力
自動	サラウンド・ステレオ（5.1ch）番組のときのみ自動的に「AAC」や「ドルビーデジタル」出力に切り換える

お知らせ

●「Bitstream」にすると、字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力（光）端子から出力されません。これらの効果音も出力したい場合は、「PCM」にするか、映像・音声出力端子をご使用ください。
●「AAC」や「ドルビーデジタル」対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
●HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」対応の場合は、HDMI音声出力はデジタル音声出力で設定した音声方式で出力されます。HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」非対応の場合は、HDMI音声出力は「PCM」で出力されます。

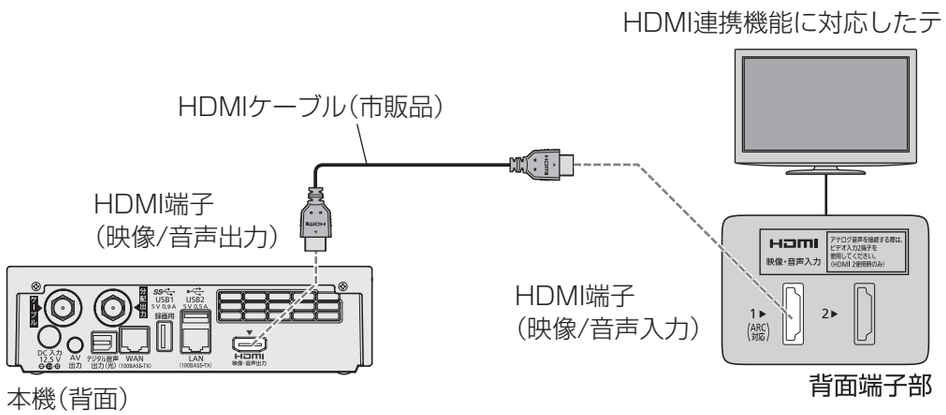
※1 AACとは、音声圧縮方法の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語再生を行うこともできます。

※2 ドルビーデジタルとは、映画やコンサート会場の臨場感をご家庭でお楽しみいただけるデジタル音声規格のひとつです。

HDMI連携機能を使う

HDMI連携機能に対応したテレビをHDMI経由で接続すると、テレビに連動して本機の電源「入」「切」などの操作を行うことができます。

本機とテレビを連動させる



本機とテレビを連動させるには

本機側の設定を行う（☞ 下記、111ページ）

↓

テレビ側の設定を行う

テレビ側の設定操作については、テレビの取扱説明書をご参照ください。

●「HDMI機器制御」（☞ 下記）を「ON」にして、テレビ側の設定を行ってください。
メーカーによって動作しない場合があります。

本機の設定

テレビと連動するための設定を行います。

1 14ページ「本体設定」手順 4 で「放送・システム」を選び、決定を押す

2 「放送・システム」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「接続機器設定」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「HDMI設定」を選び、決定を押す

5 ▼▲で「HDMI機器制御」を選び、◀で「ON」を選ぶ

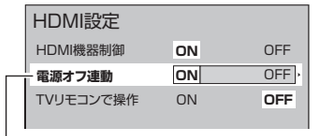


● 操作中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
● 操作中、ホームでホーム画面に戻ります。

テレビの電源と連動する

HDMI連携機能に対応したテレビをHDMI経由で接続すると、本機とテレビの電源操作を連動させることができます。
●テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。

6 ▼▲で「電源オフ連動」を選び、◀で「ON」を選ぶ



「HDMI機器制御」の項目を「ON」に設定している場合に設定できます。

ON	本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
OFF	電源オフ連動を無効にする

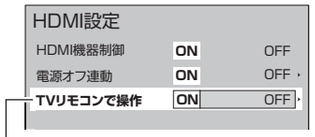
お知らせ

●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

テレビのリモコンで本機を操作する

HDMI連携機能に対応したテレビをHDMI経由で接続すると、テレビのリモコンで本機を操作することができます。
●テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。
●操作方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

6 ▼▲で「TVリモコンで操作」を選び、◀で「ON」を選ぶ



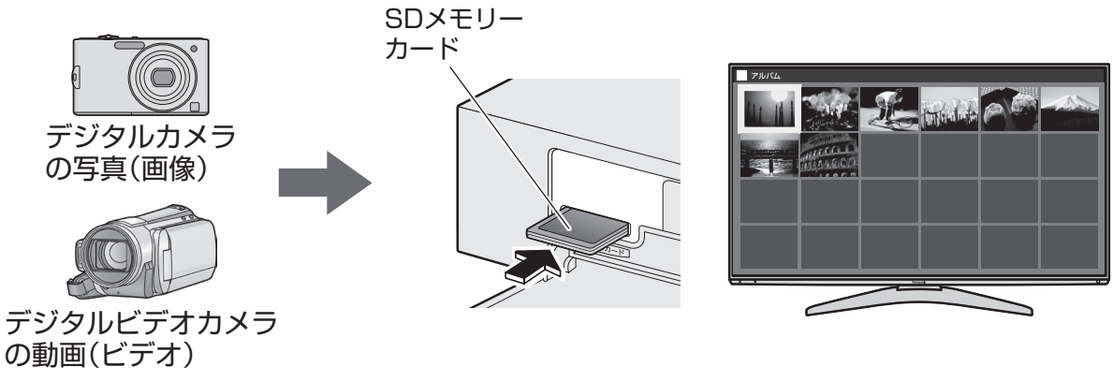
「HDMI機器制御」の項目を「ON」に設定している場合に設定できます。

ON	テレビのリモコンで本機の操作を可能にする
OFF	テレビのリモコンでの操作を無効にする

SDメモリーカード

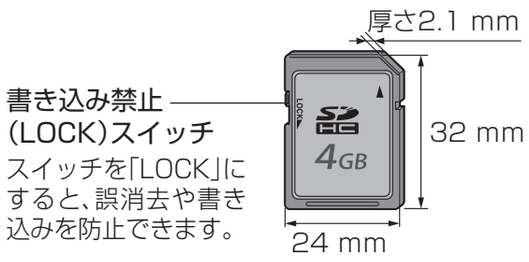
デジタルカメラで撮影した写真(画像)や、デジタルビデオカメラで撮影した動画(ビデオ)を、テレビ画面で見ることができます。
アプリケーションで写真・動画・文書・音楽ファイルなどを保存することができます。
●本機には、SDHCメモリーカード 4 GBが付属しています。

SDメモリーカードの操作はお持ちのアプリケーションで行ってください。
※アプリケーションによっては、SDメモリーカードにアプリケーションのデータが保存されている場合があります。その場合、SDメモリーカードを入れ換えると、アプリケーションがご利用できなくなることがあります。ご使用のアプリケーションの取扱説明書をご確認ください。



SDメモリーカードについて

切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーカードです。メモリー容量によりSDメモリーカード、SDHCメモリーカードの2種類があります。



●規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

SDメモリーカードの種類

●本機では、FAT16またはFAT32フォーマットされたSDメモリーカード、SDHCメモリーカードが使用できます。

種類	メモリー容量
SDメモリーカード	(8 MB～2 GB)
SDHCメモリーカード	(4 GB～32 GB)

●一部のSDメモリーカードで使用できない場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

■SDメモリーカードを廃棄・譲渡するとき

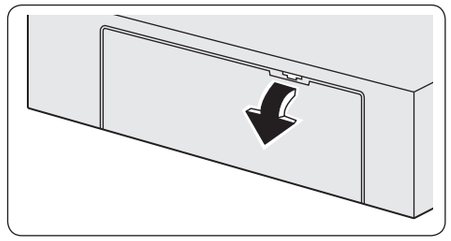
●パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
●メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
●メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDメモリーカードの出し入れ

お願い
●SDメモリーカードの読み取り中、書き込み中、再生中、保存中、データの移動やコピーしているときに、SDメモリーカードを取り外さないでください。SDメモリーカードに記録したデータが壊れたり消失する場合があります。
●miniSD™カードまたはmicroSD™カードを直接差し込まないでください。必ず、アダプターを装着してご使用ください。
●miniSD™カードまたはmicroSD™カードを使用の場合はアダプターごと出し入れしてください。SDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

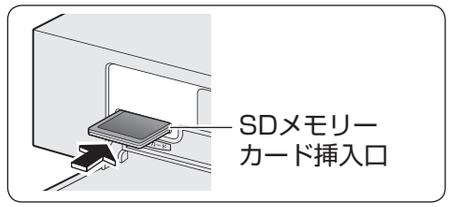
扉の開けかた

本体側面(左)の扉の上部を引いて開ける
●縦置きスタンドで設置している場合は、倒れないようにご注意ください。



入れかた

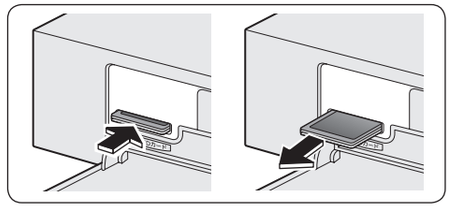
SDメモリーカードの表面(ラベル面)を上にしてまっすぐ奥まで差し込む
●SDメモリーカードを挿入しても認識しない場合は、SDメモリーカードをマウントしてください。(☞ 下記)



取り出しかた

SDメモリーカードを取り出す場合はSDメモリーカードをマウント解除してください。
●SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときはマウント解除できません。

1 SDメモリーカードをマウント解除する(☞ 下記)
2 カード中央部を押して、カードが少し出てきたら、両端を持って、ゆっくりと引き出す



SDメモリーカードをマウント／マウント解除する

① 14ページ「本体設定」手順 4 で「メモリー容量管理」を選び、決定を押す

マウント
② ▲▼で「SDカードのマウント」を選び、決定を押す

マウント解除
② ▲▼で「SDカードのマウント解除」を選び、決定を押す
③ ▶で「OK」を選び、決定を押す

本体設定メニュー

本体設定メニューの表示(☞ 14、15ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、設定内容・表示が異なる場合があります。

設定項目	設定内容
放送・システム	
放送・システム	**CATV機器としての基本的な設定メニューを表示(☞ 115ページ)**
無線とネットワーク	
ネットワーク	LAN Wi-Fi 動作モード Wi-Fi アクセスポイント※ Wi-Fi クライアント※ ルータ ネットワーク機能初期化 ネットワーク機能再起動 プロキシ設定
端末	
メモリー 容量管理	SDカード 　合計容量 　アプリケーション 　画像、動画 　音声(音楽、着信音、ポッドキャストなど) 　ダウンロード 　その他 　空き容量 　SDカードのマウント 　SDカードのマウント解除 　SDカード内データを消去 USBストレージ 　合計容量 　画像、動画 　音声(音楽、着信音、ポッドキャストなど) 　ダウンロード 　その他 　空き容量 　USBストレージのマウント 　USBストレージのマウント解除 　USBストレージ内データを消去
アプリ	ダウンロード済み/SDカード上/実行中/すべて
ユーザー設定	
アカウントと同期	アカウントと同期 (登録したアカウント)
ID設定	
位置情報サービス	位置情報サービス 位置情報設定 位置情報とGoogle検索
セキュリティ	パレンタル設定 パスワード 　パスワードを表示する 端末管理 　端末管理者 　提供元不明のアプリ 認証情報ストレージ 　信頼できる認証情報 　SD カードからインストール 　認証ストレージの消去
言語と入力	ユーザー辞書 キーボードと入力方法 　デフォルト 　Japanese IME マウス / トラックパッド 　ポインタの速度
バックアップとリセット	バックアップと復元 　データのバックアップ 　バックアップアカウント 　自動復元 　設定リセット
ソフトウェア更新設定	
システム	
日付と時刻	24時間表示 日付形式
アプリの音	音量 デフォルトの通知音
ディスプレイ	壁紙 フォントサイズ 光を点滅させて通知
ユーザー補助	サービス システム 　大きい文字サイズ 　押し続ける時間
開発者向けオプション	
機器情報	機器の状態 　Wi-Fi アクセスポイント 　Wi-Fi クライアント 　WAN 設定情報 　LAN 設定情報 　シリアル番号 　稼働時間 法的情報 　オープンソースライセンス 　利用規約 モデル番号 Android バージョン カーネルバージョン ビルド番号

※「Wi-Fi 動作モード」で設定したどちらか一方が表示されます。

操作一覧	設定項目	詳細設定項目	ページ
放送・システム 放送・システム システム設定 設置設定 ネットワーク関連設定 接続機器設定 ソフトウェア更新 設定リセット 情報表示	システム設定	字幕設定	72
		制限項目設定	74
		録画・視聴設定	73
		選局対象	72
		選局入力方式	73
		チャンネルアップダウン	72
		二重音声設定	72
		タイトル表示	73
		HDオプティマイザー	73
		履歴情報のアップロード	73
	設置設定	チャンネル設定	85
		番組表設定	87
		地域設定	88
		クイックスタート	88
		スタート画面	88
		無操作自動オフ	88
		リモコンモード	91
		接続テレビ設定	89
		緊急警報放送受信設定	92
		録画モード	92
		録画機器設定	93
	ネットワーク関連設定	ホームネットワーク(DLNA)設定	102
		宅外リモート接続設定	104
		ケーブルモデム設定	105
		テレビ用ブラウザ設定	106
	接続機器設定	HDMI設定	110
		USB HDD機器一覧	42
		デジタル音声出力	109
	ソフトウェア更新	ダウンロード予約	107
		ソフトウェア更新(ネットワーク)	107
	設定リセット	設定リセット	108
	情報表示	放送メール	76
		購入記録	76
		購入記録送信結果	76
		ICカード	77
		ステータス表示	77
		ボード	77
		ダビング履歴	77

お知らせ
●詳細については該当のページをご覧ください。
●メニュー操作で設定画面を表示させたとき、設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

アイコン一覧

●本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

	画　像	意　味
予約一覧画面 （☞52ページ）		視聴予約
		録画予約
		探して毎回予約（自動設定）
		探して毎回予約（手動設定）
		条件指定予約（自動予約）
		予約重複
録画済一覧画面 （☞54ページ）		録画実行中
		録画番組未視聴
		録画番組・ダビング待ち
		録画番組・録画モード変更待ち
		録画番組・保護（削除不可）
		条件指定予約（自動予約）で録画した番組
		グループフォルダ
その他		USBハードディスク
		DLNA対応機器
		イメージ画像なし（番組サムネイル）
		イメージ画像なし（人物サムネイル）

インターネット有害サイト閲覧を制限するには

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、有害サイトフィルタリングサービス（有料）にご加入いただくと、インターネットの有害サイトを閲覧できないように制限をかけることができます。

1 ホーム画面で▼を押す
●アプリケーション画面が表示されます。

2 ◀▶で「APPLICATION（アプリ）」を選ぶ

3 ▲▼◀▶で有害サイトフィルタリング「i-フィルター」を選び、決定を押す
●有害サイトフィルタリングサービスのお申込みWEBサイトへ接続します。

4 有害サイトフィルタリングサービスのお申し込みWEBサイトへ接続したら、画面の案内に従って操作する
●サービスをご利用になるにはお申し込みが必要です。サイトに接続後にサービス内容をご確認の上、画面の案内に従ってお申し込みください。
●本サービスは有料サービスです。ご利用料金はサイト内の案内をご確認ください。

5 お申し込み完了後、申し込み完了メールの案内に従ってSmart TV Boxで設定を実行する
●お申し込み時にご登録されたアドレスに、申し込み完了メールが届きます。

6 APPLICATION（アプリ）画面でアプリを消去（アイコンを消去）した後で、申し込みまたはサービス変更を行いたい場合はブラウザで以下のサイトに接続し、画面に従って操作を行ってください。
サービス提供元：デジタルアーツ（株）
ＵＲＬ：http://sv.ifuser.jp/ce/?device=adsb

お知らせ
●本サービス加入により、閲覧できないＷＥＢページや、提供を受けられない機能、サービスが発生する場合があります。
●上記の方法の他に、アプリ（アプリケーション）で有害サイトフィルタリングサービスがある場合は、そちらでも有害サイト閲覧を制限できます。そのアプリの利用方法、利用料金をご覧のうえ、ご利用ください。
●各有害サイトフィルタリングサービスには、ご留意事項があります。
サービス説明を必ずご確認ください。

USBハードディスク/ハブ動作確認一覧（推奨品）

■ USBハードディスク

メーカー	商　品
株式会社バッファロー	外付けUSBハードディスク　HD-LSU2シリーズ
	外付けUSBハードディスク　HD-ALSU2/Vシリーズ
	外付けUSBハードディスク　HD-AVSU2/Vシリーズ
	外付けUSBハードディスク　HD-LBU3シリーズ
	外付けUSBハードディスク　HD-LCU3シリーズ
	外付けUSBハードディスク　HD-AVSU3シリーズ
株式会社アイ・オー・データ機器	外付けUSBハードディスク　AVHD-URシリーズ
	外付けUSBハードディスク　HDCA-Uシリーズ
	外付けUSBハードディスク　AVHD-AUシリーズ
	外付けUSBハードディスク　HDCL-UTシリーズ
	外付けUSBハードディスク　AVHD-ACシリーズ

（2014年3月現在）

■ USBハブ

メーカー	商　品
株式会社バッファロー	USBハブ　BSH4A01シリーズ
	USBハブ　BSH4A04U3シリーズ
	USBハブ　BSH4A03U3シリーズ

（2014年3月現在）

※上記の記載機種は当社で録画/再生動作の確認を行ったものです。動作を保証するものではありません。
※USBハードディスクを本機に接続して録画用として登録すると、本機専用のハードディスクとしてフォーマット(初期化)します。それまでUSBハードディスク内に保存していたデータはすべて消去されます。
※本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でのみ再生できます。
※USBハードディスクはセルフパワー(ACアダプター使用)で動作します。
バスパワー(ACアダプターなし)では動作しません。
※一度、本機に接続・登録したUSBハードディスクをパソコン用に再利用する場合、専用のフォーマッタが必要となります。株式会社バッファロー、株式会社アイ・オー・データ機器のホームページで、専用のフォーマッタをダウンロードし初期化してください。それまでUSBハードディスク内に保存していたデータはすべて消去されます。
※最新情報は、http://www.kddi.com/personal/service/cable/ をご確認ください。

同時動作と優先動作について

本機は、本機による録画や再生を含む動作を最大3件まで同時に行うことができます。
また、USBハードディスクへの録画や再生中でも、LAN回線に接続した他の録画機器への録画（LAN録画）や録画済の番組のダビング、録画番組の配信（DMS配信）、放送中の番組の配信（DMS配信）を行うことができます。
ただし、同時動作には次の制限があります。
- 本機による録画は、USBハードディスクとLAN回線に接続した録画機器を合わせて、同時に2件まで行えます。（W録画）
- 本機による再生は、本機に接続したテレビとLAN回線に接続したテレビを合わせて、同時に2件まで行えます。
- LAN回線に接続した他の機器への映像の送信は、LAN録画やダビング、DMS配信（録画配信または放送配信）をすべて含めて、同時に1件だけ行えます。

各機能の実行中に他の機能を使用した場合、以下のように動作します。

■ 同時動作対応表

（○：実行できる ／ ×：実行できない）

実行中の動作 ＼ 新たな動作		放送番組の視聴 ※1※2	USBハードディスク			DLNA対応機器 ※3				
			即時録画	録画予約	再生	録画（LAN録画）	再生（DMP、DMR）	ダビング	DMS配信 録画配信	DMS配信 放送配信 ※4
放送番組の視聴中		×	○	○	×	○	○※5	○※6	○	○
USBハードディスク	1番組を録画中	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2番組を録画中	○	×	×	○	×	○	○※7	○※8	○※8
	再生中	×	×	○	×	○	○※9	×	○	○
	1番組を録画中＋再生中	×	×	○	×	○	○※9	×	○	○
	2番組を録画中＋再生中	×	×	×	×	×	○※9	×	○※10	○
DLNA対応機器	録画中（LAN録画）	○	○	○	○	×	○	×	×	×
	再生中（DMP、DMR）	×	×	○	×	○	×	×	○	○
	ダビング中	○	○※11※7	○※11※7	○	○※6	○※12	×	×	×
	DMS配信中 録画配信中	○	○	○	○	○※13	○	○※13	×	×
	DMS配信中 放送※4配信中	○	○	○	○	○※13	○	○※13	×	×

※1 1番組を録画中または2番組同時録画中でも、同時に放送配信を行っていないときは、録画中以外のチャンネルを選局して他の番組を視聴することができます。
※2 2番組同時録画中で、かつ同時に放送配信を行っているときは、録画中以外の番組を視聴できません。
※3 相手先機器の仕様によります。相手先機器の取扱説明書をご確認ください。
※4 相手先機器の仕様により、放送配信に対応していない場合があります。相手先機器の取扱説明書をご確認ください。
※5 放送番組の視聴中にDMR機能での再生を行うと、放送番組の視聴は中止されます。DMP機能での再生はできません。
※6 LAN録画の開始でダビングは停止します。また、ダビング実行時間に、LAN録画の予定が近接している場合は、ダビングが実行できない場合があります。
※7 2番組同時録画と同時にダビングを行っているときに、USBハードディスクに録画した番組の再生操作を行うと、ダビングは停止されます。
※8 2番組同時録画と同時にDMS配信（録画配信または放送配信）の操作を行っているときに、ダビングの操作を行うと、DMS配信は中止されます。
※9 録画済番組の再生中にDMR機能での再生を行うと、録画済番組の再生は中止されます。DMP機能での再生はできません。
※10 2番組同時録画と同時に録画済番組の再生を行っているときに、録画配信の操作をすると、録画済番組の再生は中止されます。
※11 1番組を録画と同時にダビングとUSBハードディスクに録画した番組の再生操作を行っているときに、さらにもう1番組を録画開始すると、ダビングは停止されます。
※12 ダビング中にDMR機能での再生はできません。
※13 DMS配信（録画配信または放送配信）中に録画（LAN録画）ダビングの操作を行うと、DMS配信は中止されます。

表示ランプ

	色	状態	本機の状態
ネットランプ (NET)	—	消灯	ネットワーク接続なし
	赤	点滅	WPS 動作エラー
	緑	点灯	ネットワーク接続中
		点滅	ネットワーク接続準備中／ IP アドレス取得中
	橙	点灯	デジタル放送の情報受信中や視聴記録の送信中
		点滅	WPS セットアップ中
録画ランプ (REC)	赤	点灯	録画中
ステータスランプ (STATUS)	—	消灯	正常状態
	赤	点灯	サービス未契約状態
		点滅	リモコンモード不一致
	緑	点滅	USB 機器認識中
	橙	点灯	DLNA対応機器接続中
おしらせランプ (INFO)	フルカラー※	点滅	アンドロイドからの通知 ●アプリによりランプでの通知がされない場合があります。
		点灯	
	青	点滅	未読メール、ネットワークダウンロードがある場合
電源表示ランプ	—	消灯	AC アダプターの電源プラグを抜いた状態
	赤	点灯	電源ボタンで電源を切った状態
		点滅	緊急警報放送受信時（☞ 92 ページ）
	緑	点灯	電源「入」状態
		点滅	電源「入」「切」の処理中など
	橙	点灯	機能待機状態
		点滅	ソフト更新中など

※アプリにより点滅、点灯、色は変わります。

故障かな!?

症　状	原　因　と　処　置	ページ
リモコンで操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に向けて操作していますか？ ●電池交換により、リモコンモードの設定が変わる場合があります。 ●リモコンモードの設定は違っていませんか？ ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体側面(左扉内)にあるリセットボタンを押すか、ACアダプターの電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込んで動作を確認してください。	10 7 91 91 6 7
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	−
横長映像や縦長映像になる	●「接続テレビ設定」が、接続されているテレビに合っていますか？ ●映像に合った画面モードに設定されていますか？	89 27
電源が入らなくなった(電源表示ランプが消灯状態)	●ACアダプターの電源プラグを一度抜き、1分間程度おいてから再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。 →症状が改善しない場合は、ケーブルテレビ局にご相談ください。	8
電源を入れても映像がすぐに出ない	●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。 ●クイックスタートを「ON」に設定すると、出画時間を早くすることができます。	12 88
映像も音も出ない	●テレビ側の入力切り換え（テレビ／HDMI／ビデオ／・・・など）は間違っていませんか？ ●接続している端子がしっかりと取り付けられているか確認してください。 ●テレビとの接続に映像・音声コードを使用している場合、4 極ミニプラグ端子側の映像・音声信号の配列を確認してください。	− 78 78
音は出るが映像は出ない	●接続している端子がしっかりと取り付けられているか確認してください。 ●テレビとの接続に映像・音声コードを使用している場合、4 極ミニプラグ端子側の映像・音声信号の配列を確認してください。	78 78
電源「切」時にネットランプ(NET)が点灯する	●自動的に放送情報を受信するため、ネットランプ(NET)が一時的に点灯する場合があります。（通常、深夜から早朝）	7

故障かな！？

症　状	原　因　と　処　置	ページ
画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り替える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	－
字幕や文字スーパーが出ない	●「字幕設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。 ●「字幕設定」の「字幕言語」や「文字スーパー言語」の設定が放送の言語と一致していますか？ →放送の言語に設定を合わせてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	72 72 116
有料放送の視聴ができない	●ICカードが正しく挿入されていますか？ ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。 ●ネットワークへの接続は正しくされていますか？	84 － 80 〜 82
画面に「購入できませんでした。」などが表示され、購入または予約ができない状態が続く	●ICカードが正しく挿入されていますか？ ●ネットワークへの接続は正しくされていますか？	84 80 〜 82

症　状	原　因　と　処　置	ページ
視聴予約が実行されない	●視聴予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →視聴予約をした場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。	29
本体の一部に触れると熱い	●本機は放熱のため表面の温度が高くなります。品質・性能には異常ありません。（風通しの良い所に設置してください。）	128
無線LAN（Wi-Fi）使用時、映像が途切れたり、接続が切れる	●本機をアクセスポイントとして使用する場合の無線方式は、SSID3（通信周波数帯5 GHz）、SSIDの動作モード11nを推奨します。（本機の場合は802.11a/nに設定してください。）他のSSIDやSSIDの動作モードでも通信できますが、大容量のデータを送受信する（インターネットで動画を見るなど）と、映像が途切れたり、接続が切れることがあります。 ●電波を使う機器が近くにある場合は、本機から離してご使用ください。 ・電子レンジ ・他の無線LAN機器 ・Bluetooth対応機器 ・その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器 （デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）	98 82 135

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
購入できません。本機の接続・設定を確認のうえ、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	購入記録が送信できず、ICカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。ネットワークの接続・設定をご確認ください。 （☞ 80～83、94ページ）
現在、受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。 視聴するには、「決定」ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。決定ボタンで、再度選局操作が行えます。
気象条件などにより、信号品質が低下しています。	雨等の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、ケーブルテレビ局で引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えると表示されます。画質、音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。「決定」ボタンで選局、「戻る」ボタンで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まると表示されます。必ず放送内容を確認するようにしてください。
C-CASカードを正しく挿入してください。	ICカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されると表示されます。本機専用のICカードを正しく挿入してください。 （☞ 84ページ） ICカードが挿入されていない場合にも表示されます。
B-CASカードを正しく挿入してください。	
C-CASカード（またはB-CASカード）の交換が必要です。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	ICカードの交換が必要なときに表示されます。 ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
このC-CASカード（またはB-CASカード）は使用できません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
信号が受信できません。ケーブルの接続を確認してください。接続に問題がない場合は、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	●ケーブル宅内線の接続不良などでケーブル入力信号が正しく入力されていないと表示されます。ケーブル宅内線の接続などを確認してください。 ●天候の影響などでケーブルテレビ局において受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局していると表示される場合があります。
チャンネル制限が設定されている為選局できません。	制限項目設定のチャンネルスキップ設定でスキップ設定したチャンネルを選局しています。 （☞ 74ページ）
このチャンネルはご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
視聴条件によりご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
このチャンネルは契約されていません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
ご契約の確認をしております。 しばらくお待ちください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。しばらく待って選局されない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

ブラウザ関連のメッセージ表示

ネットワーク設定の接続テスト時やブラウザ使用時の主なエラーメッセージと内容は、下記の通りです。

メッセージ	内容
IPアドレスが設定されていません。 本機の「ネットワーク関連設定」をご確認ください。	ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
IPアドレスが取得できませんでした。 ルータとの接続や設定をご確認ください。	
接続テストに失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 ルータとの接続や設定をご確認ください。	
IPアドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	
接続テストを実行できませんでした。	一度、本機のACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
アドレスが正しく設定できませんでした。	
接続先サイトの証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？サイト名：○○○○	接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをおすすめします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。

録画予約時のエラーメッセージ

メッセージ	内容
予約できません。 この番組は契約されていません。	●契約が必要なチャンネルです。 ご加入のケーブルテレビ局に問い合わせて、契約を行ってください。
この番組はすでに終了しています。 予約できませんでした。	●過去の時間帯を予約しようとした場合にも表示されます。

安全上のご注意 必ずお守りください

「この安全上のご注意」には、Smart TV BOXを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守り頂く事項を記載しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。	気をつけていただく内容です。

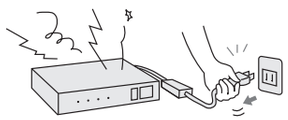
⚠ 警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

電源プラグを抜く

■異常があったときはACアダプターの電源プラグを抜いてください



・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

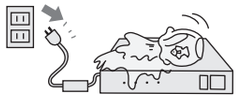
●すぐに電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてケーブルテレビ局にご相談ください。
●ACアダプターの電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

水ぬれについて

水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください

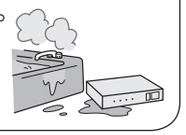
火災・感電の原因になります。



水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください

火災・感電の原因になります。



誤飲防止について

■メモリーカード類や単4乾電池は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



異物について

■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。

●特にお子様にはご注意ください。

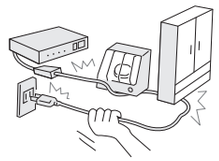


⚠ 警告

ACアダプターの電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など) 火災・感電・ショートなどの原因になります。



■傷んだACアダプターの電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

■本機に付属のもの以外は使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●電源プラグが傷んだ場合は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

■ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。



■交流 100 V以外で使用しないでください

■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください

■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で、ACアダプターの電源プラグの抜き差しをしないでください

感電の原因になります。



■ACアダプターの電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

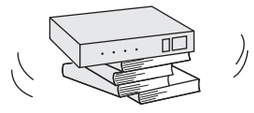
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



設置について

■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

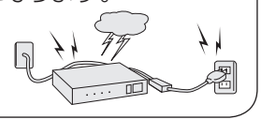


雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、ケーブルテレビ宅内線や本機には触れないでください

感電の原因になります。



分解禁止について

分解禁止

■カバーを外したり、本機を改造しないでください

火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理はケーブルテレビ局にご依頼ください。
●お客様による修理は危険ですから、おやめください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

無線機能について

■本機を医療機関や医療機器のある場所には設置しないでください
本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

■自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くで使用しないでください
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

■本機は心臓ペースメーカーの装着部位から22ｃｍ以上離してください
本機からの電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

本機／ACアダプターの取り扱いについて

■乗らないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

■上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。

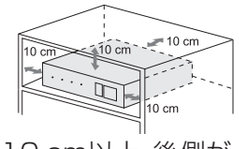
■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください
火災･感電の原因になることがあります。

■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください
火災･感電･けがの原因になることがあります。

■通電中の本機やACアダプターに長時間、直接触れない
（低温やけどの原因）
※ 低温やけどについて：
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に長時間、直接触れていると、低温やけどを起こす恐れがあります。

設置について

■通風孔をふさがないでください
■風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■あお向けや、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
●テレビ台などに設置した場合、上側が10 cm以上、左右が10 cm以上、後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。



■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください
火災･感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

ACアダプターの電源コード･電源プラグについて

電源プラグを抜く

■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
ACアダプターの電源プラグにほこりがたまり火災･感電の原因になることがあります。

■ACアダプターの電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っぱると破損し、火災･感電･ショートの原因になることがあります。

移動について

■移動させる前に接続線などをはずしてください（ACアダプターの電源プラグ、ケーブルテレビ宅内線、機器間の接続線）
電源コードや本機が損傷し、火災･感電の原因になることがあります。

電池の取り扱いについて

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
■日光、火などの過度な熱にさらさないでください
取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

■極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください
取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。（10ページ参照）

お手入れについて

■通風孔に付着したゴミをこまめに取り除いてください
長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災･故障の原因になることがあります。
●湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、ケーブルテレビ局にご相談ください。

電源プラグを抜く

■お手入れの前に、安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください
感電の原因になることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

お手入れについて

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります（下記参照）。

C01AS シリーズで使用している各部品の材料は次の通りです。

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(トップケース、扉)	アクリル樹脂＋ＡＢＳ樹脂	
外装ケース(ボトムケース)	ＡＢＳ樹脂	
電源ボタン	アクリル樹脂＋ＡＢＳ樹脂	
ＵＳＢ端子部キャップ	ＡＢＳ樹脂＋ＴＰＥ樹脂	
ＣＡＳカードスロット部	ＡＢＳ樹脂	
ボタン機能表示シート	ＰＣ樹脂	
モデル銘板	ＰＳ樹脂	
セット脚	ポリウレタン	
ケーブル端子	鉄	ニッケルメッキ
分配出力端子	鉄	ニッケルメッキ
スタンド	ＡＢＳ樹脂	
スタンド（クッション）	高発泡シリコーンフォーム	
スタンド（クッション）	ポリウレタン	
スタンド脚	ウレタンフォーム	
リモコン：上ケース	アクリル樹脂＋ＰＣ樹脂	
リモコン：下ケース	ＡＢＳ樹脂	
リモコン：電池蓋	ＡＢＳ樹脂	
リモコン：ＩＲレンズ	ＰＣ樹脂	
リモコン：成形ボタン	アクリル樹脂	
リモコン：静電パッド部シート	ＰＣ樹脂	
リモコン：電池ケース電極	ばね鋼	ニッケルメッキ
AC アダプター（本体）	変性 PPE	
AC アダプター（ケーブル）	PVC	
AC アダプター（プラグボディ）	PVC	シボ加工
AC アダプター（プラグ）	先端：PBT　金属部：黄銅	ニッケルメッキ
電源コードセット（ケーブル）	PVC	
電源コードセット（コネクターボディ）	PVC	
電源コードセット（プラグボディ）	PVC	
電源コードセット（栓刃）	根本:PBT　金属部:黄銅	ニッケルメッキ

取り扱いについて



お手入れについて

■キャビネットの汚れは柔らかい布（綿・ネル地・クリーニングクロスなど）で軽くふき取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

■スプレー洗剤などは直接かけないでください。
- 水などの液体が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなど揮発性のものをかけないでください。
- キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。

■ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
- キャビネットに跡がつくことがあります。

仕様

本体

品名	Smart TV Box	
品番	C01AS1	C01AS3
電源	DC12.5 V、3A（付属の AC アダプター使用時） AC アダプター　入力：AC100V、50 Hz ～ 60 Hz 両用 出力：DC12.5V、3A	
消費電力	電源オン 27 W 電源オフ 4 W 機能待機時 24 W	
デジタル放送	●受信変調方式：64QAM ／ 256QAM（Annex.C） 受信周波数帯域：90 MHz ～ 1000 MHz 入力レベル：49 ～ 81 dB μ V（平均値） ●受信変調方式：OFDM 受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz 入力レベル：47 ～ 81 dB μ V（平均値）	
ケーブルモデム	●受信変調方式：64QAM/256QAM（Annex.B） 受信周波数帯域：90 MHz ～ 1000 MHz 入力レベル：49 ～ 79 dB μ V（平均値） ●送信変調方式：QPSK 8/16/32/64/128QAM 送信周波数帯域：5 MHz ～ 65 MHz 出力レベル：最大 121 dB μ V	
接続端子	●ケーブル端子：F型接栓、75 Ω ●分配出力端子：F型接栓、75 Ω ●映像・音声出力端子：映像(1.0 V[p-p]、75 Ω) 音声(250 mV[rms](標準)、2.2 k Ω以下) ●光デジタル音声出力端子：−15 ～ −21 dBm 660 nm ●HDMI映像・音声出力端子 ●USB1端子(HDD用)：USB3.0(DC 5 V　MAX 900 mA) USB2端子(後面)：USB2.0(DC 5 V　MAX 500 mA) USB3端子(前面)：USB2.0(DC 5 V　MAX 500 mA) ●LAN端子(100BASE-TX/10BASE-T) WAN端子(100BASE-TX/10BASE-T) ●SD メモリーカード挿入口	
外形寸法	幅 約 17.6 cm･高さ 約 5.3 cm（脚含む）･奥行き 約 17.6 cm（端子含まず）	
質量	約 1.1 kg	
環境条件	使用周囲温度範囲 5 ℃～ 40 ℃　許容相対湿度範囲 10 %～ 80 %（結露のないこと）	

アンドロイド

OS	Android 4.0

リモコン

使用電源	DC3 V（単 4 形乾電池 2 個使用）
操作距離・範囲	約 7 m 以内（本体正面距離）、左右各約 30° 以内、上下各約 15° 以内
質量	約 105 g（乾電池含む）

● 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
※ 本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみです。
外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

* This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

本製品は､以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており､パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきラインセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0､LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは､これら単体で有用であることを期待して頒布されますが､「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め､一切の保証はなされません。詳細は､本製品のホーム画面から〔メニュー〕－〔設定／料金〕－〔本体設定〕－〔機器情報〕－〔法的情報〕－〔オープンソースライセンス〕､またはアプリケーション一覧画面から〔設定〕－〔機器情報〕－〔法的情報〕－〔オープンソースライセンス〕により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは､本製品の発売から少なくとも３年間､以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し､実費にて､GPL V2.0､LGPL V2.1､またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを､それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また､これらソースコードおよび著作権者の情報は､以下のウェブサイトからも自由に入手することができます。
http://panasonic.net/avc/oss/index.html

※OpenSSLに基づく通知："This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

商標などについて

●SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
●HDAVI Control™は商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●DLNA® , the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
●Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
●米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、電子番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社は電子番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" ©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
●デジタルアーツ／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
●"Wi-Fi CERTIFIED"ロゴは、"Wi-Fi Alliance"の認証マークです。
●Wi-Fi Protected Setup のマークは、"Wi-Fi Alliance"の商標です。
●"Wi-Fi"、"Wi-Fi Protected Setup"、"WPA"、"WPA2"は"Wi-Fi Alliance"の商標または登録商標です。
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、本体設定メニュー画面(☞ 14ページ)で、「放送・システム」→「情報表示」→「ステータス表示」→「ソフト情報」をご参照ください。
●Android、Google、Google Play、YouTubeは、Google Inc. の商標です。
●PlayReady/Smooth Streamingの著作権情報に関する記述
This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
●PlayReady/Smooth Streamingエンド ユーザー使用許諾契約書
Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.
●本製品にはAdobe Systems IncorporatedまたはAdobe Systems Software Ireland Limited(以下「Adobe」とする)から提供されているAdobe Reader® for mobile(以下「本ソフトウェア」とする)が含まれています。
本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合は、下記URLにて掲載され、本ソフトウェアのバージョンに適用されるEULA(以下「本契約」とする)に記載のすべての条件に同意したものと見做されます。

http://www.adobe.com/products/eulas/#mobileproducts

本契約にお客様が同意した場合、本契約はお客様、および本ソフトウェアを取得し、かつみずからの利益のために本ソフトウェアを使用する法人に対して強制力があります。同意しない場合、本ソフトウェアを使用しないでください。

なお、本契約には少なくとも下記事項を含みます。
・本ソフトウェアの所有権はAdobeに帰属します。
・お客様は本ソフトウェアを配布、複製、修正、改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル等してはならず、本ソフトウェアのソースコードを解明しようと試みたりしないものとします。
・本契約にて除外される場合を除いて、Adobeは、いかなる場合においても、損害、費用、派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失につき、お客様に対して賠償する責を負わず、懲罰的損害賠償も行わないものとします。
・本契約にて除外される場合を除いて、本契約に基づくまたは関連したAdobeの損害賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対して支払われた金額があれば、その金額に制限されるものとします。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

無線LAN使用上の注意

■ 使用周波数帯

無線LANは2.4 GHz 帯と5 GHz 帯の周波数帯を使用します。
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

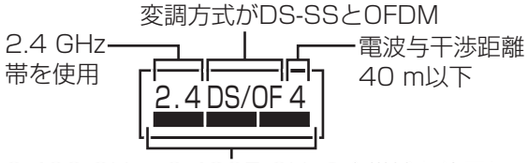
■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先:ご加入のケーブルテレビ局へ
ご相談ください。

■ 無線LANの周波数表示の見かた (本機裏面のモデル銘板に記載)



2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
・分解／改造する
・本機に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 電波法により本機の5.2 GHz帯および5.3 GHz帯(W52/W53)無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

■ 無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n
使用周波数範囲/チャンネル(中心周波数)	2.412 GHz～2.472 GHz /1～13ch 5.180 GHz～5.240 GHz /W52:36, 40, 44, 48ch 5.260 GHz～5.320 GHz /W53:52, 56, 60, 64ch 5.500 GHz～5.700 GHz /W56:100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64bit/128bit)

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞126～130ページ)

英数字

ページ

■3D映像の番組 …… 25
■3桁入力 …… 21
■480i、480p、1080i、720p …… 89、90
■50音順キーボード入力方法 …… 37
■ACアダプター …… 8
■au Wi-Fi接続ツール …… 65、83
■AV出力 …… 8、78
■B-CASカード …… 84
■B-CASカードテスト …… 77
■Bitstream …… 109
■BSデジタル …… 4
■CATVデジタル …… 4
■C-CASカード …… 84
■C-CASカードテスト …… 77
■Connect Play …… 65
■DLNA …… 60～67、102
■DMC …… 60、63
■DMP …… 60、66
■DMR …… 60、63、103
■DMS …… 60、62、103
■DNS …… 94、95
■EPG …… 28
■HDMI出力解像度 …… 89、90
■HDMI端子 …… 8、78、79、110、111
■HDオプティマイザー …… 73
■ICカードの挿入 …… 84
■IPアドレス …… 69、81、94、95、120、125
■JLabs対応機器 …… 5、69
■LAN端子 …… 8、68、80
■LAN録画 …… 45、61、80、102
■MACアドレス …… 99、103
■PCM …… 109
■PINコード方式(WPS) …… 100
■SDメモリーカード …… 112
■Smart TV Remote …… 63、65
■SSID(動作モード、セキュリティ) …… 98、99
■USB端子 …… 7、8、40
■USBハードディスク …… 8、40、42、44、54、118
■USBハードディスク機能待機 …… 93
■WAN端子 …… 8、80
■Wi-Fi …… 7、82、83、96
■WPS …… 7、83、100

あ　行

ページ

■アイコン一覧 …… 116
■アクセスポイント …… 96
■アプリ(アプリケーション) …… 5、12、13、16、17、19、63、65、114、117
■アプリケーションサービス画面 …… 12、13、16
■暗証番号 …… 74、75
■アンドロイド …… 5
■位置情報サービス …… 15
■一番組限度額 …… 74
■インターネット …… 5、19、80
■インフォメーションサービス画面 …… 12、13
■映像・音声出力端子(AV出力) …… 8、78
■映像まとめて検索 …… 18
■枝番号 …… 21
■お気に入り検索 …… 32
■おしらせランプ(INFO) …… 7、120
■オーディオ機器 …… 109
■オフタイマー …… 26
■音声切換(多重音声放送) …… 23

か　行

ページ

■カーソル …… 11、30、36～38
■画面表示(選局時の番組タイトル表示) …… 22
■画面モード …… 27
■カラーボタン …… 9
■カレンダー …… 19
■漢字変換 …… 37、38
■かんたん接続機能 …… 83
■記号入力 …… 37
■機能待機 …… 7、132
■緊急警報放送受信設定 …… 92
■クイックスタート …… 88
■クライアント …… 82、100
■クリックボタン …… 9、11
■グループ表示(グループフォルダ) …… 56
■携帯入力方法 …… 38、39
■ケーブルテレビ宅内線の接続 …… 78
■ケーブルモデム設定 …… 105
■県域設定 …… 88
■検索ボタン …… 9
■高速チャンネル選択 …… 23
■購入記録 …… 76
■個人情報リセット …… 108
■コピーガード …… 24

さ　行

ページ

■再スキャン(地上デジタル放送) …… 86
■再生／一時停止／停止 …… 57
■サイドカット(画面モード) …… 27
■サウンド設定 …… 18
■探して毎回予約 …… 50、51
■サブメニュー …… 26
■視聴可能年齢 …… 74
■視聴購入 …… 24
■視聴制限 …… 74
■視聴制限一時解除 …… 27、31
■視聴予約 …… 29
■字幕設定 …… 72
■ジャンル検索 …… 32
■受信チャンネル設定 …… 85～87
■順送り選局 …… 21、72
■詳細設定(録画予約) …… 47
■消費電力 …… 132
■条件指定予約(自動予約) …… 49
■初期化(USB HDDのフォーマット) …… 43
(個人情報リセット) …… 108
■初期スキャン(地上デジタル放送) …… 86
■自動チャプター …… 73
■人物検索 …… 33
■スキップ再生 …… 57
■スタート画面 …… 88
■ステータスランプ(STATUS) …… 7、120
■ステータス表示 …… 77
■接続テスト …… 94
■接続テレビ設定 …… 89
■設置設定 …… 85～93
■設定リセット …… 108
■選局対象 …… 72
■即時録画 …… 44
■ソフトウェア更新(ネットワーク) …… 107

た　行

ページ

■タイトル表示 …… 22、73
■タイムワープ …… 57
■ダウンロード …… 16、107
■宅外リモート接続設定 …… 104
■縦置きスタンド …… 11
■タッチパッド …… 9、11
■ダビング …… 5、68、102
■ダビング履歴 …… 71、77
■地域設定 …… 88
■地上デジタル …… 4
■チャンネルアップダウン …… 21、72
■チャンネルスキップ設定 …… 74
■チャンネル制限設定 …… 87
■チャンネル設定(地上) …… 86
■チャンネル設定(BS・CATV) …… 85
■注目番組 …… 29
■通知 …… 18
■デジタル音声出力(光)端子 …… 8、109
■デフォルト録画先／録画モード …… 92
■データ放送 …… 25
■テーマの変更 …… 17
■テレビ全画面表示 …… 20、21
■テレビの接続 …… 78、79
■テレビのメーカー設定 …… 91
■テレビ用ブラウザ設定 …… 106
■テレビ・録画番組サービス画面 …… 12、13
■電源入力端子 …… 8
■電源表示ランプ …… 7、120
■同時動作と優先動作について …… 119
■ドラッグ …… 11

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞126～130ページ)

な　行　ページ

■並び替え …… 31、35、48、59
■二重音声設定 …… 23、72
■日時指定予約 …… 46
■ネットワーク関連設定 …… 94～106
■ネットランプ(NET) …… 7、120

は　行　ページ

■早送り／早戻し …… 57
■番組購入 …… 24
■番組詳細検索 …… 30
■番組情報 …… 28
■番組内容 …… 29
■番組表(EPG) …… 28
■番組表設定 …… 87
■番組を探す …… 32～33
■フィルターリスト …… 52
■フォーマット(USB HDD) …… 43
■付属品 …… 裏表紙
■プッシュボタン方式(WPS) …… 100
■ブラウザ制限 …… 75
■フリーワード検索 …… 32
■プレイサービス画面 …… 12、13
■プレビュー画面 …… 12
■分配出力端子 …… 8、78
■ヘルプ …… 18
■放送メール …… 76
■放送を選ぶ …… 21
■保護 …… 47、58
■ホーム画面 …… 12～19
■ホーム(サブ)画面 …… 14
■ホームネットワーク(DLNA) …… 60～67、102
■本体設定メニュー …… 14、15、114
■ボード …… 77

ま　行　ページ

■マイチャンネル …… 27、34
■毎日・毎週(連続予約) …… 46
■マウント／マウント解除(SDメモリーカード) …… 113
■マーケット …… 16
■無線LAN …… 82、83、96～101、135
■無操作自動オフ …… 88
■メッセージ表示 …… 124
■文字種切換 …… 36～39
■文字スーパー …… 72
■文字入力 …… 36～39
■文字入力一覧表(携帯入力方法) …… 39
■モバイル連携 …… 63～65

や　行　ページ

■郵便番号 …… 88
■有害サイト閲覧を制限する …… 117
■有料番組(ペイ・パー・ビュー) …… 24
■予約一覧(確認・修正・消去) …… 52、53
■予約重複確認 …… 30
■予約方式 …… 29、45

ら　行　ページ

■リセット(ボタン) …… 6、7、121
■リモコン受信部 …… 7
■リモコンモード …… 91
■録画機器 …… 47
■録画購入 …… 24
■録画モード …… 46
■録画モード変更・中止 …… 58、59
■録画予約 …… 45～53
■録画ランプ(REC) …… 7、120